

多治見市
令和4年度 市民意識調査
報告書

令和5年2月

多治見市

目次

第Ⅰ部 市民意識調査 一般	1
第1章 調査概要.....	2
1. 調査目的.....	2
2. 調査方法等.....	2
3. 回収結果.....	2
4. 調査報告書における表および図表の見方.....	2
第2章 調査結果.....	3
1. 基本属性.....	3
2. 住みやすさと居留意向.....	5
3. 生活実態および市民意識.....	13
4. 市政全般について.....	17
5. 情報提供について.....	41
第Ⅱ部 市民意識調査 高校生	55
第1章 調査概要.....	56
1. 調査目的.....	56
2. 調査方法等.....	56
3. 回収結果.....	56
第2章 調査結果.....	57
1. 基本属性.....	57
2. 住みやすさと居留意向.....	59
3. 生活実態および市民意識.....	61
4. 市政全般について.....	62
5. 情報提供について.....	65
参考資料	69
依頼文書および調査票.....	69

第 I 部

市民意識調査 一般

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査方法 ①市内在住の16歳以上の男女2,000人(無作為抽出)
⇒郵送配付、郵送回収およびインターネット回収
②広報たじみ読者
⇒広報たじみ綴込み、郵送回収およびインターネット回収
③市公式ホームページ閲覧者
⇒ホームページ掲載、インターネット回収
- 調査時期 令和4年8月～9月

3. 回収結果

		回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配付	郵送回収	638	31.90%	638	0
	インターネット回収	167	8.35%	167	0
郵送回収(広報紙綴込み)		257	—	257	0
インターネット回収(広報掲載等)		17	—	17	0
合計		1,079	—	1,079	0

4. 調査報告書における表および図表の見方

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とまらない場合がある。
- ③複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ④本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

第2章 調査結果

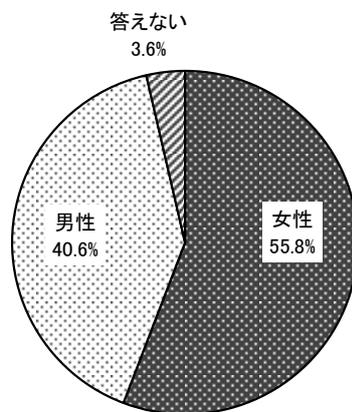
1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が55.8%、「男性」が40.6%、「答えない」が3.6%であった。

図 1-1-1 「性別」

(N = 1,068)

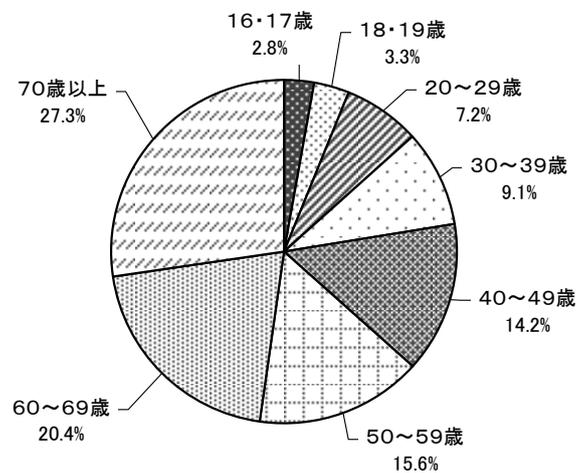


1-2 年齢

「70歳以上」が27.3%と最も高く、次いで「60～69歳」が20.4%、「50～59歳」が15.6%となっている。

図 1-2-1 「年齢」

(N = 1,064)



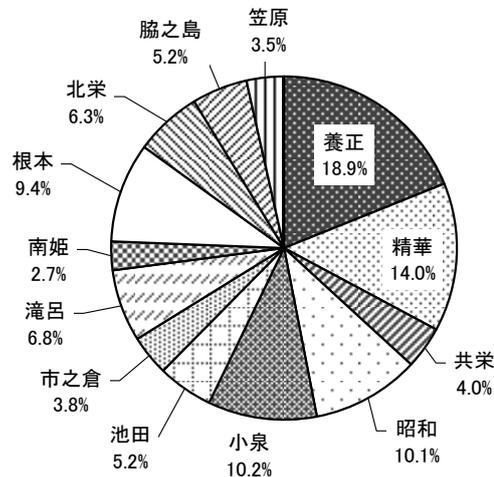
【市民意識調査 一般】

1-3 小学校区

「養正」が18.9%と最も高く、次いで「精華」が14.0%、「小泉」が10.2%となっている。

図 1-3-1 「小学校区」

(N = 1,053)

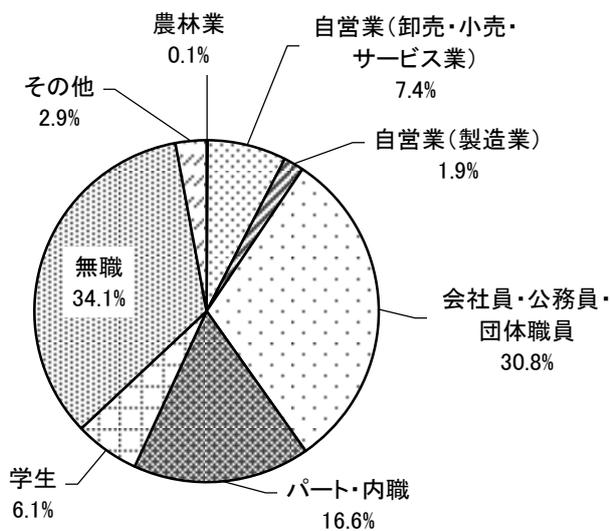


1-4 職業

「無職」が34.1%と最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員」が30.8%、「パート・内職」が16.6%となっている。

図 1-4-1 「職業」

(N = 1,061)



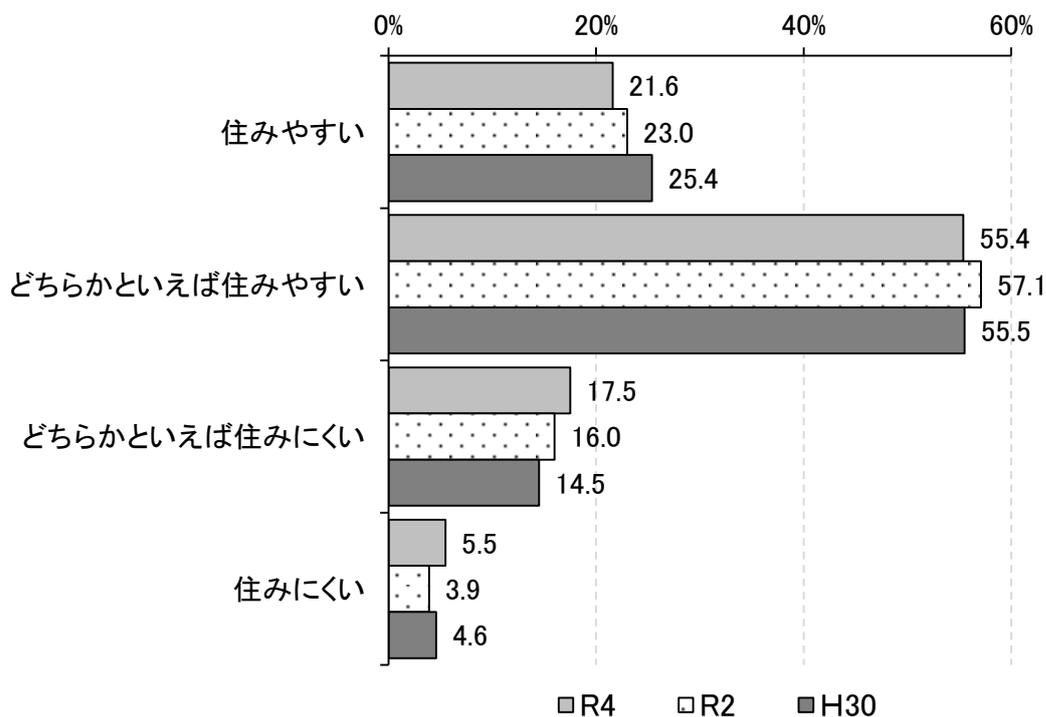
2. 住みやすさと居住意向

2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が 55.4%と最も高く、次いで「住みやすい」が 21.6%、「どちらかといえば住みにくい」が 17.5%となっている。

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は 77.0%、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は 23.0%となっている。

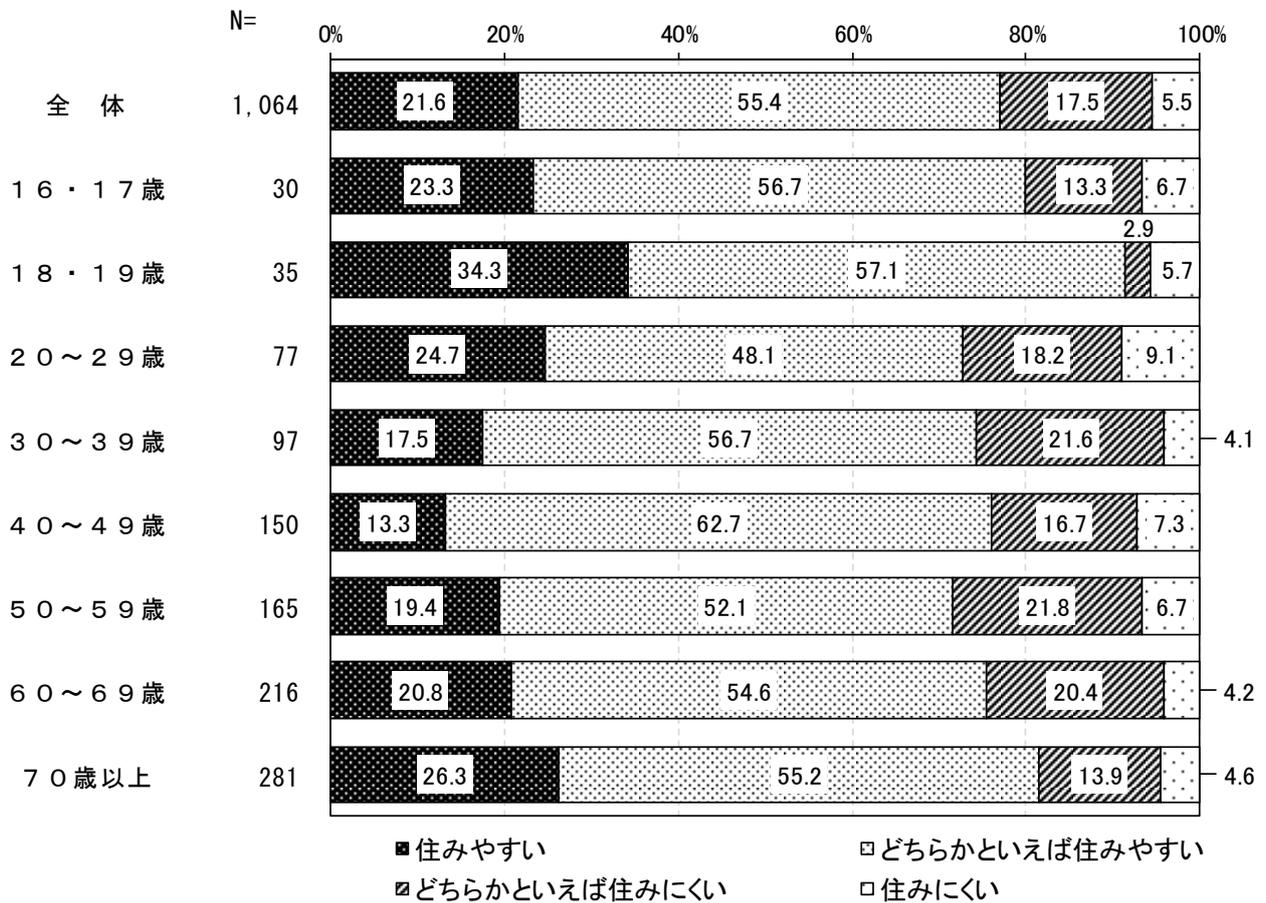
図 2-1-1 「住みやすさ」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

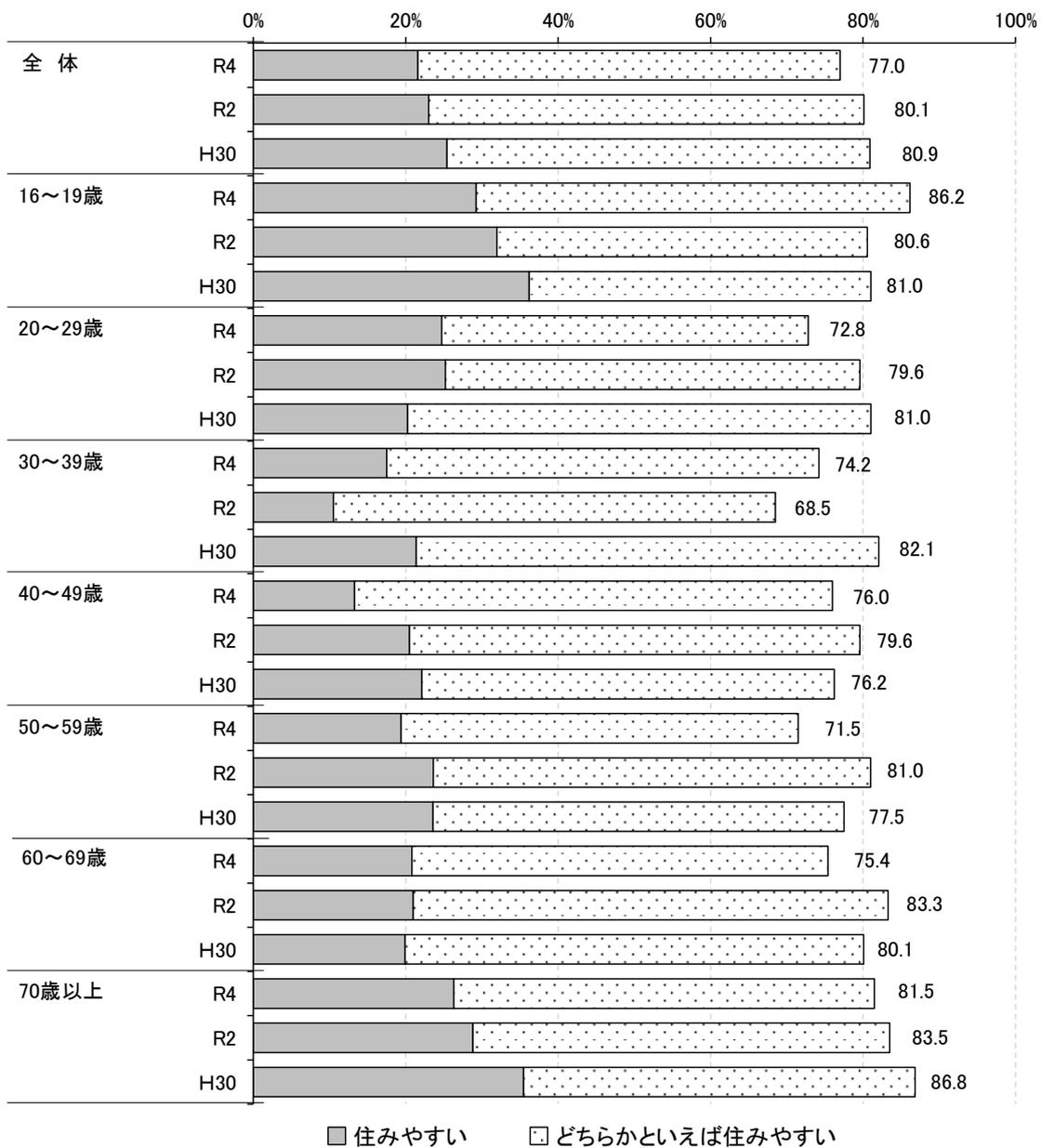
年代別にみると、「住みやすい」が「18・19歳」で34.3%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”も「18・19歳」で91.4%と最も高くなっている。一方で、“住みやすいと感じている人”が低くなっているのは「50～59歳」の71.5%であり、最も高い「18・19歳」と比べると19.9ポイントの差がみられる。

図 2-1-2 年代別「住みやすさ」



年代別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「16～19歳」では令和2年調査よりも5.6ポイント増加、「30～39歳」では5.7ポイント増加している。一方で、“住みやすいと感じている人”は「20～29歳」および「70歳以上」で近年減少傾向がみられる。

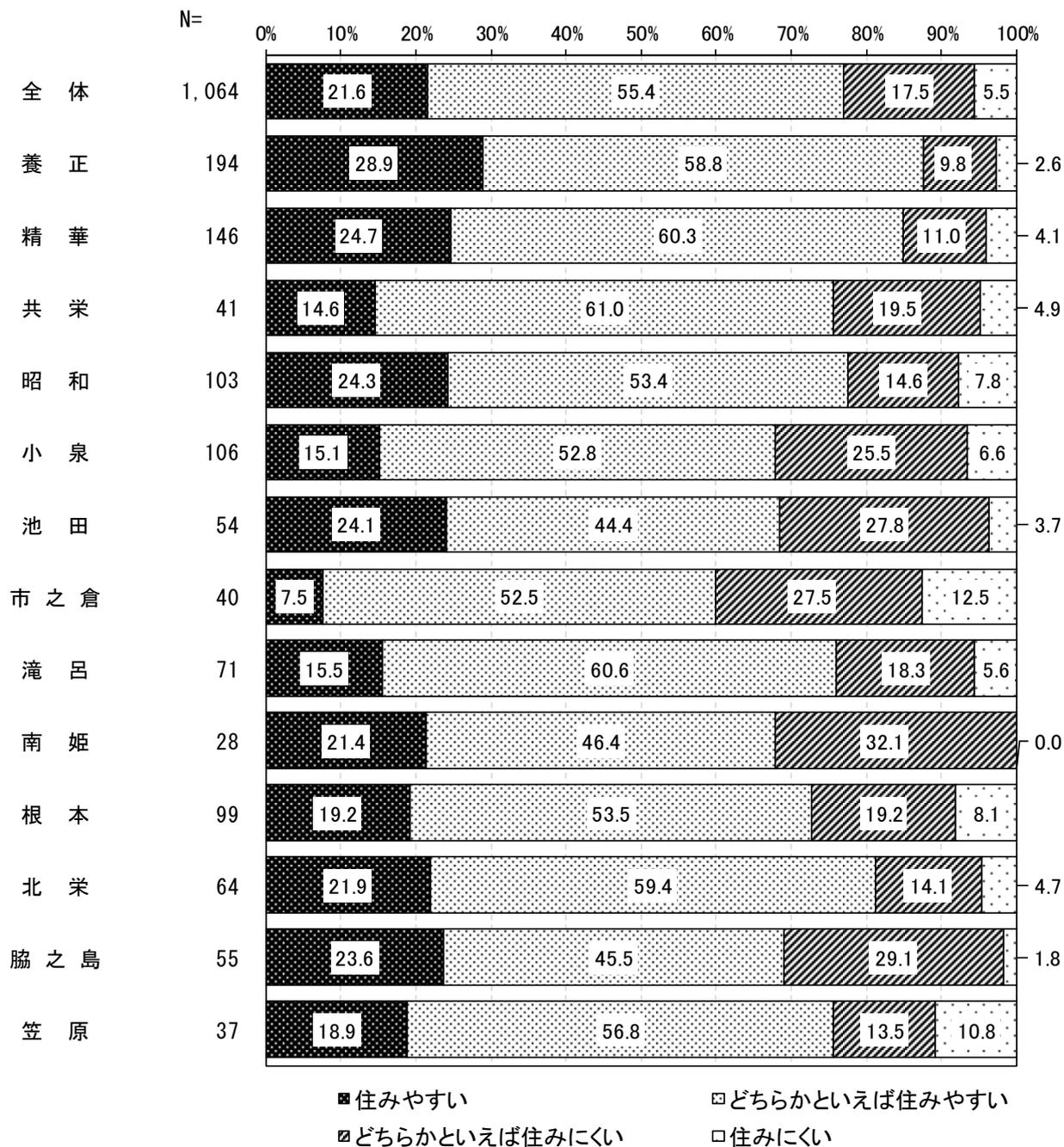
図 2-1-3 年代別「住みやすさ」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

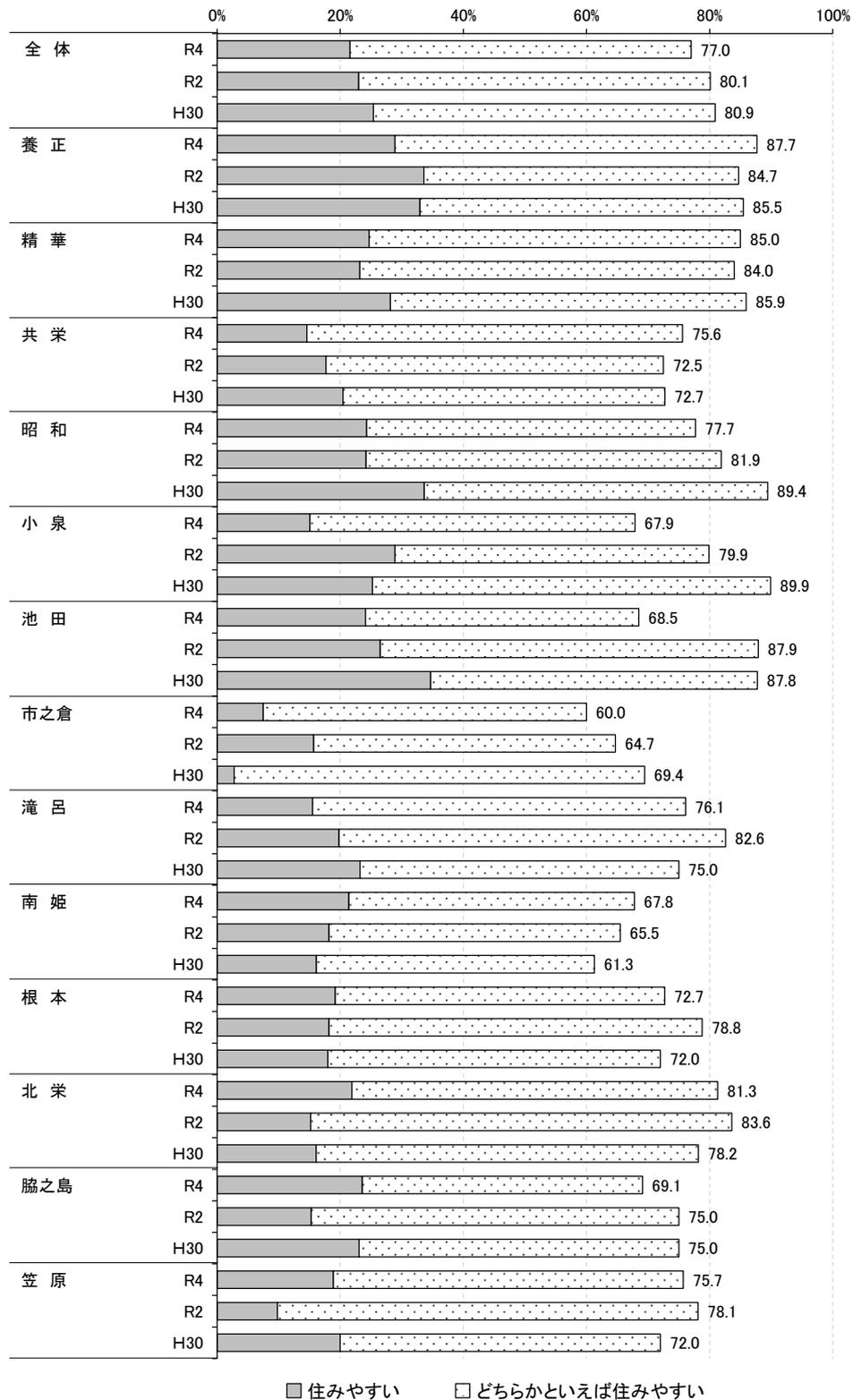
小学校区別にみると、「住みやすい」が「養正」で28.9%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”も「養正」で87.7%と最も高くなっている。一方で、「住みやすいと感じている人」が低くなっているのは「市之倉」の60.0%であり、最も高い「養正」と比べると27.7ポイントの差がみられる。

図 2-1-4 小学校区別「住みやすさ」



小学校区別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「昭和」「小泉」「池田」「市之倉」「滝呂」「根本」「北栄」「脇之島」「笠原」で令和2年調査よりも減少しており、特に「小泉」と「池田」では10ポイント以上減少し、それぞれ67.9%、68.5%となっている。

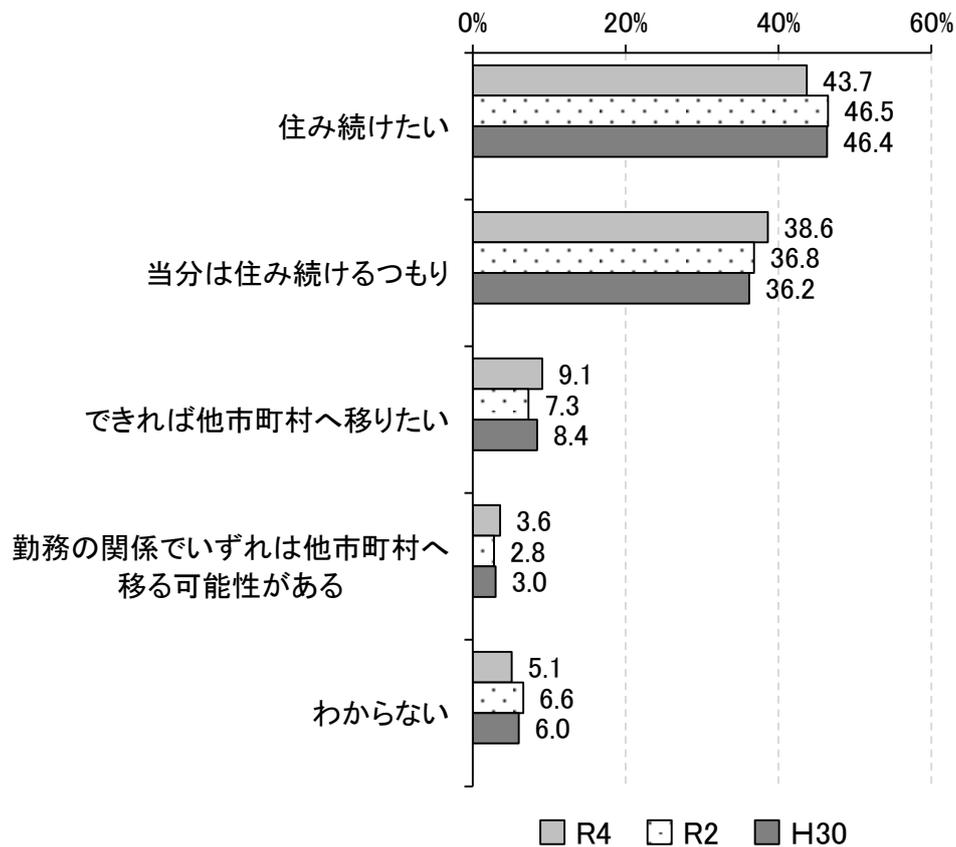
図 2-1-5 小学校区別「住みやすさ」(過年度比較)



2-2 今後の居住意向

「住み続けたい」が43.7%と最も高く、次いで「当分は住み続けるつもり」が38.6%、「できれば他市町村へ移りたい」が9.1%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと感じている人”は82.3%となっており、令和2年調査の83.3%からやや減少している。

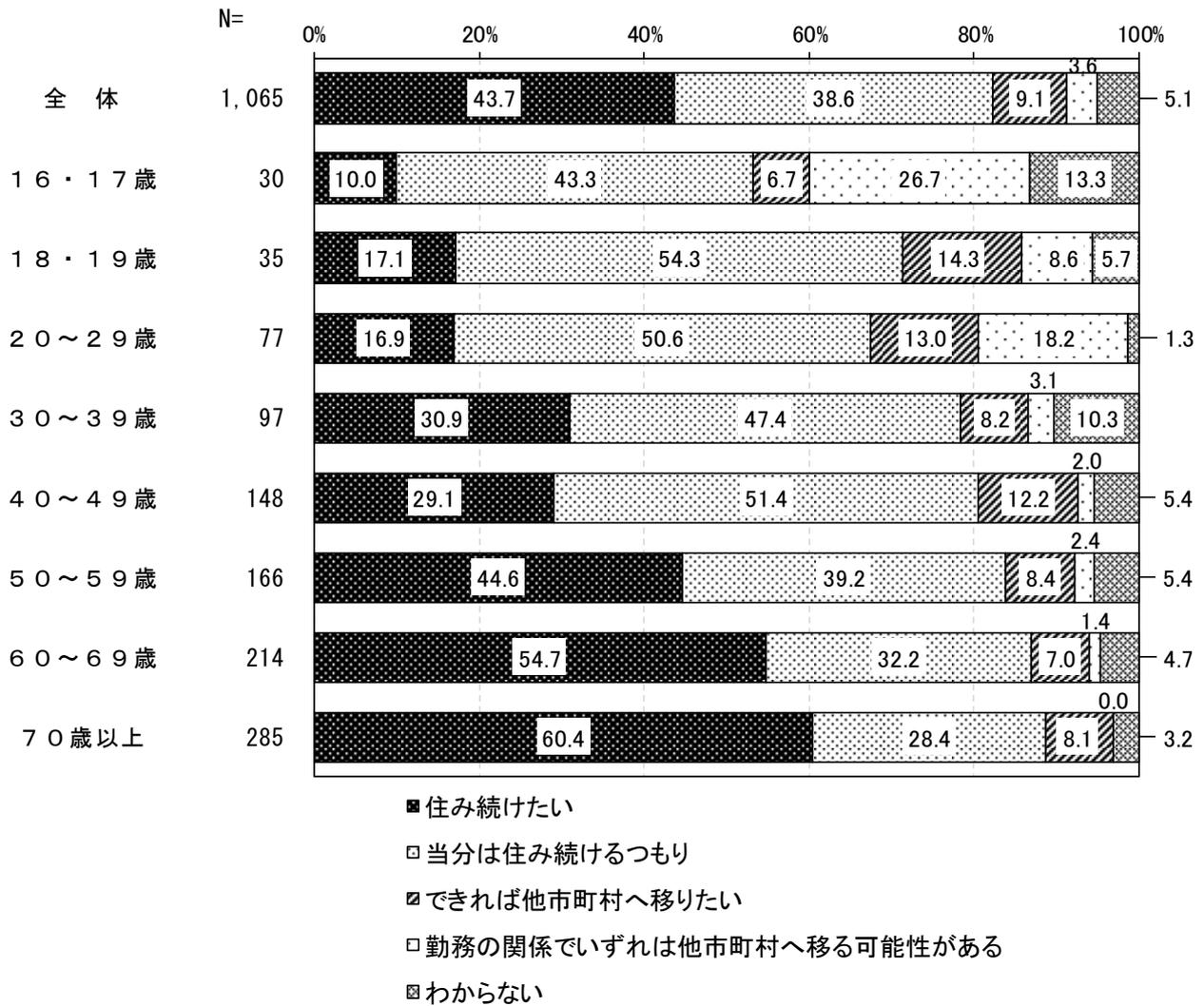
図 2-2-1 「今後の居住意向」(過年度比較)



「住み続けたい」が「16・17歳」で10.0%と最も低く、「70歳以上」は60.4%と最も高くなっている。

一方で「できれば他市町村へ移りたい」が「18・19歳」で14.3%、「20～29歳」で13.0%、「40～49歳」で12.2%とそれぞれ1割を超えている。また、「16・17歳」、「20～29歳」では「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」がそれぞれ2割前後と、他の年代と比べて比較的高くなっている。

図 2-2-2 年代別「今後の居住意向」

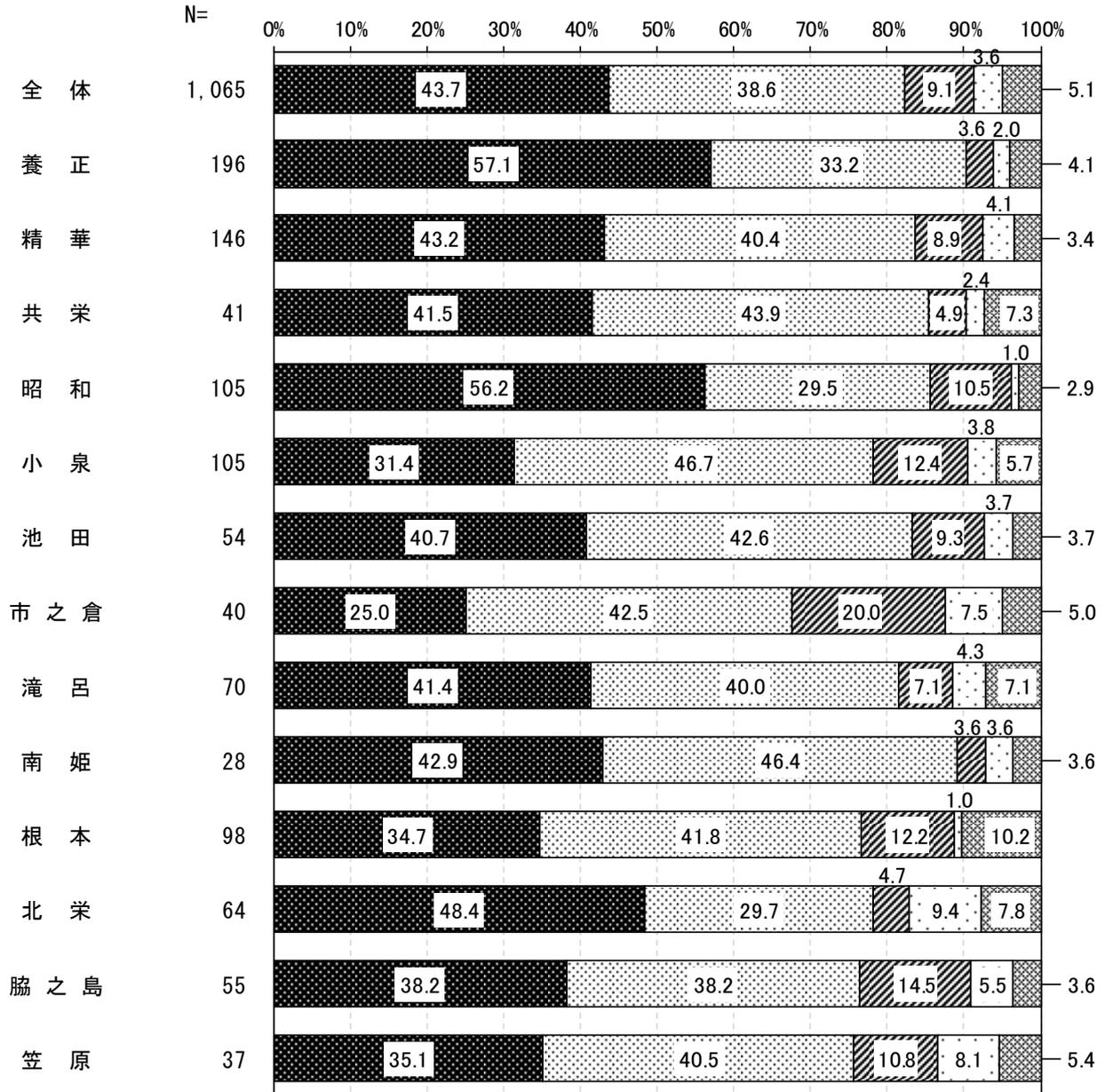


【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「住み続けたい」が「養正」で 57.1%と最も高くなっており、次いで「昭和」で 56.2%、「北栄」で 48.4%となっている。

一方で「市之倉」では「住み続けたい」が 25.0%と最も低くなっており、最も高い「養正」とは 32.1 ポイントの差がみられる。また、「市之倉」では「できれば他市町村へ移りたい」が 20.0%と他の小学校区に比べ、特に割合が高くなっている。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居留意向」



- 住み続けたい
- 当分は住み続けるつもり
- ▨ できれば他市町村へ移りたい
- 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある
- ▩ わからない

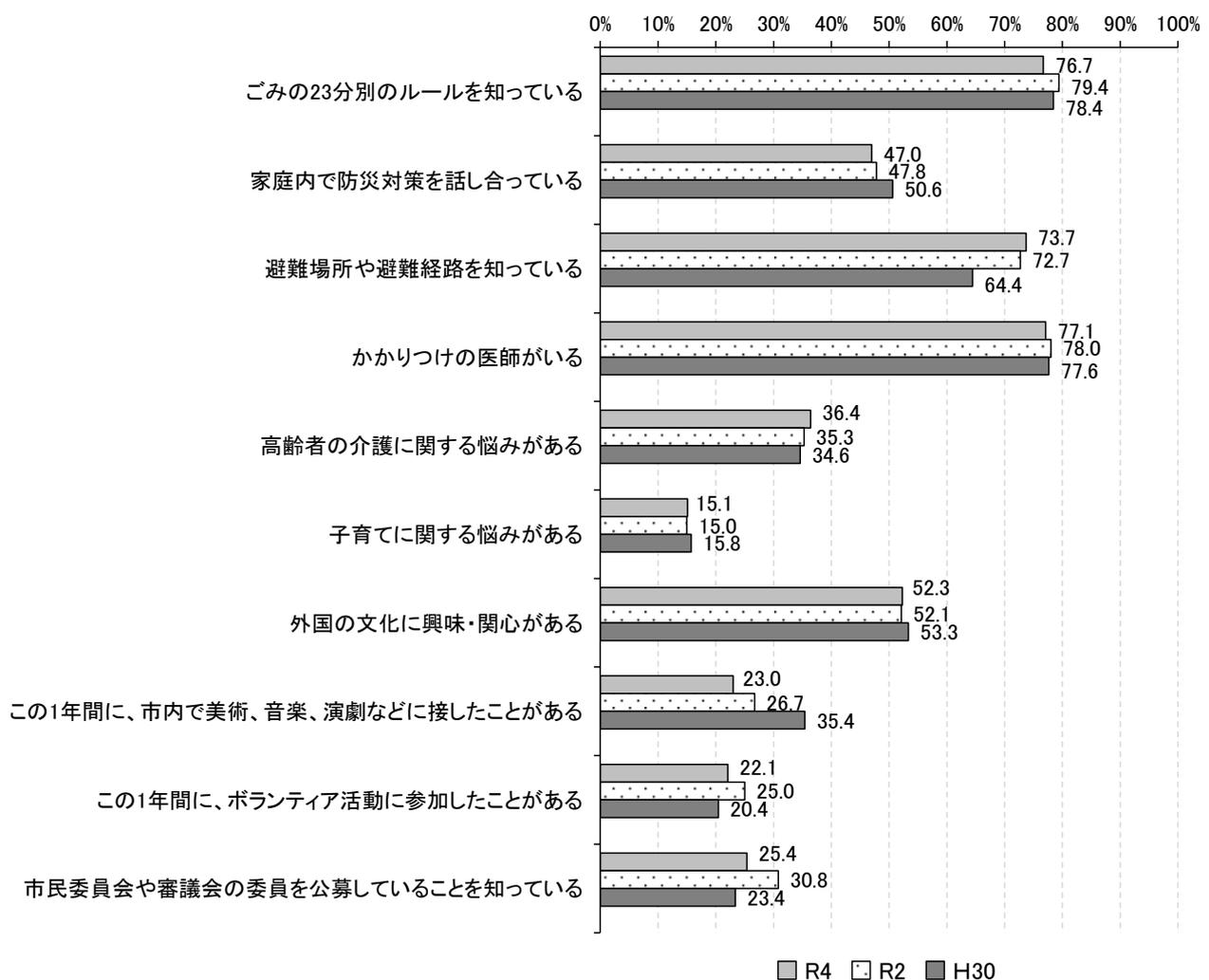
3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「かかりつけの医師がいる」が77.1%で最も多くなっており、次いで「ごみの23分別のルールを知っている」が76.7%、「避難場所や避難経路を知っている」が73.7%となっている。

また、「避難場所や避難経路を知っている」「高齢者の介護に関する悩みがある」は年々増加する傾向がみられる。一方、「家庭内で防災対策を話し合っている」「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」は年々減少する傾向がみられる。

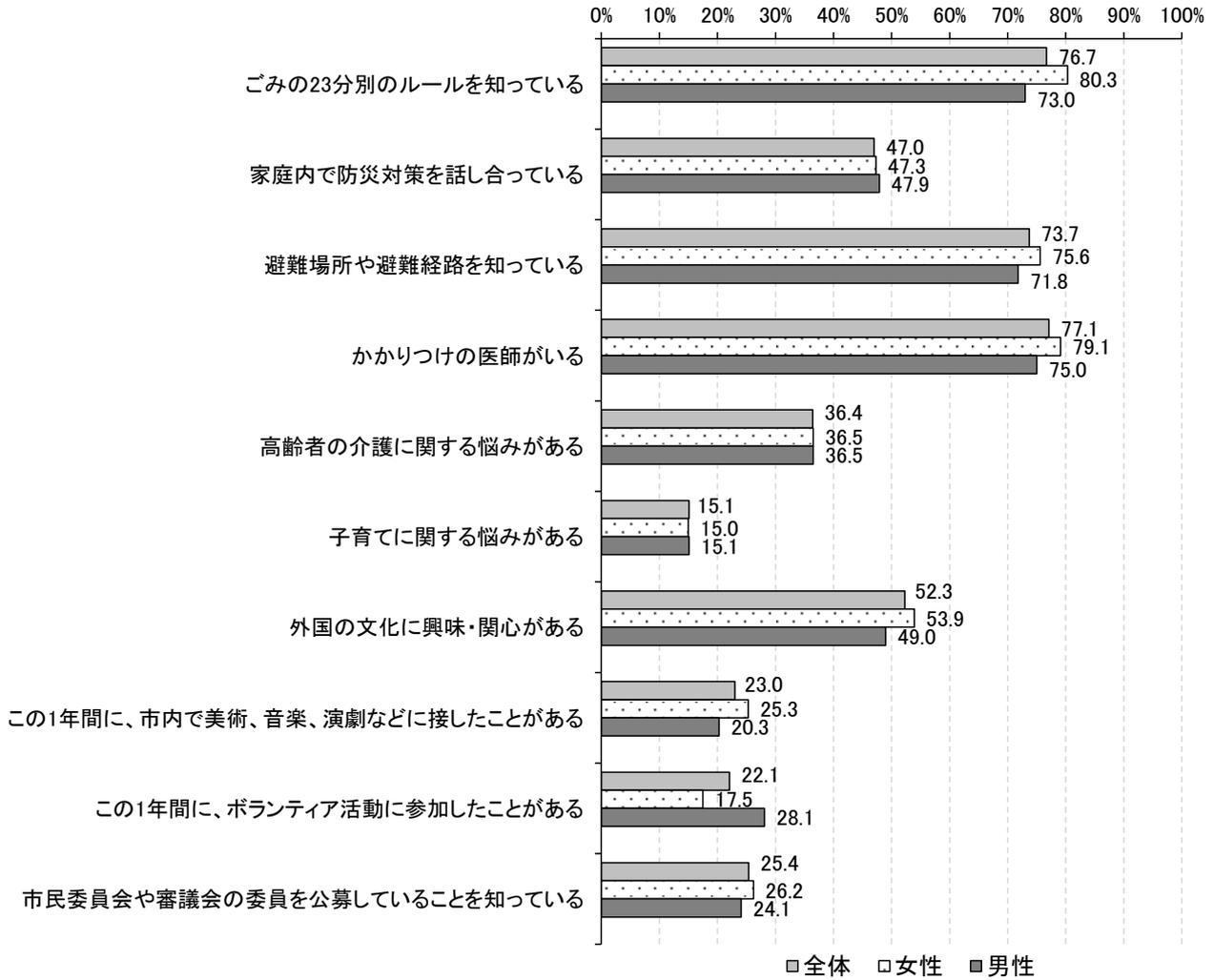
図 3-1-1 「生活実態および市民意識」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

性別でみると、「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」は、「男性」が「女性」を10.6ポイント上回っている。その他、「家庭内で防災対策を話し合っている」「子育てに関する悩みがある」「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」を除く全ての項目で、「女性」が「男性」よりも高くなっている。

図 3-1-2 性別「生活実態および市民意識」



年代別にみると、「50～59 歳」以上になると「ごみの 23 分別のルールを知っている」が8割を超えて高くなっているが、「16・17 歳」、「18・19 歳」では3割前後となっている。また、「50～59 歳」では「高齢者の介護に関する悩みがある」が 50.0%、「18・19 歳」では「この 1 年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」が 41.2%と他の年代と比べ高くなっている。

図 3-1-3 年代別「生活実態および市民意識」

	(%)	全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
①ごみの23分別のルールを知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	76.7	20.0	34.3	49.4	68.0	72.2	80.1	88.9	89.1
②家庭内で防災対策を話し合っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	47.0	50.0	31.4	42.9	37.1	47.7	46.4	46.8	54.4
③避難場所や避難経路を知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	73.7	80.0	79.4	61.0	64.9	68.9	72.9	78.6	77.7
④かかりつけの医師がいる	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	77.1	82.8	64.7	63.6	62.9	67.5	72.9	80.5	90.7
⑤高齢者の介護に関する悩みがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	36.4	10.0	5.7	23.4	24.7	37.1	50.0	39.2	40.1
⑥子育てに関する悩みがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	15.1	0.0	2.9	21.1	36.1	28.5	12.7	11.2	6.7
⑦外国の文化に興味・関心がある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	52.3	63.3	60.0	48.0	57.7	53.0	54.5	52.6	47.2
⑧この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	23.0	33.3	41.2	20.8	18.6	20.5	18.8	24.9	24.4
⑨この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	22.1	30.0	17.1	11.7	13.4	17.2	21.2	28.1	26.8
⑩市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	25.4	13.3	0.0	13.0	11.3	23.8	25.0	31.6	33.1

【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「脇之島」では「外国の文化に興味・関心がある」、「南姫」では「市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている」が他の小学校区と比べ高くなっている。

図 3-1-4 小学校区別「生活実態および市民意識」

(%)	全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
①ごみの23分別のルールを知っている	76.7	82.6	75.3	70.7	78.1	70.8	87.3	67.5	72.2	75.0	70.4	84.6	83.6	67.6
②家庭内で防災対策を話し合っている	47.0	50.0	41.1	53.7	48.5	45.3	60.0	47.5	40.8	53.6	39.6	50.8	61.8	43.2
③避難場所や避難経路を知っている	73.7	75.6	69.2	73.2	73.3	66.0	85.5	62.5	77.8	78.6	70.4	73.4	89.1	81.1
④かかりつけの医師がいる	77.1	86.5	67.6	70.7	81.6	66.0	83.6	80.0	81.7	64.3	71.4	81.0	80.0	81.1
⑤高齢者の介護に関する悩みがある	36.4	42.1	41.8	34.1	39.0	37.7	27.3	40.0	33.3	28.6	34.0	36.4	21.8	21.6
⑥子育てに関する悩みがある	15.1	11.6	25.5	15.0	11.1	19.8	18.2	15.0	11.3	10.7	10.5	12.5	14.5	13.5
⑦外国の文化に興味・関心がある	52.3	48.5	47.6	48.8	58.7	45.3	64.8	62.5	52.8	64.3	44.8	45.5	72.7	62.2
⑧この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある	23.0	25.4	24.0	24.4	24.3	18.9	22.2	30.0	30.6	10.7	15.8	13.6	25.5	29.7
⑨この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある	22.1	19.4	21.9	17.1	30.5	18.9	29.1	22.5	20.8	28.6	14.7	28.8	25.5	21.6
⑩市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている	25.4	29.7	23.4	29.3	27.6	22.9	23.6	25.0	19.4	39.3	11.6	30.3	32.7	27.0

4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市の施策項目ごとに、満足度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、満足度の選択肢に対して次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いている。

《満足度の各選択肢に対する得点》

選択肢番号	満足度	得点
1	満足	2
2	やや満足	1
3	やや不満	-1
4	不満	-2
5	わからない	0

《評価得点の算出式》

$$\text{満足度} = \frac{([\text{満足}] \times 2 \text{点}) + ([\text{やや満足}] \times 1 \text{点}) + ([\text{やや不満}] \times -1 \text{点}) + ([\text{不満}] \times -2 \text{点})}{\text{回答者数}([\text{わからない}] \text{を除く})}$$

「市政への満足度」は42項目中8項目でプラスの評価となっている。一方で42項目中34項目がマイナス評価となっており、特に「渋滞緩和のための道路整備」(-1.29ポイント)、「地域の特性にあわせた計画的な土地利用」(-0.85ポイント)では、マイナスの値が高くなっている。

<満足度上位5項目>

満足度が高かった項目	点数
水道水の安定供給	1.07
下水道の整備	0.93
消防・救急体制の整備	0.63
市内医療機関の充実	0.41
まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.28

<満足度下位5項目>

満足度が低かった項目	点数
渋滞緩和のための道路整備	▲1.29
地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲0.85
鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲0.82
地域の農業振興	▲0.77
子育てや女性の就業への支援	▲0.76

図 4-1-1 「市政への満足度」

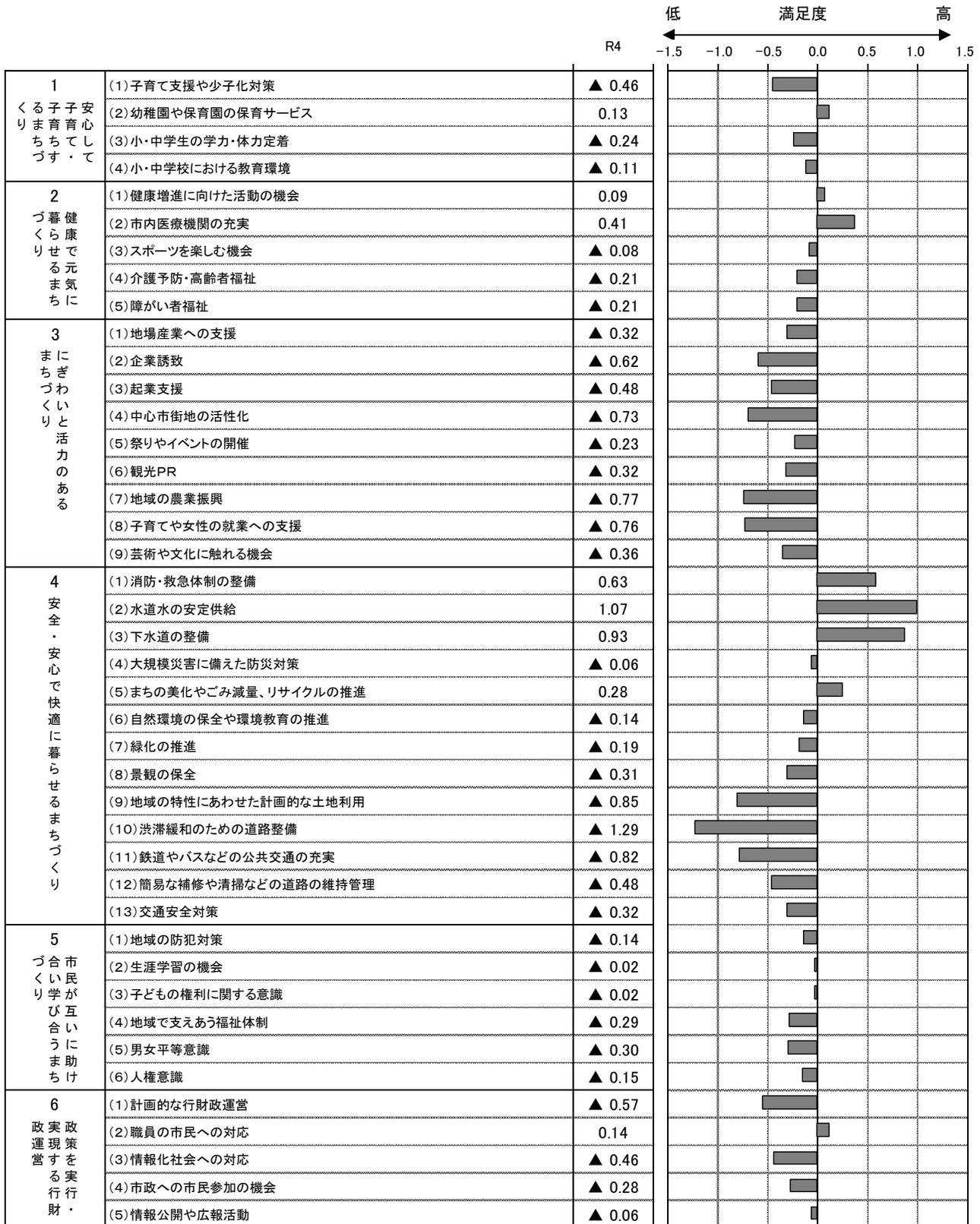
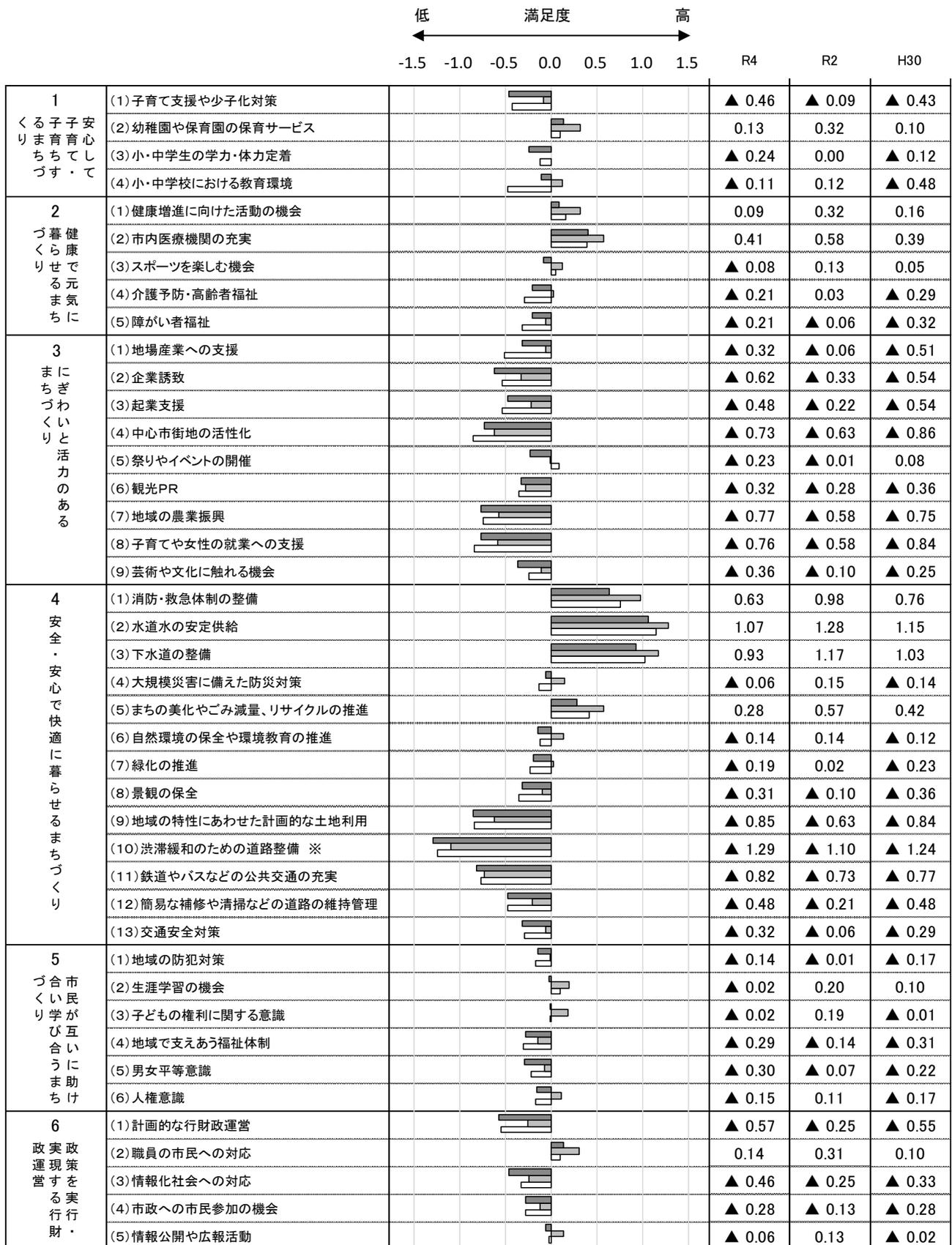


図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較)



■ R4 ■ R2 □ H30

【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「18・19 歳」は 42 項目中 39 項目、「16・17 歳」は 35 項目で満足度がプラスの評価となっている。また、「16・17 歳」は「最も評価の高い項目数」が 22 項目で最も多くなっており、「60～69 歳」は「最も評価の低い項目数」が 31 項目で最も多くなっている。

最も満足度が高い項目は、「16・17 歳」で「水道水の安定供給」が 1.61 ポイントとなっている。一方で、最も満足度の低い項目は、「40～49 歳」で「渋滞緩和のための道路整備」が -1.47 ポイントとなっている。

表 4-1-3 年代別「市政への満足度」

		全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 子育て安心 子育て 子育て 子育て	(1)子育て支援や少子化対策	▲ 0.46	▲ 0.33	<u>0.28</u>	▲ 0.92	▲ 0.69	▲ 0.50	▲ 0.48	▲ 0.69	▲ 0.14
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.13	0.38	<u>1.14</u>	▲ 0.42	▲ 0.02	0.16	0.19	▲ 0.38	0.55
	(3)小・中学生の学力・体力定着	▲ 0.24	0.50	<u>0.73</u>	▲ 0.61	▲ 0.29	▲ 0.23	▲ 0.19	▲ 0.70	▲ 0.19
	(4)小・中学校における教育環境	▲ 0.11	0.32	<u>0.48</u>	▲ 0.33	▲ 0.40	▲ 0.17	0.04	▲ 0.63	0.18
2 健康増進 健康増進 健康増進 健康増進	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.09	0.60	<u>0.64</u>	▲ 0.11	0.36	0.07	0.09	▲ 0.26	0.23
	(2)市内医療機関の充実	0.41	1.00	<u>1.23</u>	0.21	0.36	0.21	0.28	<u>0.16</u>	0.67
	(3)スポーツを楽しむ機会	▲ 0.08	<u>0.43</u>	0.30	▲ 0.36	0.02	▲ 0.05	▲ 0.09	▲ 0.30	0.02
	(4)介護予防・高齢者福祉	▲ 0.21	0.00	<u>0.30</u>	▲ 0.20	▲ 0.20	▲ 0.10	▲ 0.19	▲ 0.49	▲ 0.11
	(5)障がい者福祉	▲ 0.21	<u>0.70</u>	0.41	▲ 0.16	▲ 0.17	▲ 0.07	▲ 0.21	▲ 0.50	▲ 0.25
3 まちづくり まちづくり まちづくり まちづくり まちづくり まちづくり まちづくり まちづくり	(1)地場産業への支援	▲ 0.32	<u>0.60</u>	0.53	▲ 0.22	▲ 0.24	▲ 0.20	▲ 0.36	▲ 0.56	▲ 0.39
	(2)企業誘致	▲ 0.62	<u>0.44</u>	0.35	▲ 0.74	▲ 0.52	▲ 0.66	▲ 0.78	▲ 0.65	▲ 0.60
	(3)起業支援	▲ 0.48	▲ 0.40	<u>0.13</u>	▲ 0.64	▲ 0.37	▲ 0.27	▲ 0.64	▲ 0.62	▲ 0.44
	(4)中心市街地の活性化	▲ 0.73	<u>0.26</u>	0.19	▲ 0.56	▲ 0.58	▲ 0.72	▲ 0.86	▲ 0.82	▲ 0.88
	(5)祭りやイベントの開催	▲ 0.23	0.16	<u>0.29</u>	▲ 0.05	0.00	▲ 0.19	▲ 0.28	▲ 0.48	▲ 0.27
	(6)観光PR	▲ 0.32	0.21	<u>0.41</u>	▲ 0.29	0.02	▲ 0.20	▲ 0.27	▲ 0.58	▲ 0.47
	(7)地域の農業振興	▲ 0.77	<u>0.17</u>	<u>0.17</u>	▲ 0.60	▲ 0.50	▲ 0.78	▲ 0.80	▲ 1.03	▲ 0.81
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲ 0.76	0.13	<u>0.17</u>	▲ 0.79	▲ 0.98	▲ 0.65	▲ 0.67	▲ 1.01	▲ 0.78
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.36	0.32	<u>0.54</u>	▲ 0.03	▲ 0.21	▲ 0.16	▲ 0.25	▲ 0.70	▲ 0.58
4 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心	(1)消防・救急体制の整備	0.63	1.19	<u>1.33</u>	0.90	0.50	0.57	0.50	<u>0.40</u>	0.72
	(2)水道水の安定供給	1.07	<u>1.61</u>	1.58	1.31	1.01	1.17	0.94	<u>0.84</u>	1.11
	(3)下水道の整備	0.93	<u>1.56</u>	1.45	1.02	1.00	1.07	0.98	<u>0.71</u>	0.87
	(4)大規模災害に備えた防災対策	▲ 0.06	<u>0.47</u>	0.42	▲ 0.04	0.04	0.03	0.03	▲ 0.40	▲ 0.02
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.28	<u>0.65</u>	0.52	0.50	0.43	0.28	0.28	<u>0.02</u>	0.33
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	▲ 0.14	<u>0.53</u>	0.43	0.21	0.06	▲ 0.24	▲ 0.12	▲ 0.37	▲ 0.22
	(7)緑化の推進	▲ 0.19	<u>0.77</u>	0.28	0.30	▲ 0.07	▲ 0.28	▲ 0.07	▲ 0.36	▲ 0.39
	(8)景観の保全	▲ 0.31	<u>0.65</u>	0.29	0.11	0.08	▲ 0.37	▲ 0.31	▲ 0.62	▲ 0.46
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.85	<u>0.00</u>	▲ 0.24	▲ 0.44	▲ 0.71	▲ 0.96	▲ 0.83	▲ 1.07	▲ 0.97
	(10)渋滞緩和のための道路整備	▲ 1.29	▲ 0.45	▲ 0.21	▲ 1.12	▲ 1.24	▲ 1.47	▲ 1.39	▲ 1.43	▲ 1.32
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲ 0.82	▲ 0.56	▲ 0.45	▲ 0.61	▲ 0.66	▲ 0.90	▲ 0.87	▲ 1.07	▲ 0.78
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.48	<u>0.60</u>	0.58	▲ 0.11	▲ 0.28	▲ 0.44	▲ 0.45	▲ 0.80	▲ 0.64
	(13)交通安全対策	▲ 0.32	<u>1.30</u>	0.63	▲ 0.25	▲ 0.12	▲ 0.45	▲ 0.37	▲ 0.65	▲ 0.34
5 市民生活 市民生活 市民生活 市民生活 市民生活	(1)地域の防犯対策	▲ 0.14	<u>0.79</u>	0.08	0.20	0.12	▲ 0.14	▲ 0.14	▲ 0.39	▲ 0.23
	(2)生涯学習の機会	▲ 0.02	<u>0.80</u>	0.18	0.05	0.16	0.19	0.11	▲ 0.34	▲ 0.11
	(3)子どもの権利に関する意識	▲ 0.02	<u>0.60</u>	0.48	0.00	0.11	0.23	0.09	▲ 0.21	▲ 0.33
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.29	0.47	<u>0.71</u>	▲ 0.17	▲ 0.05	▲ 0.10	▲ 0.11	▲ 0.64	▲ 0.45
	(5)男女平等意識	▲ 0.30	<u>0.63</u>	0.50	0.17	▲ 0.04	▲ 0.42	▲ 0.28	▲ 0.79	▲ 0.32
	(6)人権意識	▲ 0.15	<u>0.89</u>	0.55	0.24	▲ 0.07	▲ 0.14	▲ 0.06	▲ 0.61	▲ 0.25
6 政策実施 政策実施 政策実施 政策実施 政策実施	(1)計画的な行財政運営	▲ 0.57	▲ 0.09	<u>0.31</u>	▲ 0.47	▲ 0.33	▲ 0.98	▲ 0.35	▲ 0.80	▲ 0.52
	(2)職員の市民への対応	0.14	0.77	<u>0.96</u>	0.15	0.25	▲ 0.07	0.09	▲ 0.04	0.23
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.46	<u>0.36</u>	0.13	▲ 0.14	▲ 0.46	▲ 0.49	▲ 0.45	▲ 0.74	▲ 0.47
	(4)市政への市民参加の機会	▲ 0.28	0.70	<u>0.75</u>	▲ 0.22	▲ 0.22	▲ 0.11	▲ 0.18	▲ 0.50	▲ 0.44
	(5)情報公開や広報活動	▲ 0.06	0.53	<u>0.74</u>	0.12	0.10	0.08	0.01	▲ 0.39	▲ 0.13

評価がプラスの項目(全42項目中)	8	35	39	14	16	11	13	5	10
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		0	0	10	8	19	16	42	25
最も評価の高い項目数(全42項目中)		22	21	0	0	0	0	0	0
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	0	4	0	3	1	31	3

▲：マイナス
 ■：全体より評価が低いもの
 下線：各項目で最も評価の高いもの
 斜体：各項目で最も評価の低いもの

小学校区別にみると、「笠原」で42項目中30項目がプラス評価となっているほか、「最も評価の高い項目数」も34項目で、小学校区の中で最も多くなっている。一方で、「最も評価の低い項目数」は「市之倉」で20項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「笠原」の「水道水の安定供給」で1.52ポイントとなっている。一方で最も満足度の低い項目は、「市之倉」の「渋滞緩和のための道路整備」で-1.72ポイントとなっている。

次のページからは各小学校区の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

表 4-1-4 小学校区別「市政への満足度」

		全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南郷	根本	北栄	脇之島	笠原
1 子育て安心 子育て 子育て 子育て	(1)子育て支援や少子化対策	▲0.46	▲0.44	▲0.45	0.06	▲0.71	▲0.51	▲0.49	▲0.88	▲0.33	▲1.18	▲0.41	▲0.24	▲0.77	0.10
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.13	0.18	0.05	0.38	▲0.13	0.24	0.10	0.00	0.10	▲0.56	0.37	0.16	0.11	0.35
	(3)小・中学生の学力・体力定着	▲0.24	▲0.36	▲0.31	0.38	▲0.46	▲0.04	▲0.09	▲0.54	▲0.19	▲1.00	▲0.27	0.03	▲0.35	▲0.17
	(4)小・中学校における教育環境	▲0.11	0.00	▲0.19	0.33	▲0.68	▲0.02	0.00	▲0.73	0.00	▲0.09	▲0.10	0.14	▲0.13	0.11
2 健康 健康 健康 健康 健康	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.09	0.33	▲0.01	▲0.08	▲0.25	0.05	▲0.05	0.00	0.08	0.11	0.03	0.08	0.17	0.87
	(2)市内医療機関の充実	0.41	0.58	0.39	0.53	0.41	0.19	0.32	0.09	0.33	▲0.17	0.18	0.82	0.70	0.83
	(3)スポーツを楽しむ機会	▲0.08	0.16	▲0.17	▲0.18	▲0.37	▲0.28	▲0.15	▲0.55	0.20	▲0.13	▲0.22	0.29	▲0.06	0.67
	(4)介護予防・高齢者福祉	▲0.21	▲0.02	▲0.31	▲0.36	▲0.20	▲0.47	▲0.07	▲0.57	▲0.19	▲0.40	▲0.51	▲0.34	0.22	0.57
	(5)障がい者福祉	▲0.21	▲0.15	▲0.32	▲0.40	▲0.18	▲0.31	0.08	▲0.80	▲0.52	▲0.30	▲0.43	▲0.38	0.24	0.65
3 にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ にぎわ	(1)地場産業への支援	▲0.32	▲0.30	▲0.07	▲0.10	▲0.55	▲0.34	▲0.41	▲1.20	▲0.43	▲0.25	▲0.42	▲0.16	▲0.05	0.00
	(2)企業誘致	▲0.62	▲0.50	▲0.63	▲0.26	▲0.72	▲0.82	▲0.44	▲0.92	▲0.60	▲0.64	▲0.70	▲0.53	▲0.80	▲0.11
	(3)起業支援	▲0.48	▲0.41	▲0.31	▲0.28	▲0.63	▲0.62	▲0.48	▲0.79	▲0.67	0.43	▲0.53	▲0.48	▲0.52	▲0.08
	(4)中心市街地の活性化	▲0.73	▲0.76	▲0.68	▲0.41	▲0.94	▲0.82	▲0.60	▲0.67	▲0.73	▲0.75	▲0.75	▲0.80	▲0.80	▲0.04
	(5)祭りやイベントの開催	▲0.23	▲0.13	▲0.21	0.00	▲0.55	▲0.49	▲0.22	0.07	▲0.12	0.05	▲0.30	▲0.22	▲0.11	0.07
	(6)観光PR	▲0.32	▲0.23	▲0.36	▲0.48	▲0.61	▲0.33	▲0.02	▲0.73	▲0.22	▲0.25	▲0.50	▲0.09	▲0.51	0.50
	(7)地域の農業振興	▲0.77	▲0.88	▲0.73	▲0.73	▲0.98	▲0.79	▲0.70	▲1.25	▲0.59	▲0.42	▲0.74	▲0.91	▲0.48	▲0.13
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲0.76	▲0.62	▲0.86	▲0.61	▲0.96	▲0.65	▲0.50	▲1.13	▲0.81	▲0.17	▲1.06	▲0.72	▲0.87	▲0.47
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲0.36	▲0.38	▲0.37	0.04	▲0.55	▲0.44	▲0.35	▲0.61	0.00	▲0.28	▲0.54	▲0.59	▲0.32	0.40
4 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心 安全・安心	(1)消防・救急体制の整備	0.63	0.76	0.67	0.58	0.39	0.49	0.49	0.59	0.52	0.70	0.54	0.80	0.71	0.93
	(2)水道水の安定供給	1.07	1.13	1.13	1.24	0.89	1.04	1.00	1.00	0.84	1.26	1.01	1.04	1.21	1.52
	(3)下水道の整備	0.93	0.97	1.06	1.11	0.68	0.89	0.82	0.83	0.98	0.79	0.91	0.89	1.17	1.21
	(4)大規模災害に備えた防災対策	▲0.06	▲0.05	▲0.05	▲0.48	▲0.33	▲0.04	▲0.10	▲0.45	0.03	0.35	0.15	▲0.03	0.29	0.21
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.28	0.36	0.35	0.24	0.17	0.17	0.08	0.00	0.29	0.00	0.33	0.54	0.41	0.55
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	▲0.14	▲0.12	▲0.07	▲0.07	▲0.47	▲0.11	▲0.39	▲0.42	0.10	▲0.39	▲0.12	▲0.21	0.20	0.37
	(7)緑化の推進	▲0.19	▲0.23	▲0.18	▲0.37	▲0.23	0.04	▲0.52	▲0.36	0.05	▲0.55	▲0.09	▲0.51	0.15	▲0.03
	(8)景観の保全	▲0.31	▲0.35	▲0.44	▲0.29	▲0.45	0.00	▲0.59	▲0.30	▲0.22	▲0.70	▲0.31	▲0.52	▲0.11	0.18
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲0.85	▲0.79	▲1.04	▲0.41	▲0.94	▲0.83	▲0.89	▲1.19	▲0.47	▲0.87	▲0.81	▲1.06	▲0.91	▲0.38
	(10)渋滞緩和のための道路整備	▲1.29	▲1.20	▲1.46	▲1.11	▲1.28	▲1.28	▲1.37	▲1.72	▲1.42	▲1.43	▲1.29	▲1.23	▲1.31	▲0.69
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲0.82	▲0.49	▲0.59	▲1.31	▲0.70	▲0.79	▲1.06	▲1.50	▲0.95	▲0.86	▲1.02	▲1.03	▲0.83	▲0.97
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲0.48	▲0.43	▲0.51	▲0.31	▲0.47	▲0.43	▲0.33	▲0.84	▲0.56	▲0.58	▲0.89	▲0.33	▲0.33	0.06
	(13)交通安全対策	▲0.32	▲0.23	▲0.45	▲0.15	▲0.46	▲0.23	▲0.39	▲0.55	▲0.45	▲0.15	▲0.51	▲0.15	▲0.32	0.34
5 市民が 市民が 市民が 市民が 市民が 市民が	(1)地域の防犯対策	▲0.14	0.04	▲0.17	▲0.66	▲0.43	▲0.06	0.00	▲0.35	▲0.08	▲0.37	▲0.54	0.00	0.10	0.68
	(2)生涯学習の機会	▲0.02	0.16	▲0.03	0.26	▲0.30	0.08	▲0.22	▲0.05	▲0.21	0.22	▲0.43	0.04	▲0.08	0.63
	(3)子どもの権利に関する意識	▲0.02	0.04	▲0.13	0.13	▲0.39	0.03	0.09	▲0.24	0.21	0.33	▲0.35	▲0.19	0.32	0.57
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲0.29	▲0.19	▲0.47	▲0.35	▲0.48	▲0.18	▲0.21	▲0.77	▲0.32	▲0.06	▲0.46	▲0.22	▲0.03	0.48
	(5)男女平等意識	▲0.30	▲0.29	▲0.64	▲0.26	▲0.37	▲0.07	▲0.36	▲0.33	▲0.15	0.00	▲0.48	▲0.28	▲0.32	0.28
	(6)人権意識	▲0.15	▲0.11	▲0.62	▲0.22	▲0.36	0.06	0.00	▲0.37	▲0.05	0.14	▲0.24	▲0.07	0.00	0.70
6 政策 政策 政策 政策 政策	(1)計画的な財政運営	▲0.57	▲0.45	▲0.54	▲0.30	▲0.82	▲0.71	▲0.72	▲0.86	▲0.71	▲0.93	▲0.64	▲0.11	▲0.34	▲0.05
	(2)職員の市民への対応	0.14	0.14	0.14	0.43	0.17	0.10	▲0.04	▲0.03	▲0.32	0.36	0.04	0.35	0.36	0.63
	(3)情報化社会への対応	▲0.46	▲0.44	▲0.51	▲0.24	▲0.75	▲0.40	▲0.54	▲0.81	▲0.62	0.00	▲0.50	▲0.11	▲0.50	0.55
	(4)市政への市民参加の機会	▲0.28	▲0.21	▲0.28	▲0.29	▲0.41	▲0.29	▲0.03	▲0.81	▲0.32	▲0.06	▲0.40	▲0.22	▲0.21	0.45
	(5)情報公開や広報活動	▲0.06	▲0.09	▲0.03	0.03	▲0.32	▲0.08	0.07	▲0.62	▲0.13	0.05	▲0.19	0.21	0.38	0.71

評価がプラスの項目(全42項目中)	8	12	7	14	6	12	9	5	12	12	9	13	16	30
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		7	24	14	35	22	24	39	20	20	31	15	14	1
最も評価の高い項目数(全42項目中)		1	0	3	0	0	0	1	0	3	0	0	1	34
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	2	2	7	0	0	20	2	8	2	0	0	0

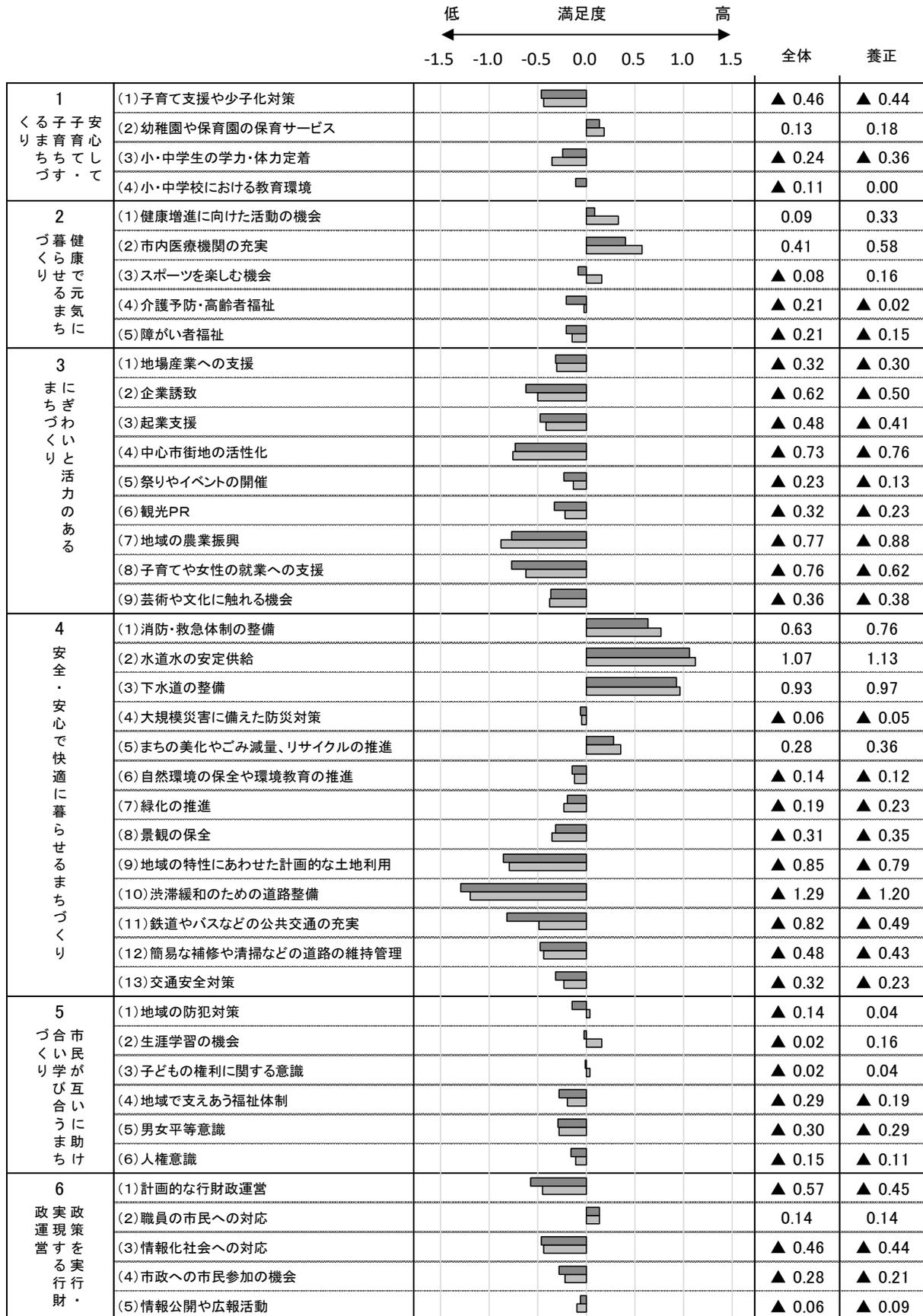
▲: マイナス

■: 全体より評価が低いもの

下線: 各項目で最も評価の高いもの

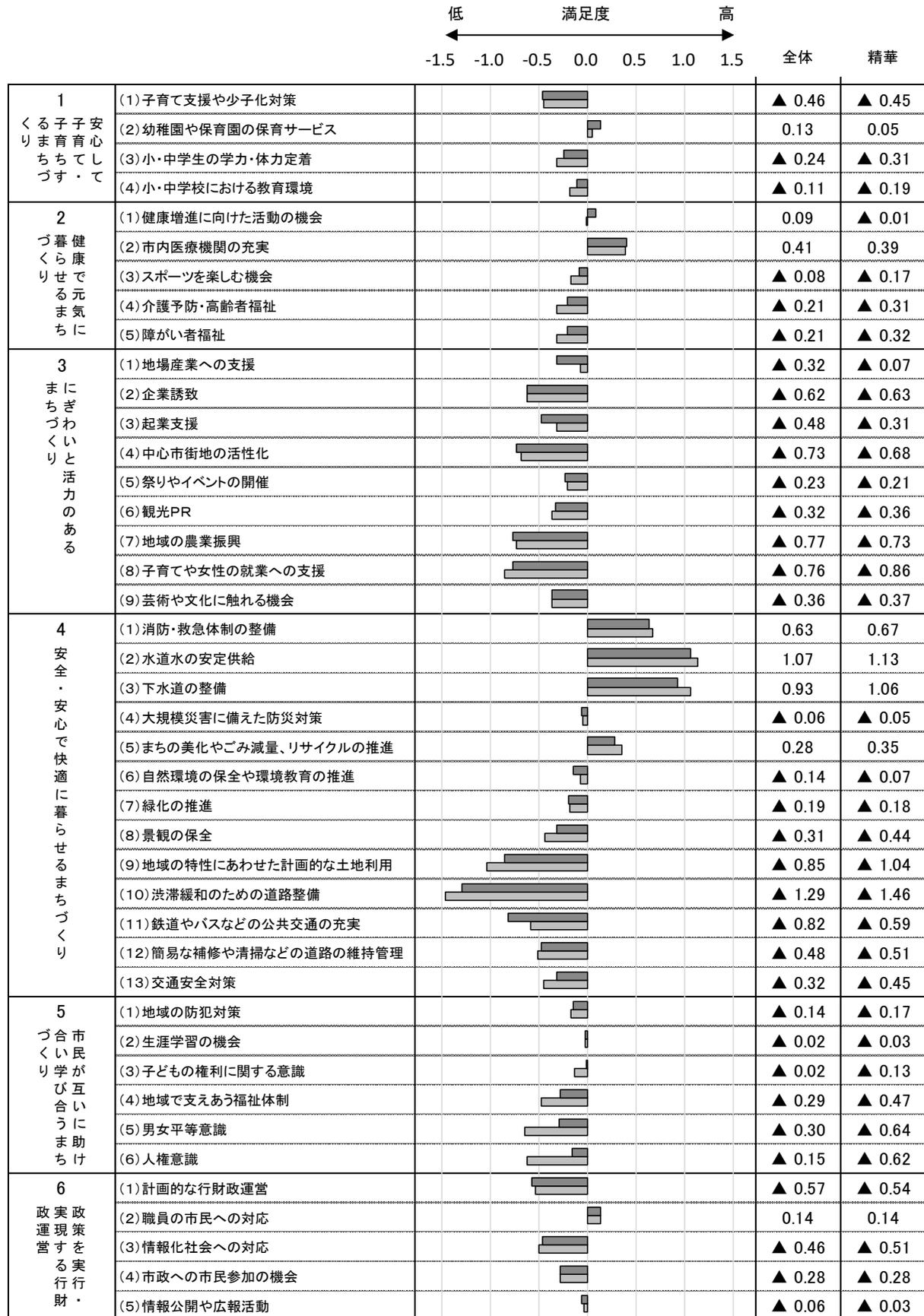
斜体: 各項目で最も評価の低いもの

図 4-1-5 「市政への満足度」(養正小学校区)



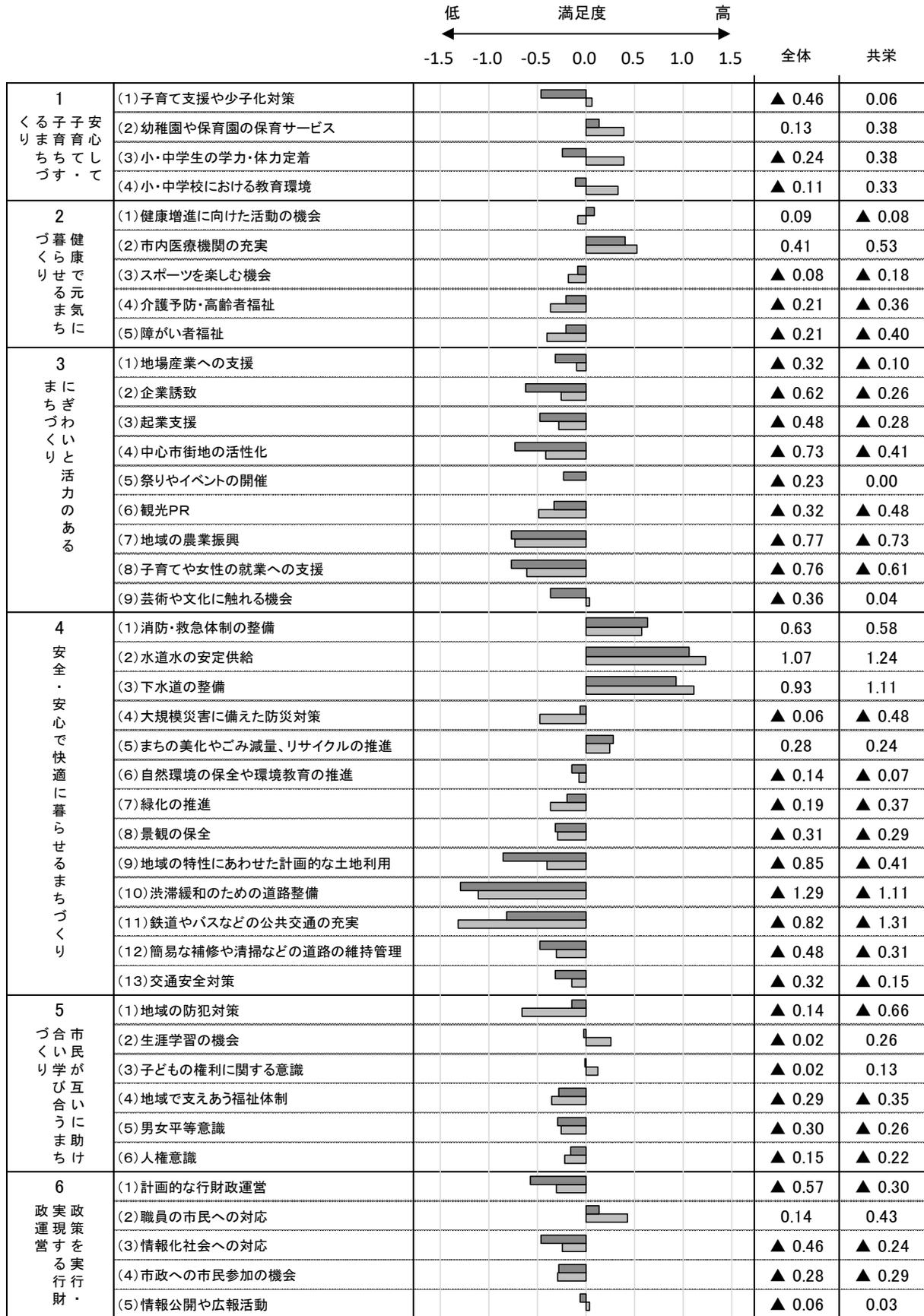
■ 全体 □ 養正

図 4-1-6 「市政への満足度」(精華小学校区)



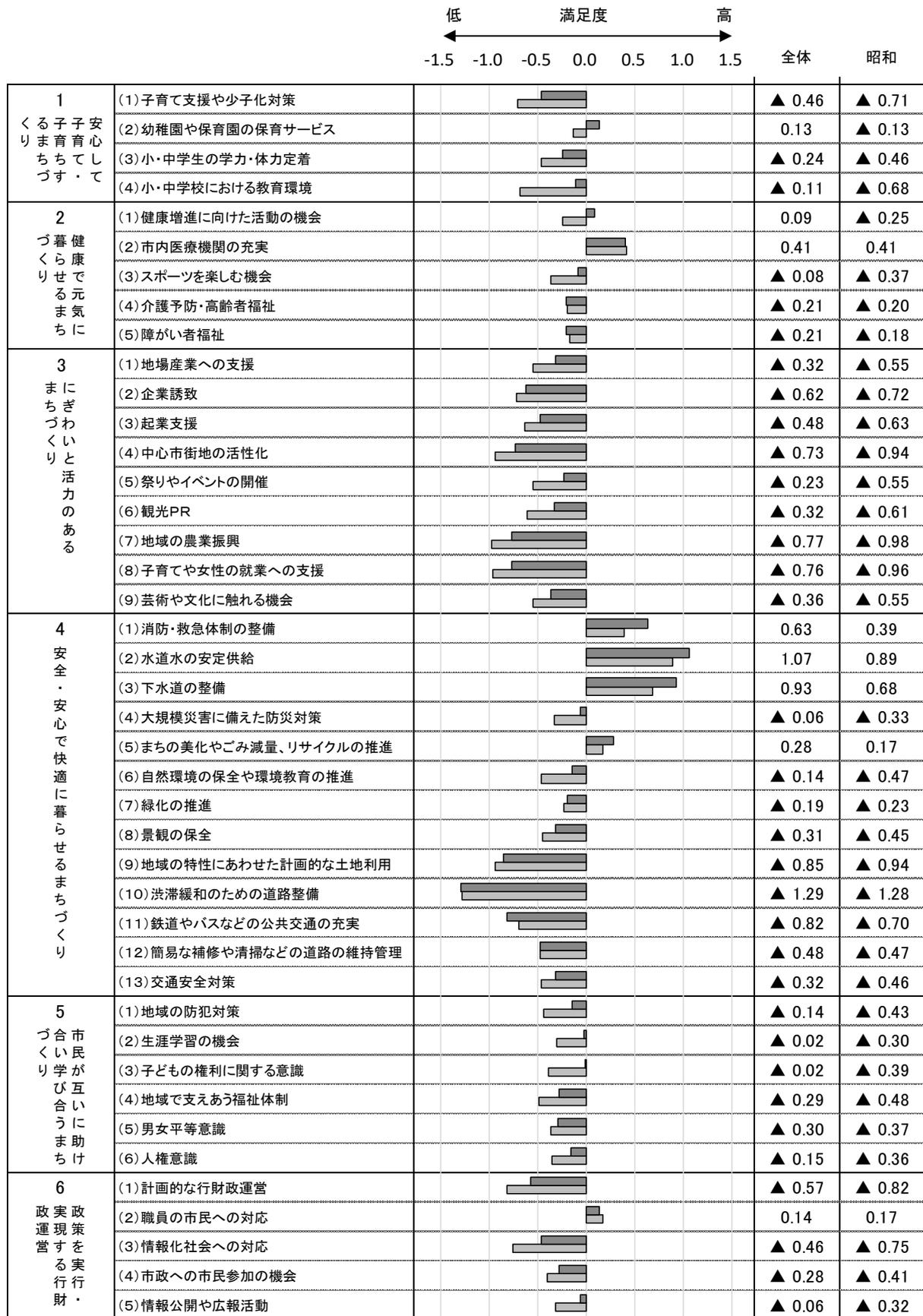
■ 全体 □ 精華

図 4-1-7 「市政への満足度」(共栄小学校区)



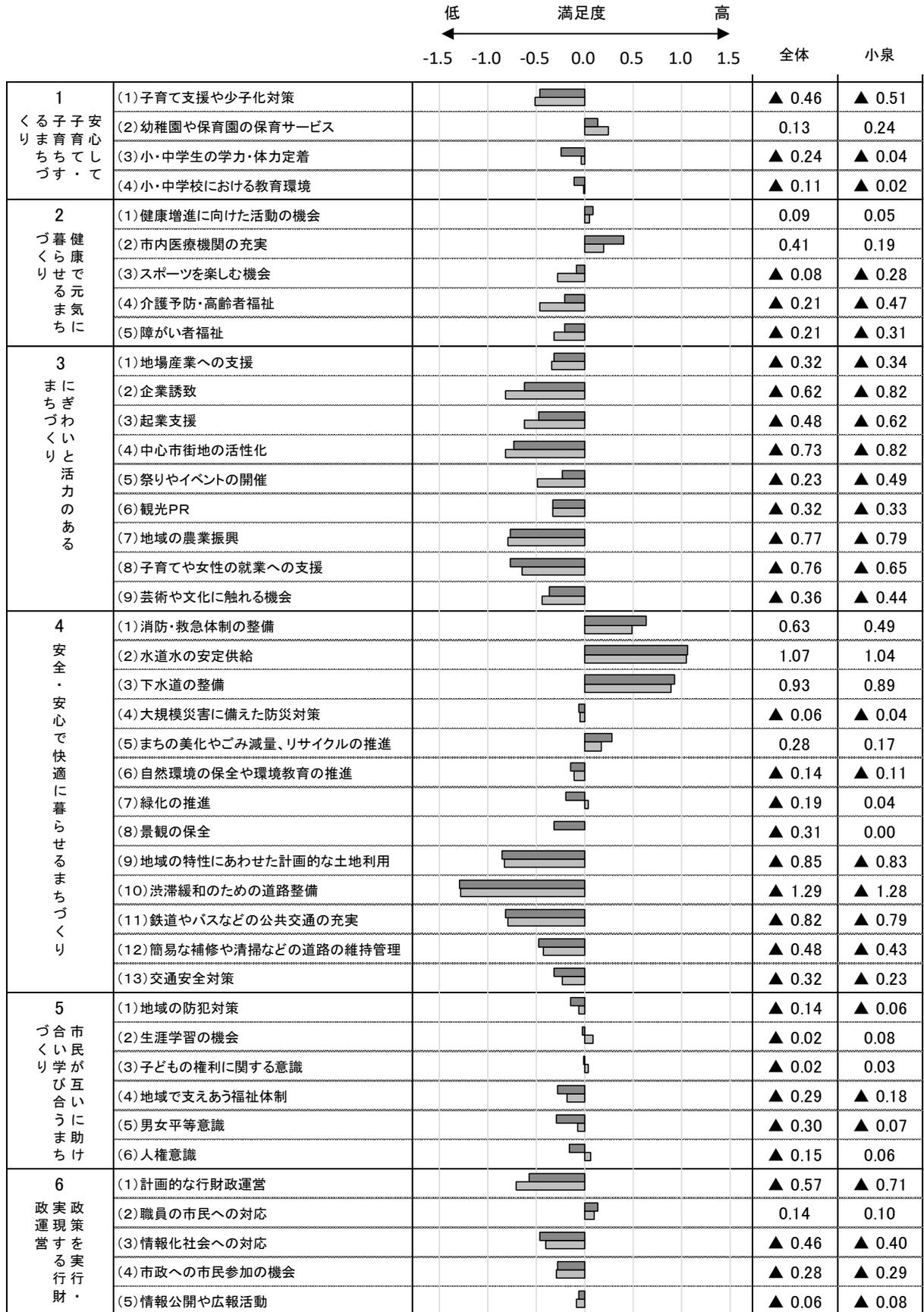
■ 全体 □ 共栄

図 4-1-8 「市政への満足度」(昭和小学校区)



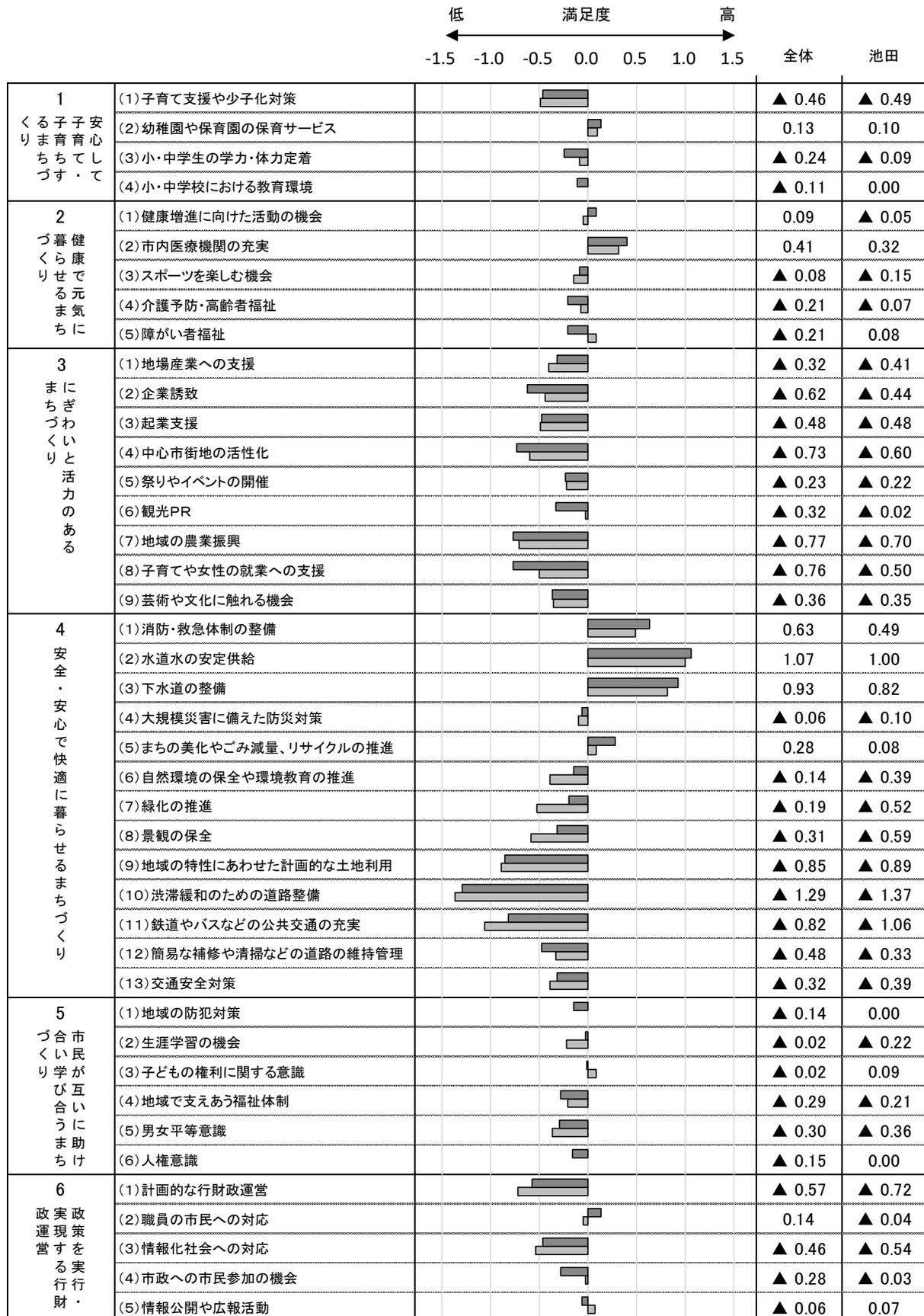
■全体 ■昭和

図 4-1-9 「市政への満足度」(小泉小学校区)



■ 全体 □ 小泉

図 4-1-10 「市政への満足度」(池田小学校区)



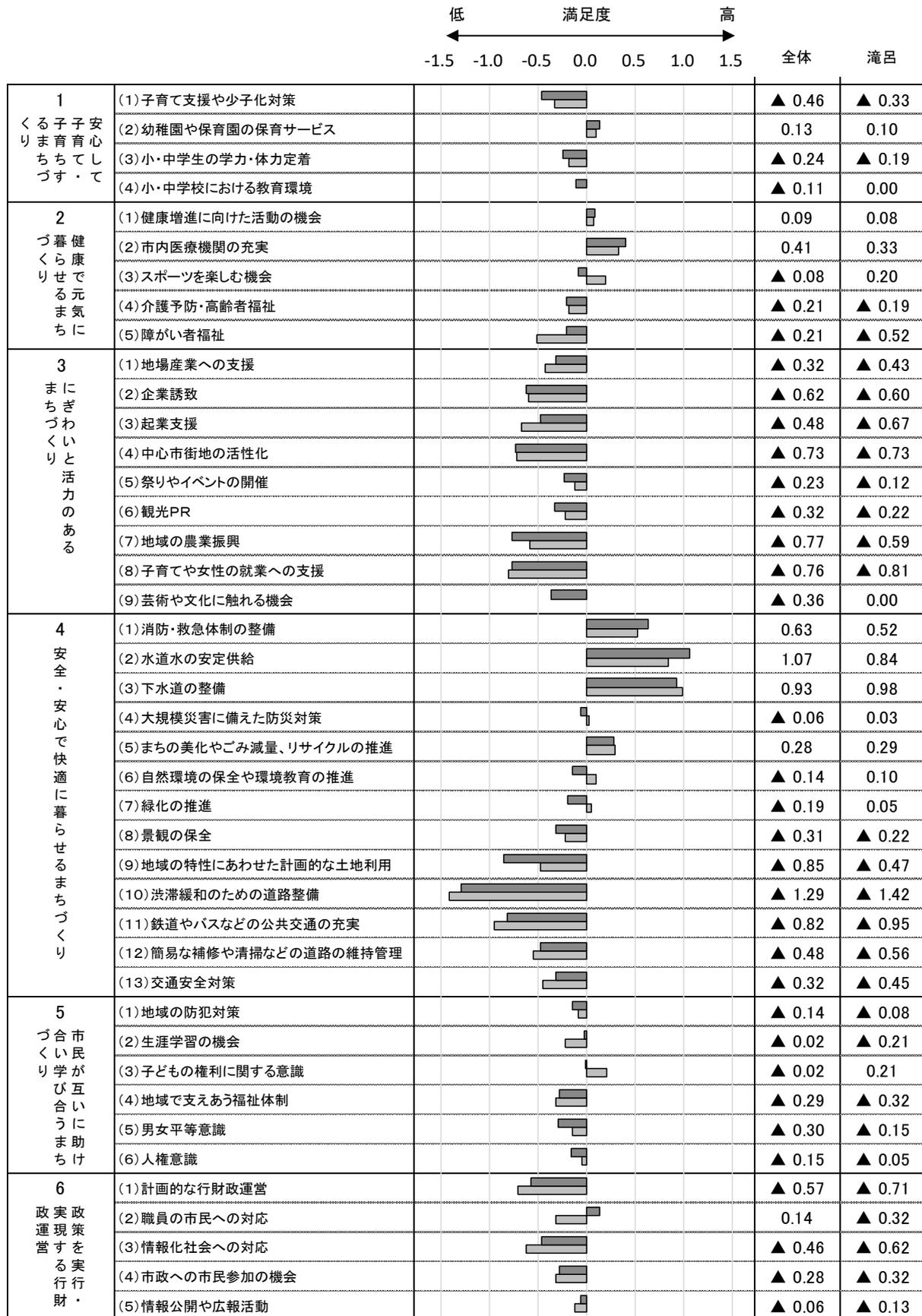
■全体 ■池田

図 4-1-11 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



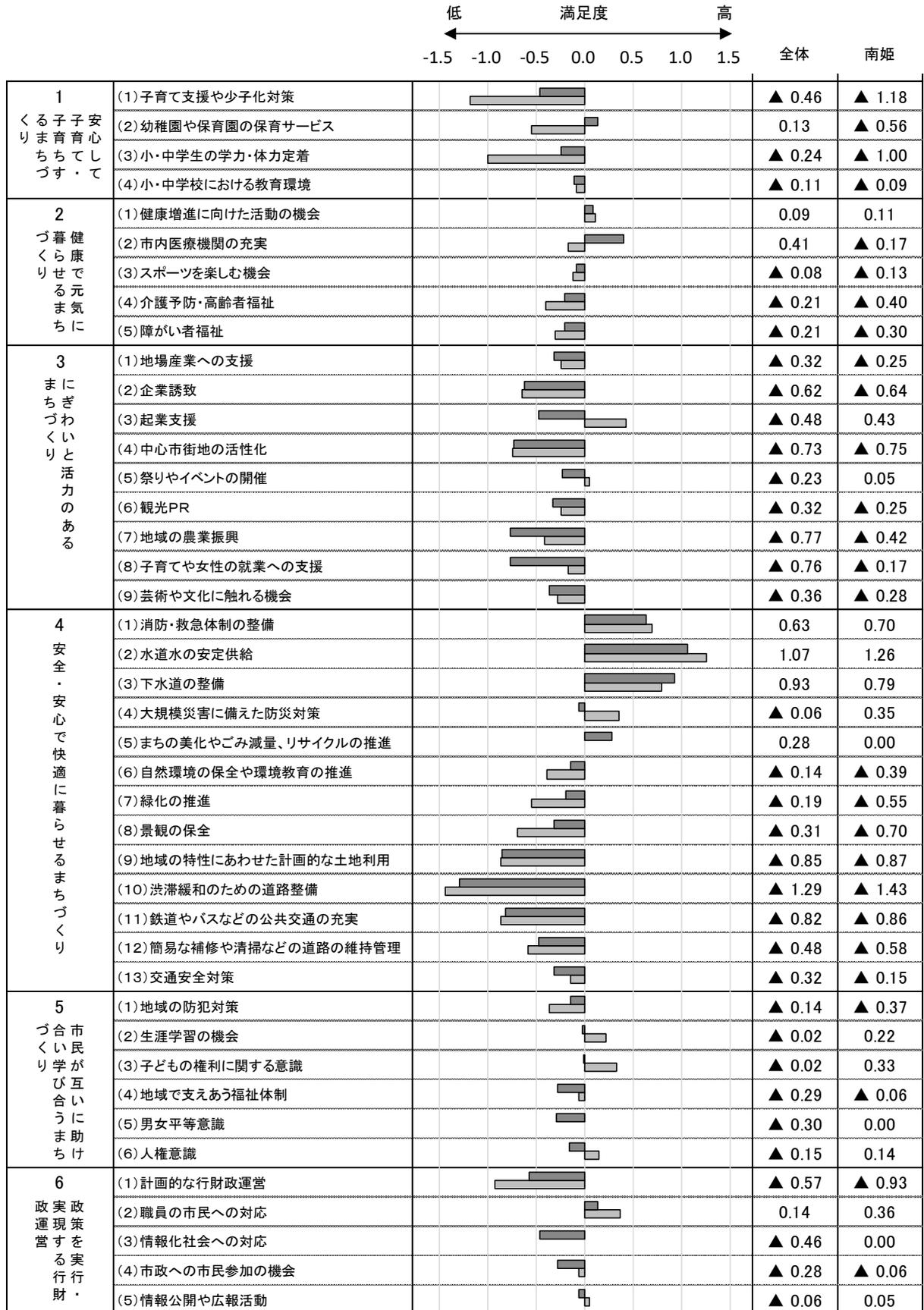
■全体 ■市之倉

図 4-1-12 「市政への満足度」(滝呂小学校区)



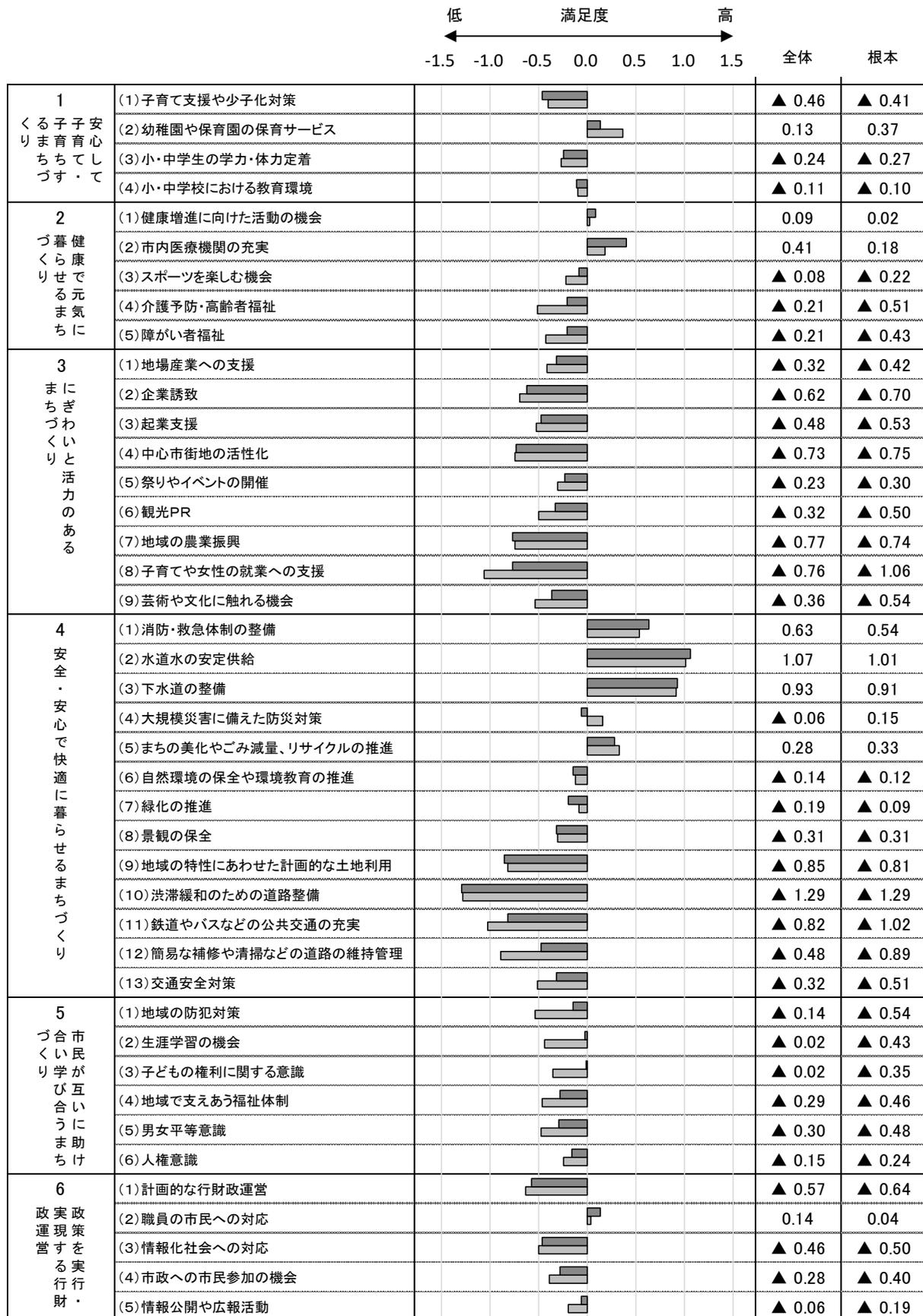
■全体 ■滝呂

図 4-1-13 「市政への満足度」(南姫小学校区)



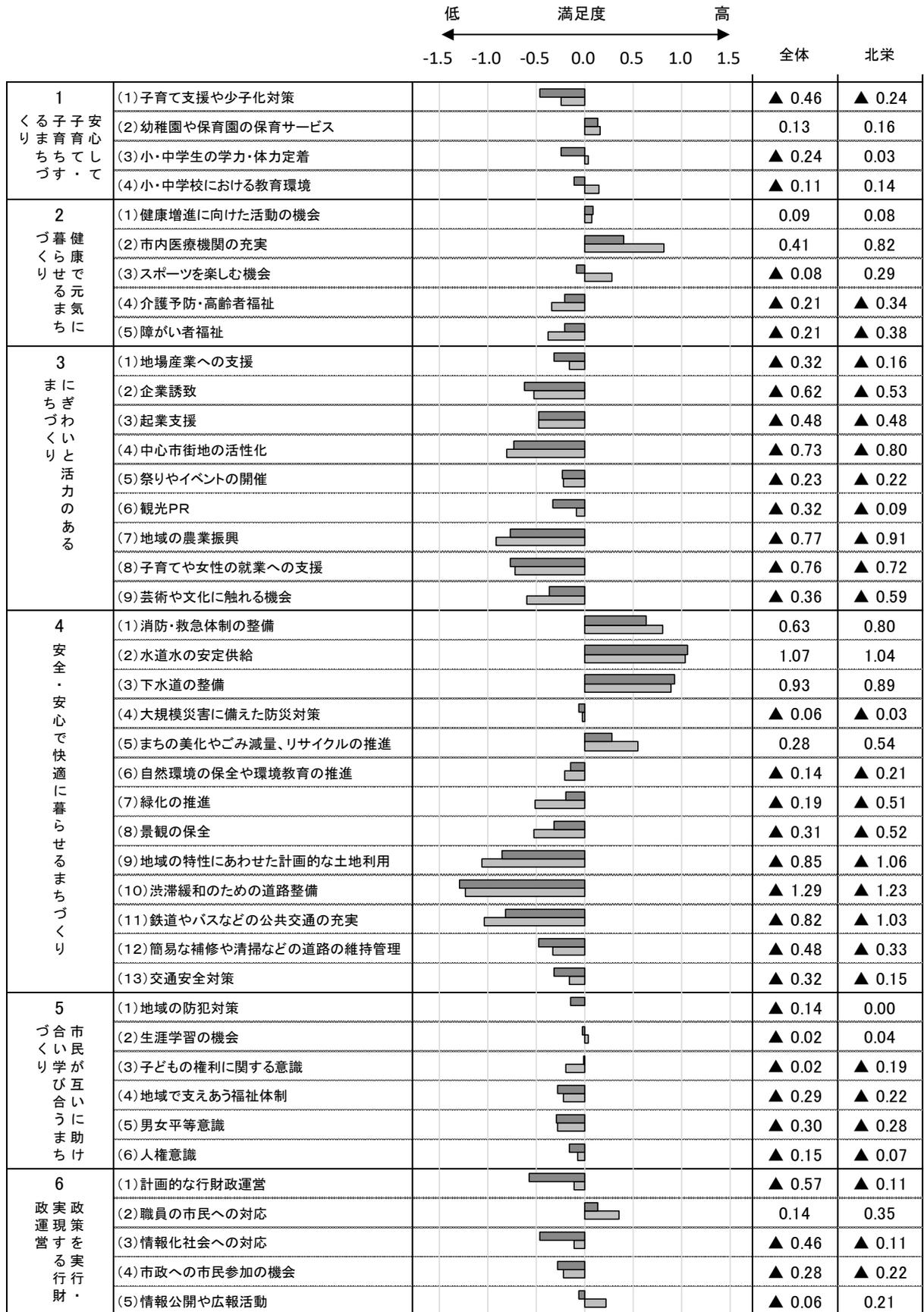
■全体 ■南姫

図 4-1-14 「市政への満足度」(根本小学校区)



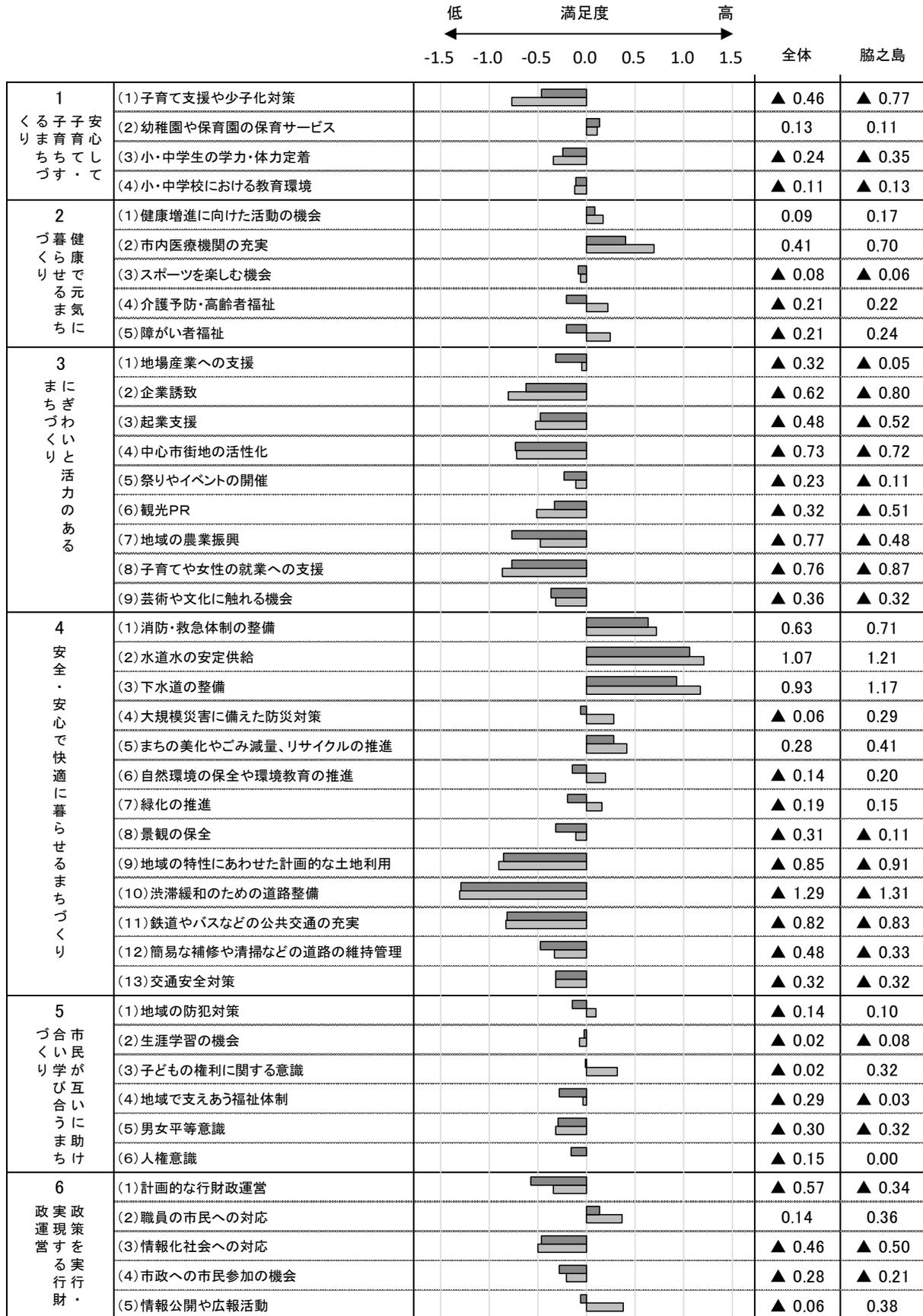
■全体 ■根本

図 4-1-15 「市政への満足度」(北栄小学校区)



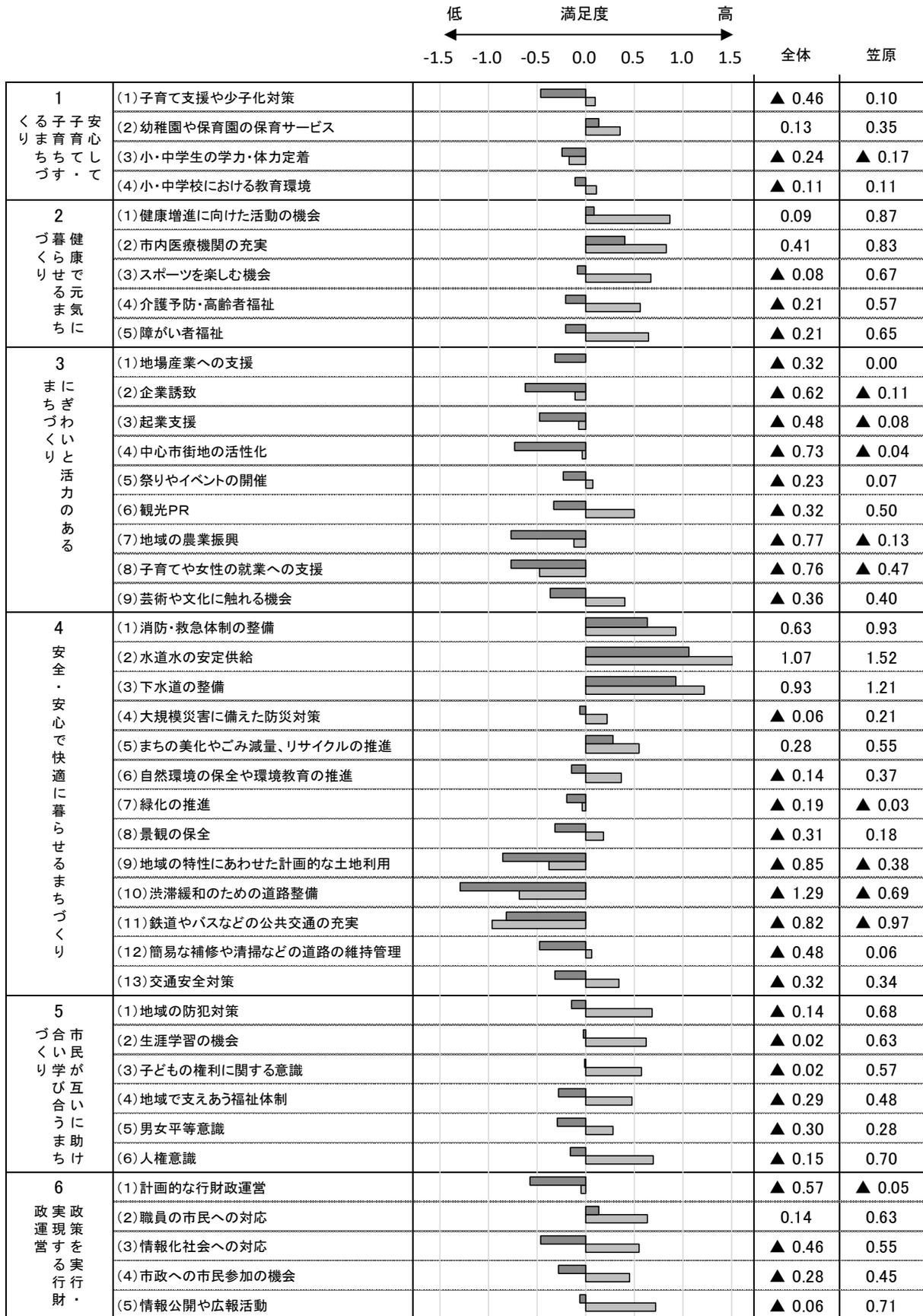
■ 全体 ■ 北栄

図 4-1-16 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



■全体 □脇之島

図 4-1-17 「市政への満足度」(笠原小学校区)



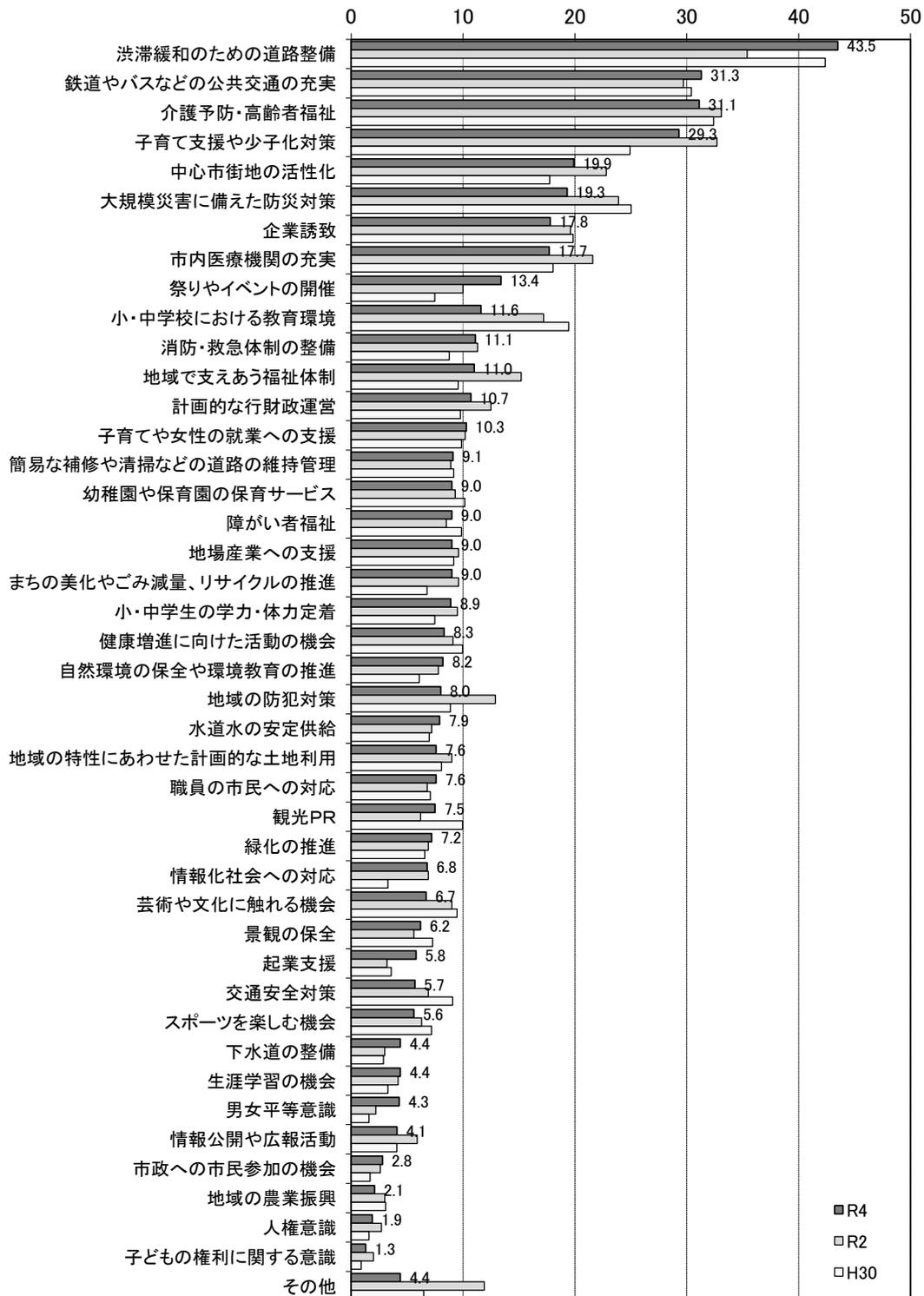
■ 全体 □ 笠原

4-2 市の重点施策

「渋滞緩和のための道路整備」が43.5%と最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が31.3%、「介護予防・高齢者福祉」が31.1%となっている。

令和2年調査と比較すると、変化幅が最も大きいのはそれぞれ「渋滞緩和のため道路整備」(8.1ポイント増加)、「小・中学校における教育環境」(5.6ポイント減少)となっている。

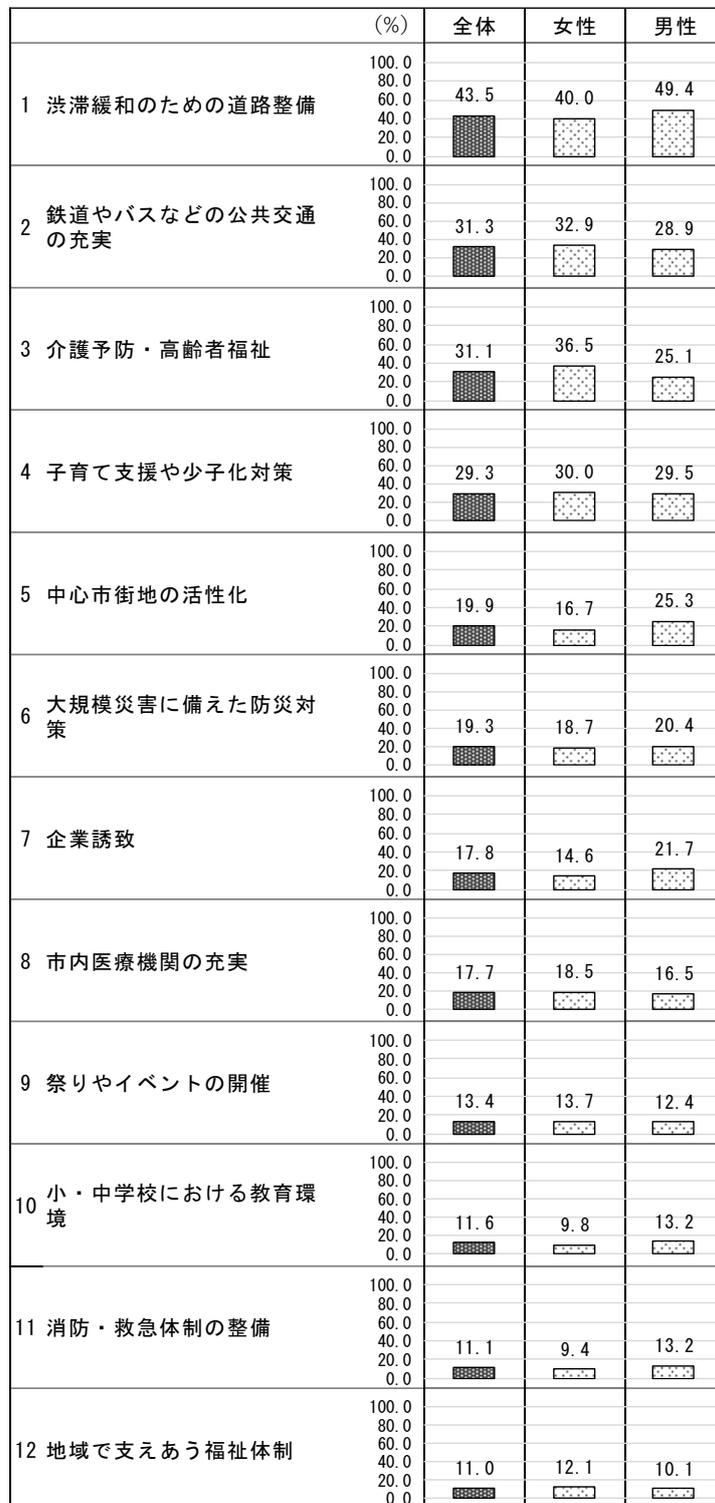
図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



【市民意識調査 一般】

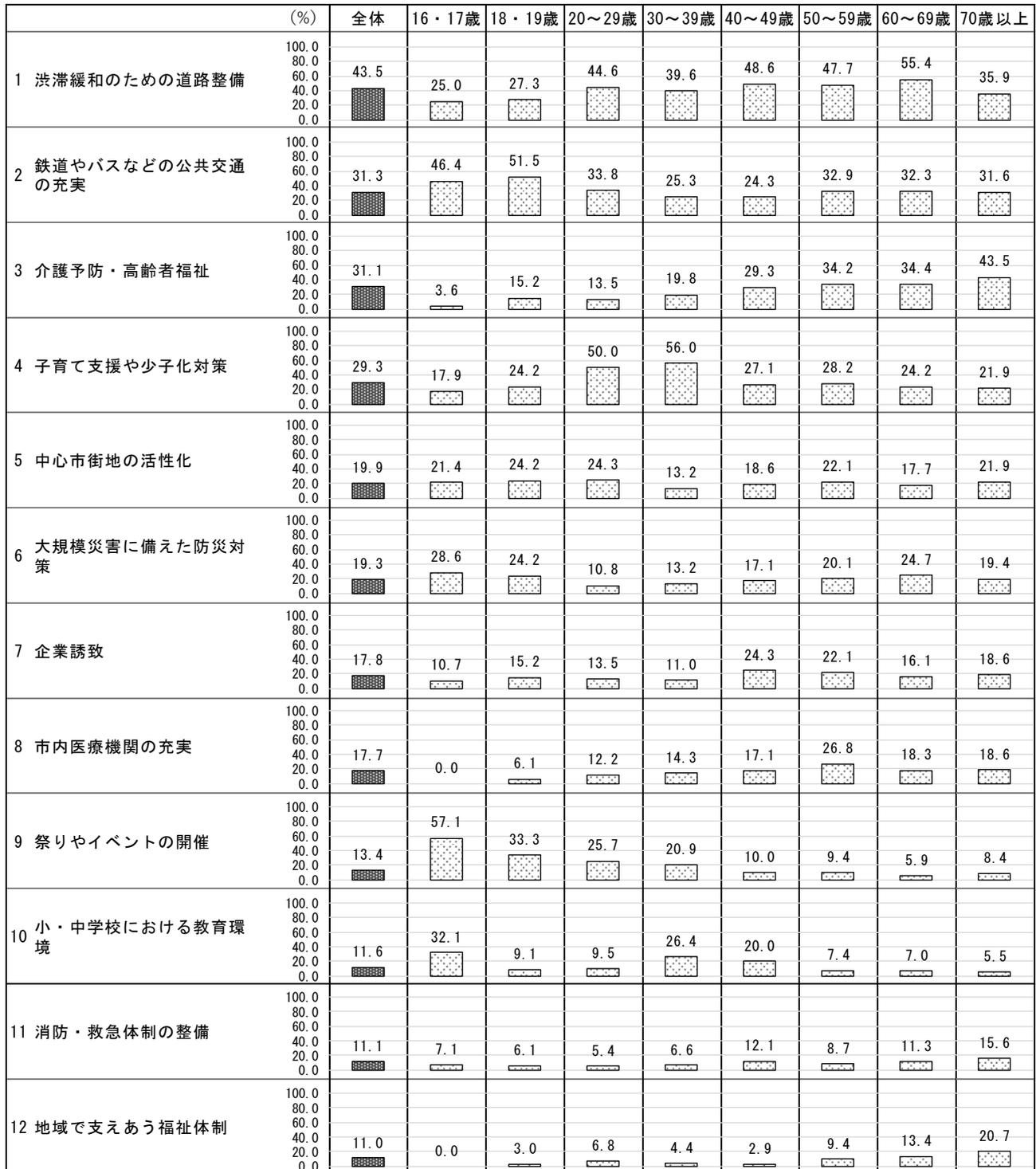
性別にみると、男女ともに「渋滞緩和のための道路整備」が最も高くなっている。「介護予防・高齢者福祉」は「女性」が36.5%と、「男性」の25.1%と比べ11.4ポイント高い。一方で、「渋滞緩和のため道路整備」は「男性」が49.4%と、「女性」の40.0%と比べて9.4ポイント高い。

図 4-2-2 性別「今後力を入れてほしい施策」(上位12項目)



年代別にみると、「16・17歳」では「祭りやイベントの開催」、「18・19歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」、「20～29歳」「30～39歳」では「子育て支援や少子化対策」、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では「渋滞緩和のための道路整備」、「70歳以上」では「介護予防・高齢者福祉」がそれぞれ最も高くなっている。

図 4-2-3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「池田」「滝呂」「南姫」「北栄」「脇之島」では「渋滞緩和のため道路整備」、「養正」では「介護予防・高齢者福祉」、「根本」「笠原」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」がそれぞれ最も高くなっている。「市之倉」では「渋滞緩和のため道路整備」と「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が同率で最も高くなっている。

また、「市内医療機関の充実」は特に「共栄」で高くなっており、3割を超えている。

図 4-2-4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)

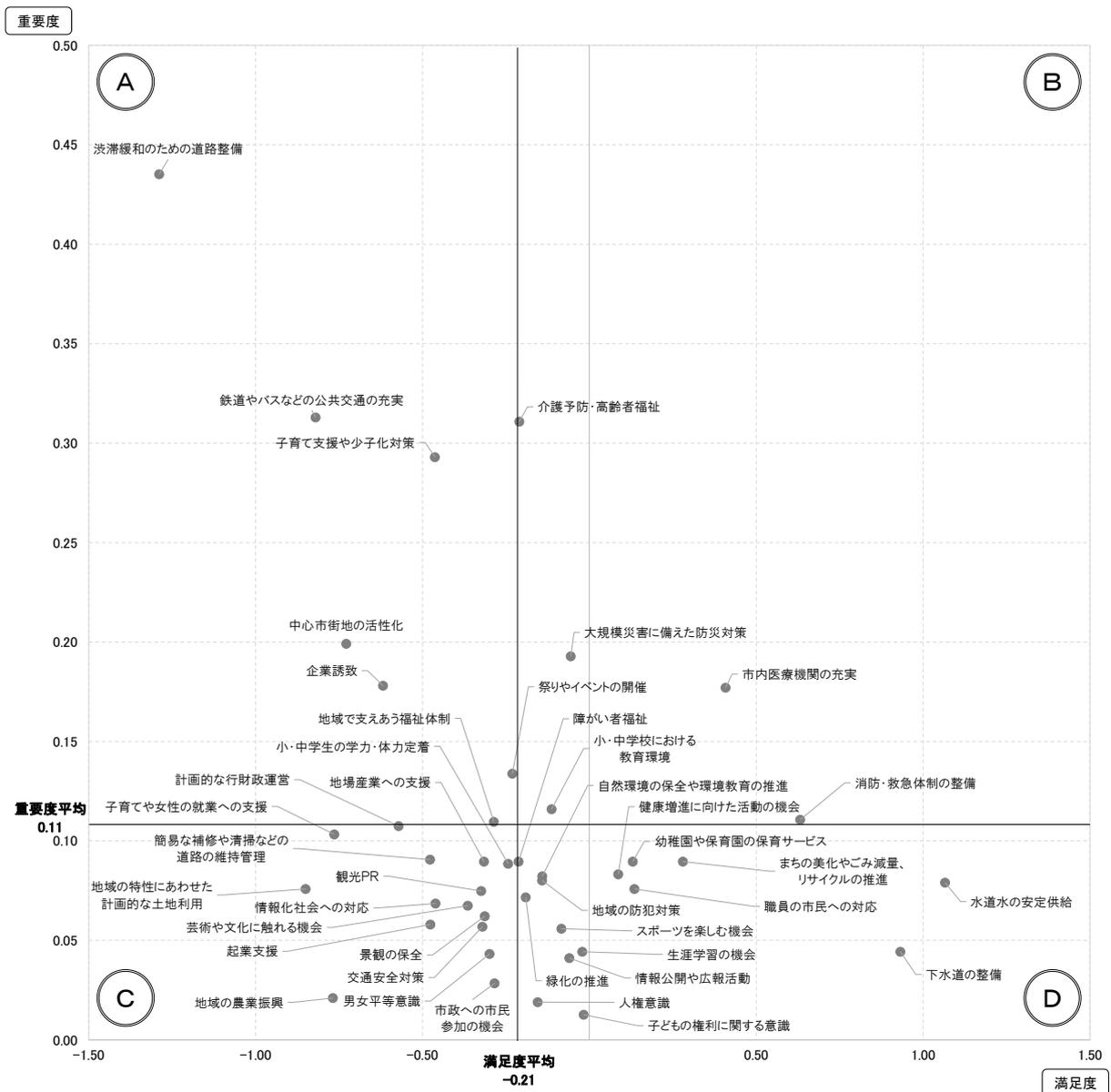
(%)	全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
1 渋滞緩和のための道路整備	43.5	31.6	48.5	55.6	35.2	47.0	51.1	50.0	54.7	54.2	41.9	47.5	45.1	35.5
2 鉄道やバスなどの公共交通の充実	31.3	27.6	22.0	47.2	24.2	25.0	27.7	50.0	34.4	20.8	45.3	42.4	29.4	54.8
3 介護予防・高齢者福祉	31.1	42.5	25.8	33.3	33.0	26.0	19.1	26.5	34.4	20.8	41.9	37.3	17.6	16.1
4 子育て支援や少子化対策	29.3	25.9	31.1	16.7	33.0	33.0	21.3	11.8	28.1	33.3	33.7	37.3	37.3	25.8
5 中心市街地の活性化	19.9	26.4	18.9	22.2	26.4	18.0	21.3	17.6	17.2	8.3	15.1	22.0	17.6	12.9
6 大規模災害に備えた防災対策	19.3	23.0	15.9	5.6	28.6	17.0	23.4	14.7	17.2	12.5	16.3	28.8	19.6	16.1
7 企業誘致	17.8	12.6	21.2	16.7	25.3	28.0	12.8	17.6	15.6	4.2	18.6	10.2	17.6	22.6
8 市内医療機関の充実	17.7	16.1	18.2	30.6	15.4	15.0	21.3	23.5	10.9	16.7	22.1	15.3	23.5	12.9
9 祭りやイベントの開催	13.4	10.9	16.7	16.7	12.1	15.0	10.6	20.6	18.8	8.3	8.1	8.5	13.7	16.1
10 小・中学校における教育環境	11.6	6.9	13.6	2.8	12.1	14.0	10.6	14.7	12.5	20.8	11.6	5.1	15.7	22.6
11 消防・救急体制の整備	11.1	11.5	6.1	11.1	14.3	14.0	12.8	2.9	9.4	8.3	14.0	13.6	11.8	6.5
12 地域で支えあう福祉体制	11.0	20.1	4.5	2.8	8.8	6.0	4.3	17.6	15.6	16.7	8.1	15.3	11.8	6.5

市の施策項目ごとに、重要度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、今後力を入れてほしい施策として選択された選択肢に対して点数をつけて算出している。算出にあたっては、以下の式を用いている。算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。

《評価得点の算出式》

$$\text{重要度} = \frac{\text{選択肢を選んだ人数} \times 1 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

図 4-2-5 「市政への満足度(満足度)」と「今後力を入れてほしい施策(重要度)」による散布図



【市民意識調査 一般】

以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は以下のようになる。

A=満足度が低く、重要度が高い(最優先で改善すべき施策)		
○子育て支援や少子化対策	○祭りやイベントの開催	○鉄道やバスなどの公共交通の充実
○企業誘致	○渋滞緩和のための道路整備	○地域で支えあう福祉体制
○中心市街地の活性化		
B=満足度も重要度も高い(現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策)		
○小・中学校における教育環境	○介護予防・高齢者福祉	○大規模災害に備えた防災対策
○市内医療機関の充実	○消防・救急体制の整備	
C=満足度も重要度も低い(重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策)		
○小・中学生の学力・体力定着	○芸術や文化に触れる機会	○交通安全対策
○地場産業への支援	○景観の保全	○男女平等意識
○起業支援	○地域の特性にあわせた計画的な土地利用	○計画的な行財政運営
○観光PR	○簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	○情報化社会への対応
○地域の農業振興		○市政への市民参加の機会
○子育てや女性の就業への支援		
D=満足度が高く、重要度が低い(重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策)		
○幼稚園や保育園の保育サービス	○下水道の整備	○地域の防犯対策
○健康増進に向けた活動の機会	○まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	○生涯学習の機会
○スポーツを楽しむ機会	○自然環境の保全や環境教育の推進	○子どもの権利に関する意識
○障がい者福祉	○緑化の推進	○人権意識
○水道水の安定供給		○職員の市民への対応
		○情報公開や広報活動

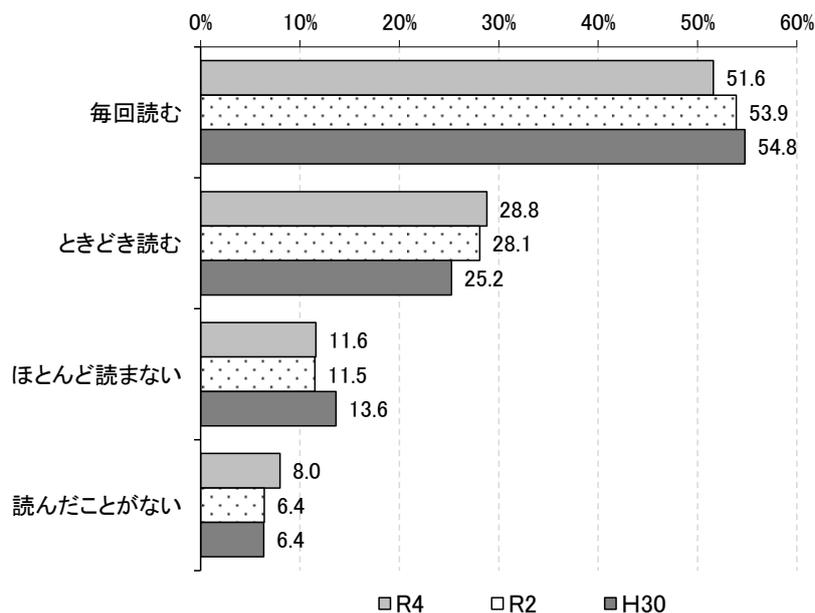
5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

「毎回読む」が51.6%と最も高く、次いで「ときどき読む」が28.8%、「ほとんど読まない」が11.6%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は80.4%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は19.6%となっている。

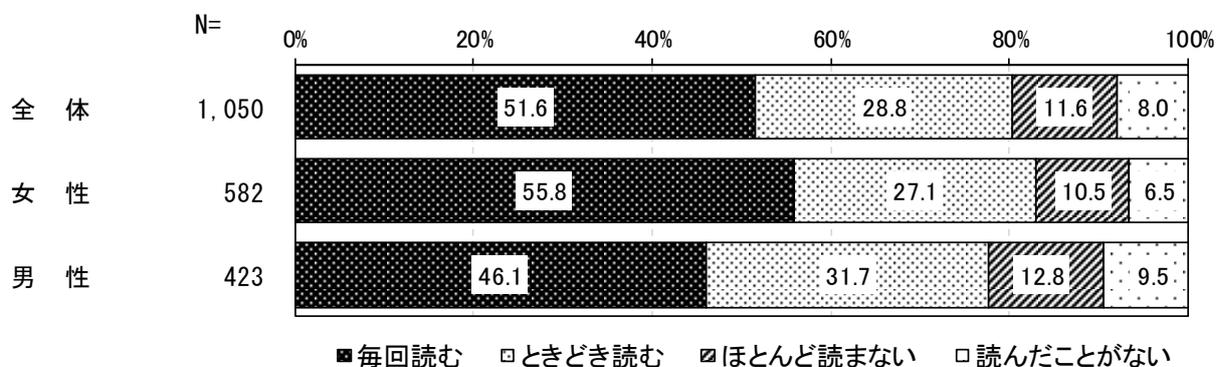
過去の調査と比較すると、平成30年調査から「毎回読む」が徐々に減少している。

図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



“読む”は「女性」で82.9%、「男性」で77.8%となっている。特に「毎回読む」は「女性」が55.8%であるのに対して、「男性」は46.1%と「女性」よりも9.7ポイント低くなっている。一方で“読まない”は「女性」で17.0%、「男性」で22.3%となっている。

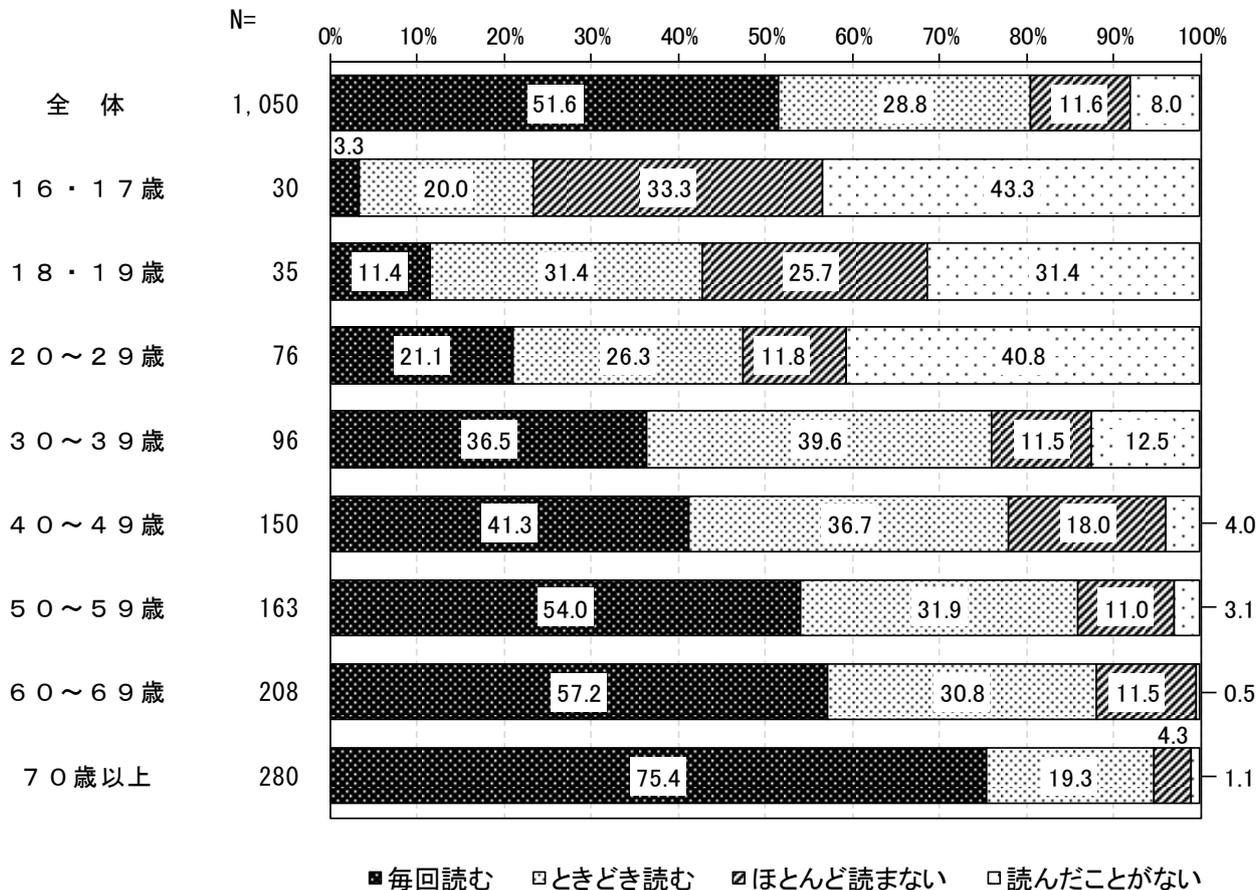
図 5-1-2 性別「広報たじみの閲読頻度」



【市民意識調査 一般】

年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合は増加し、「70歳以上」では75.4%となっている。また、“読む”は「30～39歳」以上で、いずれの年代でも7割以上となり、特に「70歳以上」は94.7%となっている。一方で“読まない”は「16・17歳」では76.6%と他の年代に比べて高くなっている。

図 5-1-3 年代別「広報たじみの阅读頻度」

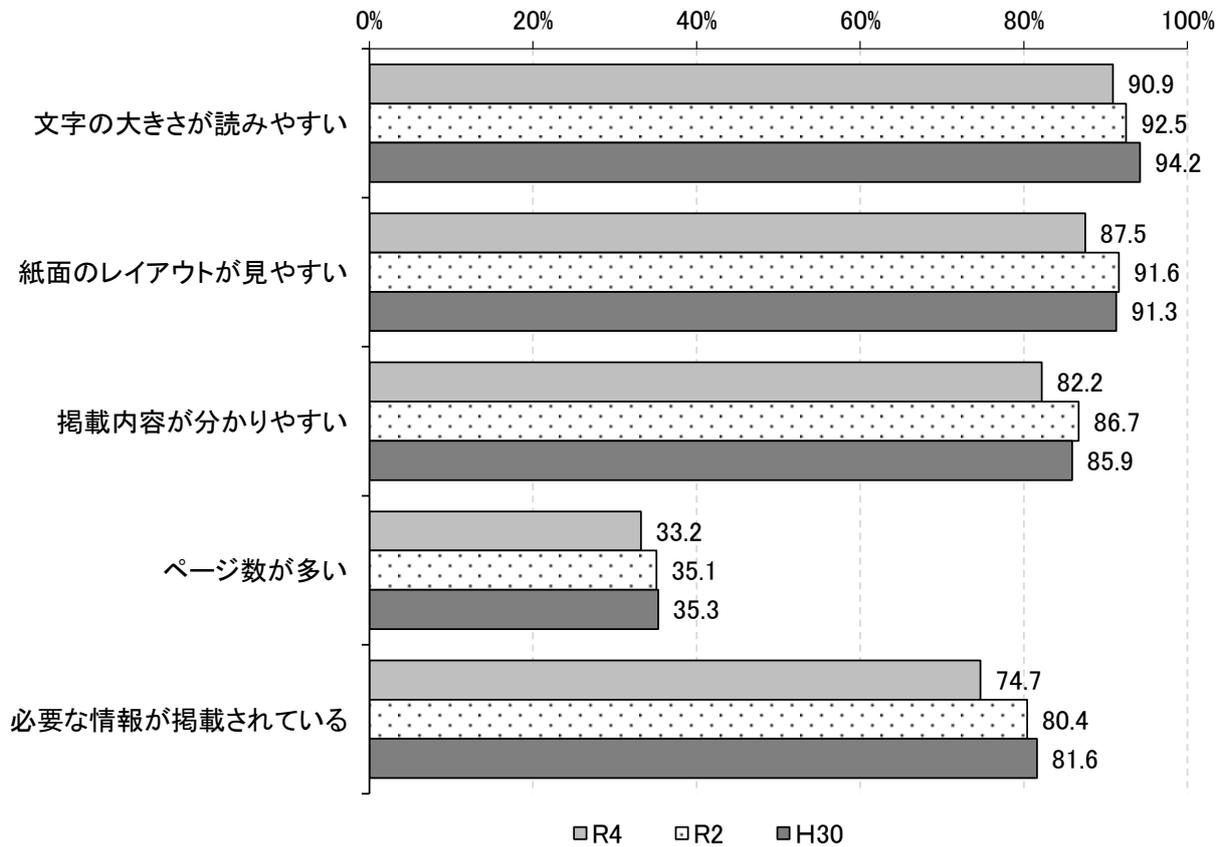


5-2 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容

「ページ数が多い」を除いていずれの項目も7割を超えており、特に「文字の大きさが読みやすい」は9割以上となっている。一方で「ページ数が多い」は33.2%と他の項目の半分以下の割合となっている。

過去調査と比較すると、全ての項目において令和2年調査から回答率がやや減少している。

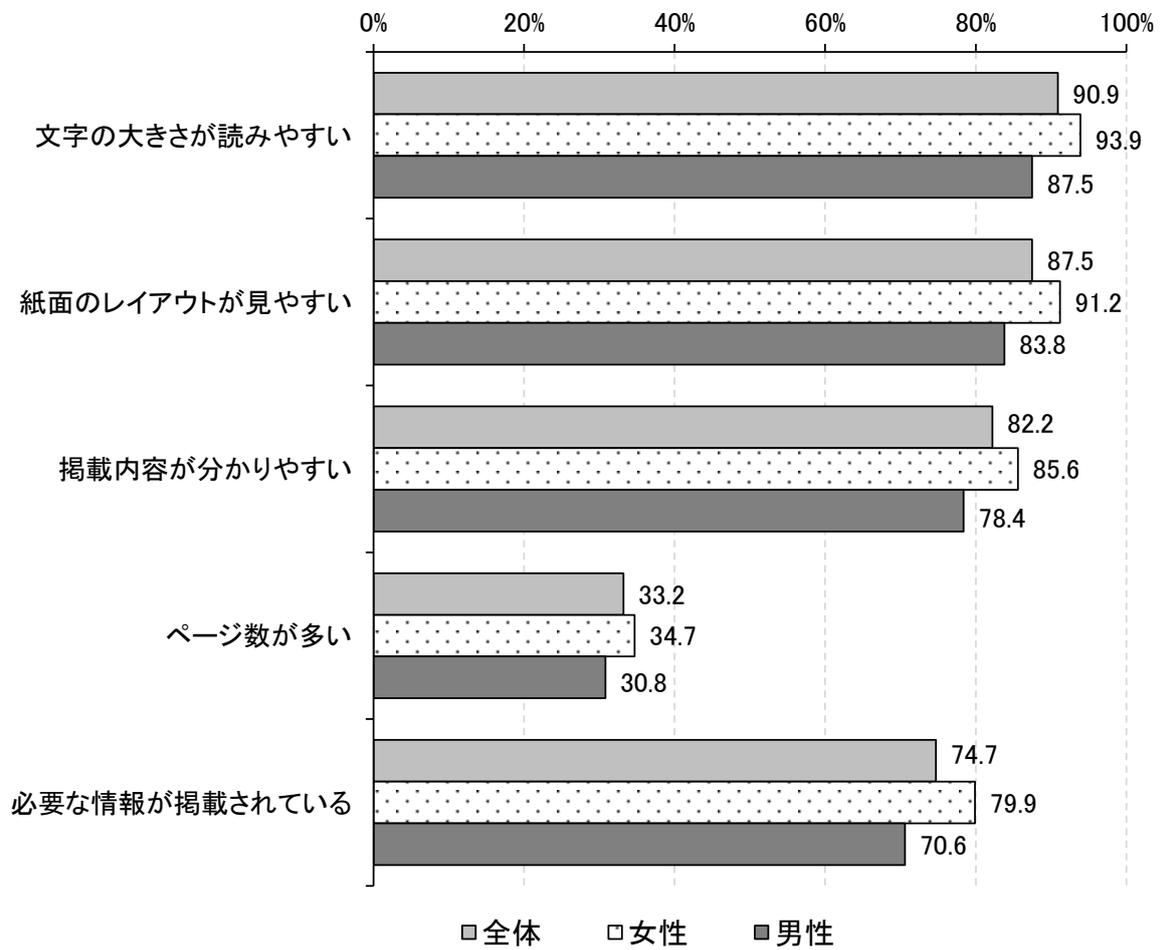
図 5-2-1「広報たじみの内容に対する意見」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

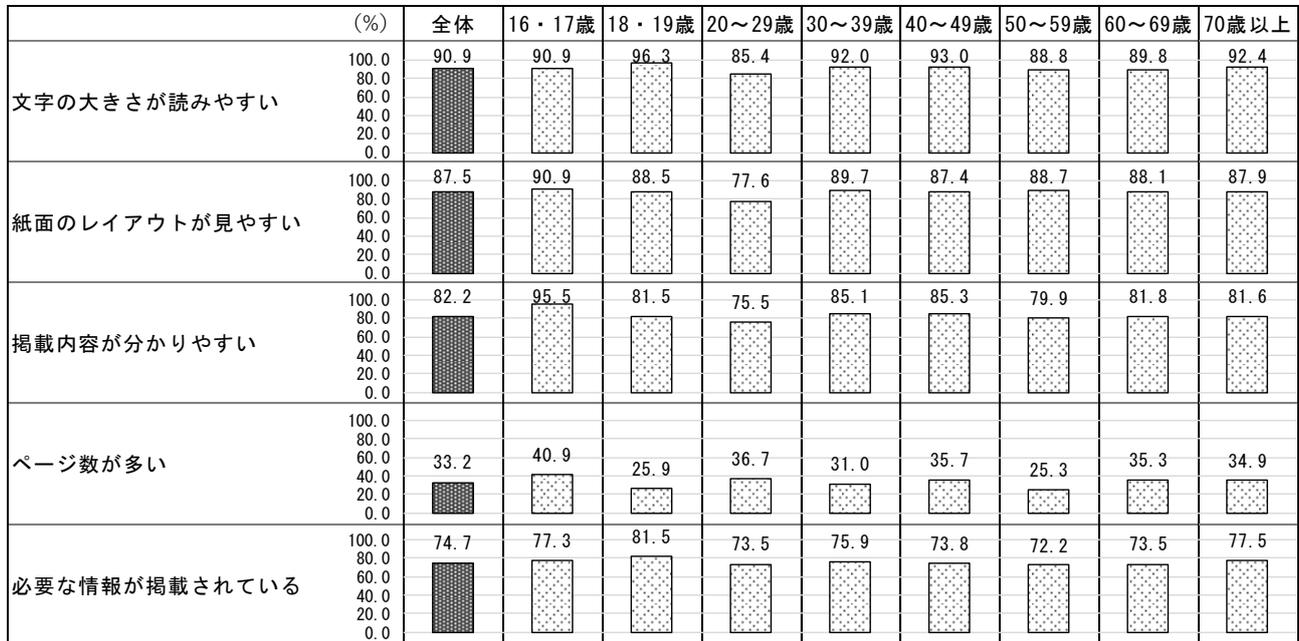
性別にみると、全ての項目においても、「男性」よりも「女性」の割合が高くなっており、「必要な情報が掲載されている」では9.3ポイントの差がみられる。

図 5-2-2 性別「広報たじみの内容に対する意見」



年代別にみると、「16・17歳」を除く全ての年代で「文字の大きさが読みやすい」が最も高くなっており、いずれも8割を超えている。一方、「ページ数が多い」が全ての年代で最も低くなっており、特に「18・19歳」と「50～59歳」は3割を下回っている。

図 5-2-3 年代別「広報たじみの内容に対する意見」



【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「池田」「滝呂」「南姫」「北栄」「脇之島」「笠原」では「文字の大きさが読みやすい」が、「養正」「根本」では「紙面のレイアウトが見やすい」がそれぞれ最も高く、いずれも8割を超えている。「市之倉」では「文字の大きさが読みやすい」と「紙面のレイアウトが見やすい」が同率で最も高くなっている。一方、「ページ数が多い」は全ての地域でそれぞれ最も低く、特に「昭和」「市之倉」「滝呂」では3割を下回っている。

図 5-2-4 小学校区別「広報たじみの内容に対する意見」

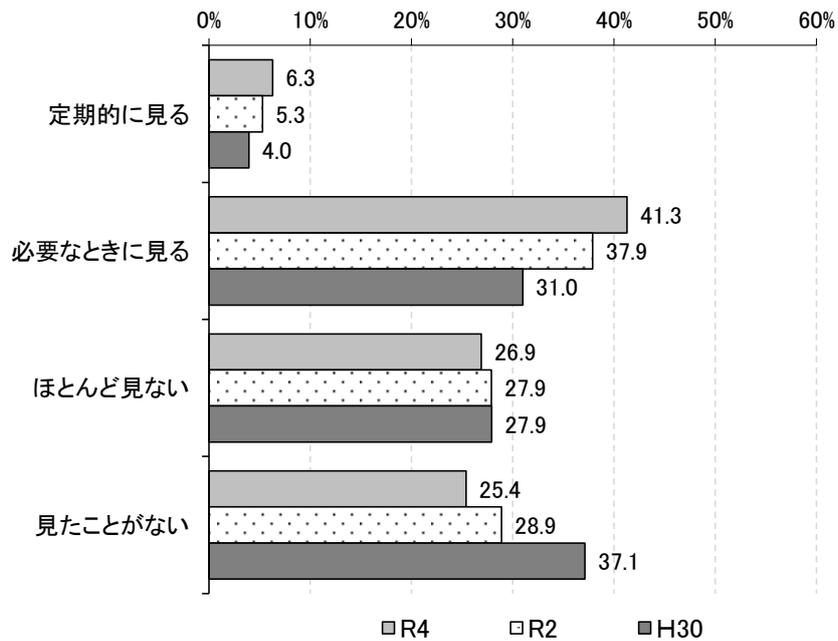
	(%)	全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
文字の大きさが読みやすい	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	90.9	88.6	94.6	89.5	89.6	93.8	94.5	89.2	83.6	100.0	84.4	96.7	92.5	96.8
紙面のレイアウトが見やすい	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	87.5	89.9	90.6	88.9	80.9	87.6	90.6	89.2	83.3	84.0	85.6	93.1	88.5	87.1
掲載内容が分かりやすい	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	82.2	83.5	82.8	84.2	78.3	84.4	87.0	80.6	83.3	70.8	79.3	84.5	82.7	83.9
ページ数が多い	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	33.2	32.0	34.6	32.4	28.7	35.1	32.1	21.6	23.3	32.0	38.6	33.3	37.3	45.2
必要な情報が掲載されている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	74.7	77.5	76.4	63.2	73.4	77.3	75.9	73.0	73.3	72.0	67.8	83.9	76.5	83.9

5-3 市のホームページ

「必要なときに見る」が41.3%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」が26.9%、「見たことがない」が25.4%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は47.6%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は52.3%となっている。

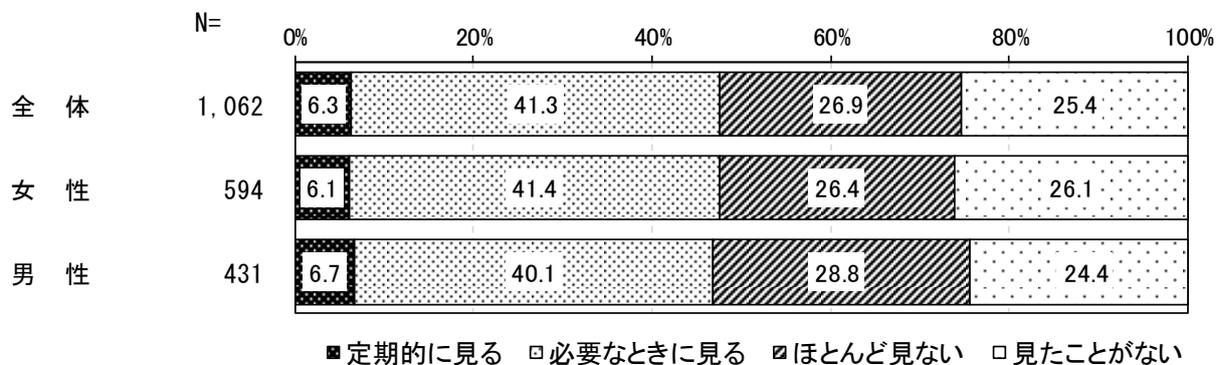
令和2年調査と比較すると、「必要なときに見る」が令和2年調査より3.4ポイント増加し、反対に「見たことがない」が3.5ポイント減少している。

図 5-3-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)



“見る”は「女性」で47.5%、「男性」で46.8%となっている。一方で“見ない”は「女性」で52.5%、「男性」で53.2%となっている。

図 5-3-2 性別「ホームページ閲覧頻度」

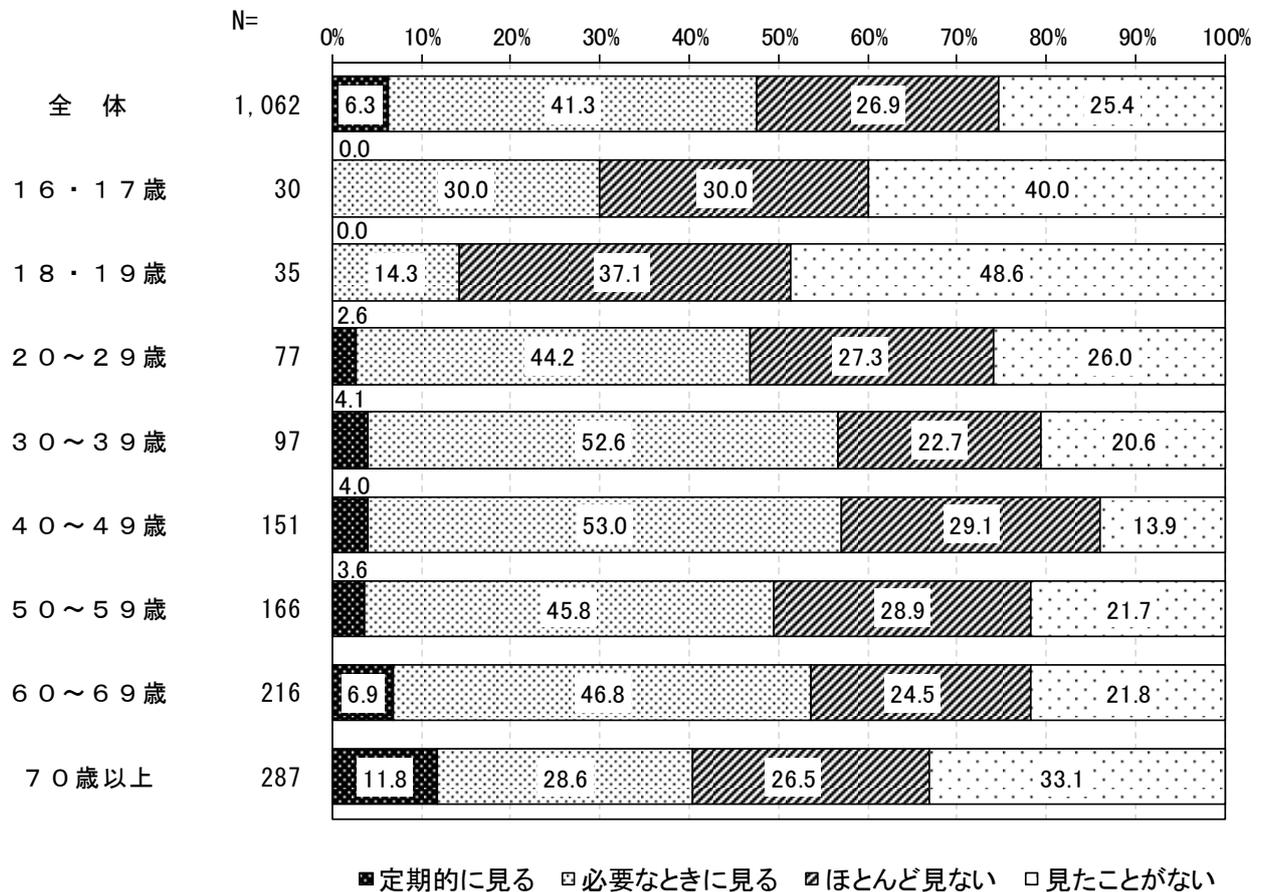


【市民意識調査 一般】

「定期的に見る」が、「16・17歳」、「18・19歳」では0.0%となっている一方で、「70歳以上」では11.8%と1割を超えている。“見る”は「40～49歳」で最も高く、57.0%となっている。

「見たことがない」は「18・19歳」で48.6%と最も高く、次いで「16・17歳」が40.0%となっている。また、“見ない”は「18・19歳」で最も高く、85.7%となっている。

図 5-3-3 年代別「ホームページ閲覧頻度」

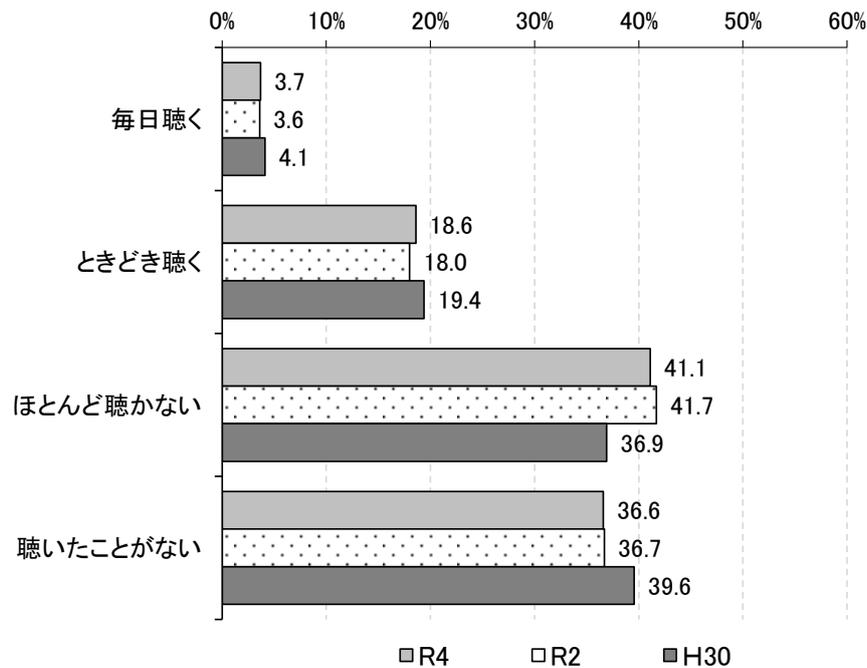


5-4 FMたじみ(エフエムピピ)

「ほとんど聴かない」が41.1%と最も高く、次いで「聴いたことがない」が36.6%、「ときどき聴く」が18.6%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は22.3%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は77.7%となっている。

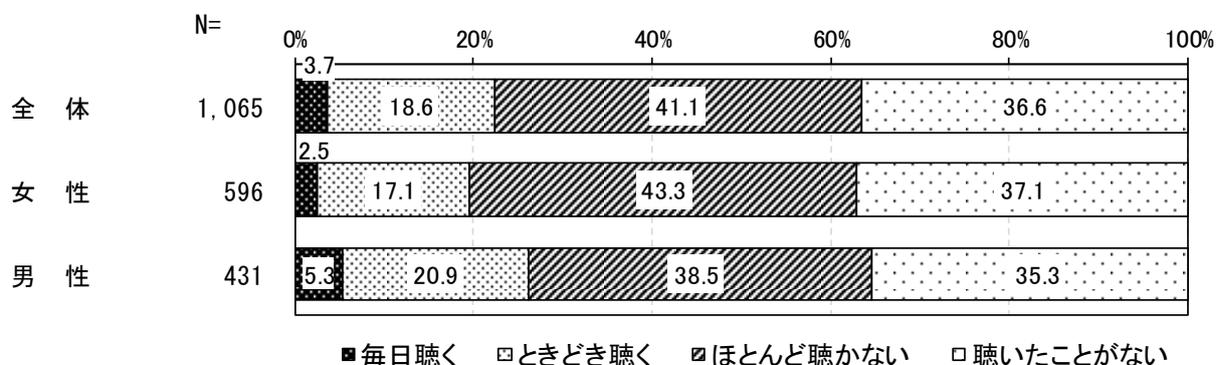
令和2年調査と比較すると、回答率にほとんど変化はみられない。

図 5-4-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)



“聴く”は「女性」が19.6%、「男性」が26.2%となっており、「男性」の方が6.6ポイント高くなっている。また、“聴かない”は「女性」が80.4%、「男性」が73.8%となっている。

図 5-4-2 性別「FMたじみの聴取頻度」

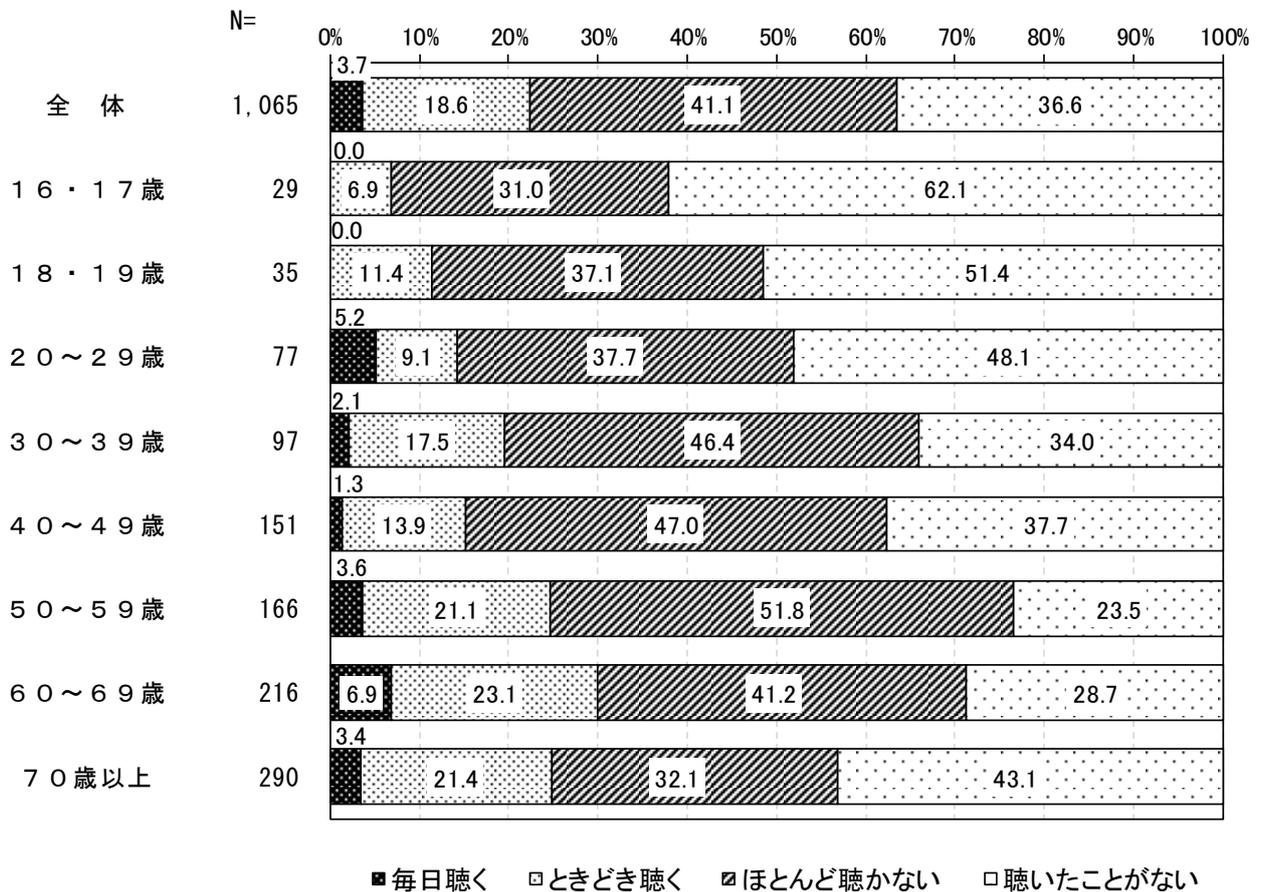


【市民意識調査 一般】

「毎日聴く」は「16・17 歳」、「18・19 歳」では 0.0%であり、他の年代でも1割に満たない。“聴く”は「60～69 歳」で最も高く、30.0%となっている。

「聴いたことがない」は「16・17 歳」で 62.1%と最も高く、次いで「18・19 歳」で 51.4%となっている。また、“聴かない”は「16・17 歳」で最も高く、93.1%となっている。

図 5-4-3 年代別「FMたじみの聴取頻度」

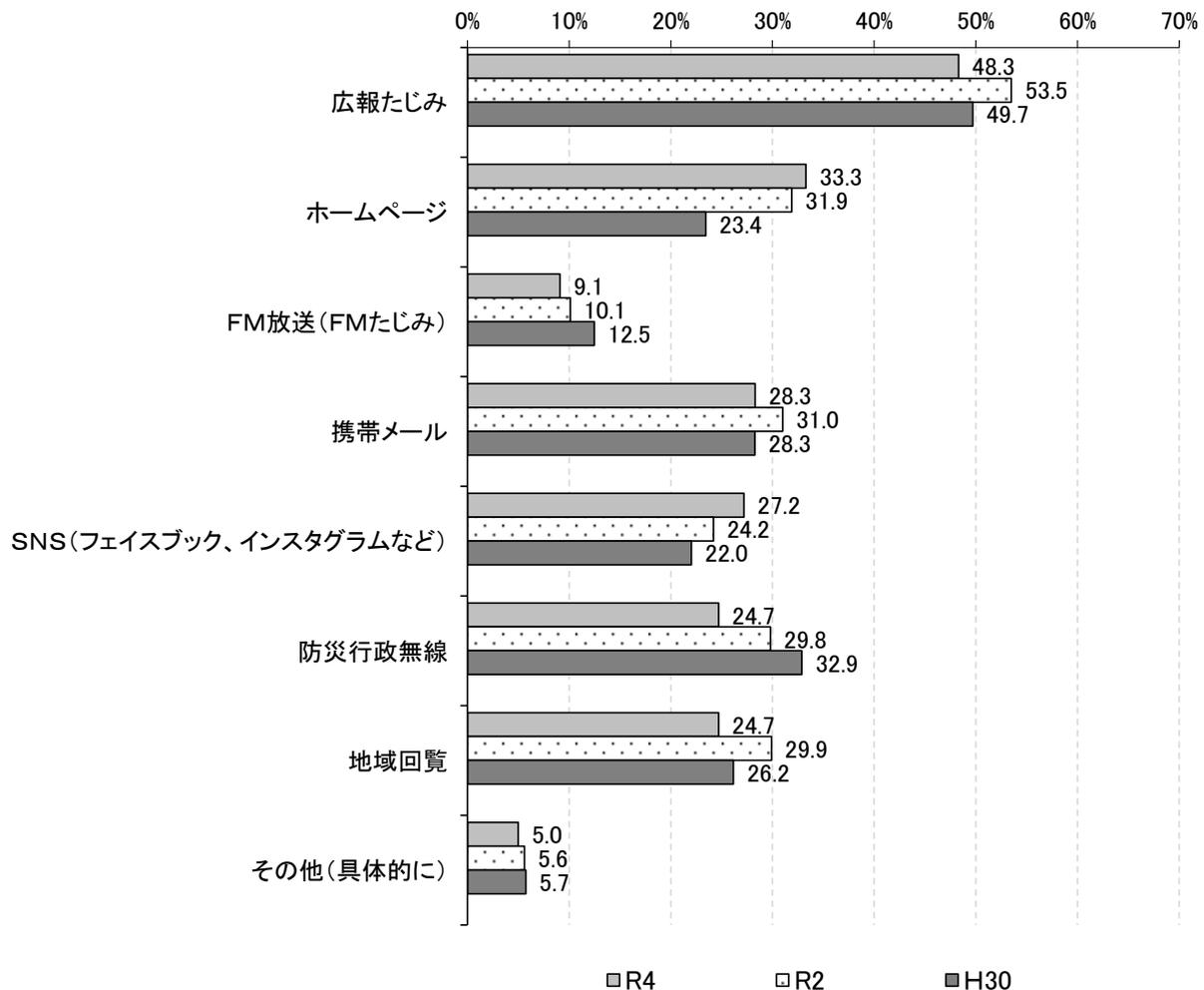


5-5 市の広報手段

「広報たじみ」が48.3%と最も高く、次いで「ホームページ」が33.3%、「携帯メール」が28.3%となっている。

過去の調査と比較すると、「ホームページ」や「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」は平成30年調査から徐々に増加している一方で、「FM放送(FMたじみ)」や「防災行政無線」は徐々に減少している。

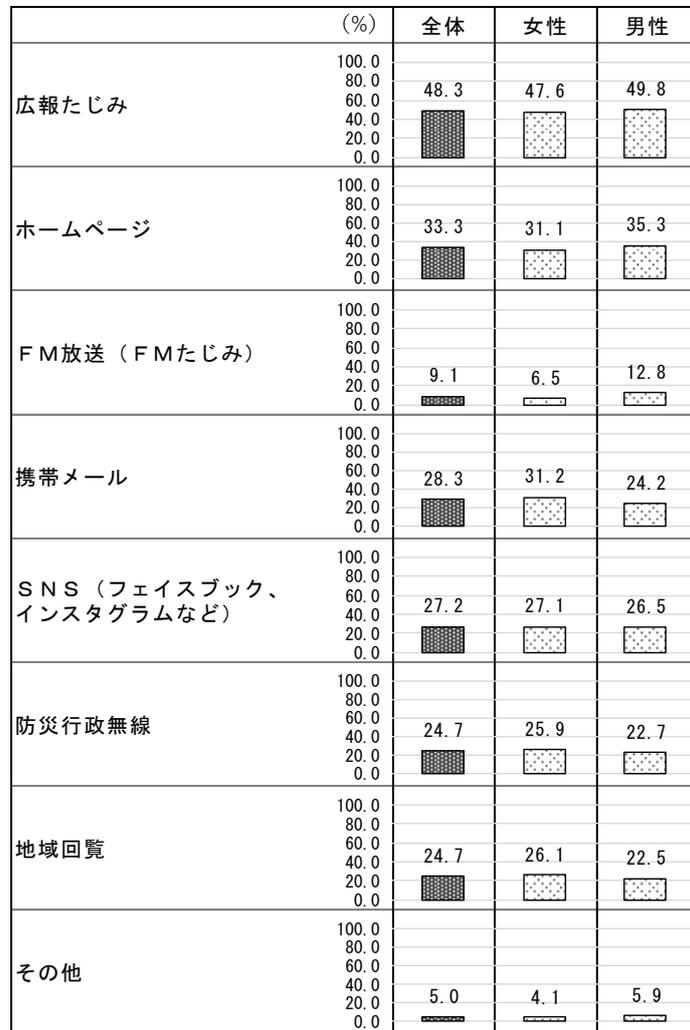
図 5-5-1 「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

「広報たじみ」が男性・女性ともに最も高くなっており、「女性」で47.6%、「男性」で49.8%となっている。また、「携帯メール」では「女性」が31.2%、「男性」が24.2%となっており、「女性」が「男性」を7.0ポイント上回っている。

図 5-5-2 性別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



「16・17歳」「18・19歳」「20～29歳」「30～39歳」では「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が最も高く、特に「20～29歳」以下では6割を超えている。一方で「40～49歳」は「ホームページ」、「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」は「広報たじみ」がそれぞれ最も高くなっている。

図 5-5-3 年代別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」

	(%)	全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
広報たじみ	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	48.3	26.7	37.1	25.0	40.0	37.6	39.9	53.1	68.2
ホームページ	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	33.3	30.0	31.4	36.8	42.1	49.0	38.0	37.9	15.5
F M放送 (FMたじみ)	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	9.1	3.3	11.4	3.9	12.6	8.1	11.7	10.0	8.1
携帯メール	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	28.3	23.3	34.3	18.4	24.2	34.2	37.4	33.2	20.5
SNS (フェイスブック、 インスタグラムなど)	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	27.2	73.3	60.0	60.5	49.5	41.6	28.8	12.8	4.2
防災行政無線	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	24.7	20.0	5.7	10.5	16.8	16.8	28.8	29.4	32.5
地域回覧	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	24.7	10.0	11.4	14.5	23.2	10.7	20.9	23.2	41.0
その他	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	5.0	3.3	5.7	2.6	3.2	4.0	4.9	2.8	8.1

第Ⅱ部

市民意識調査 高校生

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民意識調査に加え、若者の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握するため市内高校生を対象として行うものであり、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査対象 市内高等学校(多治見高等学校、多治見北高等学校、多治見工業高等学校、多治見西高等学校)2年生の男女
- 調査方法 インターネット回収
- 調査時期 令和4年8月～9月

3. 回収結果

	依頼数	回収票数	回収率
市内高等学校4校	854	717	83.96%

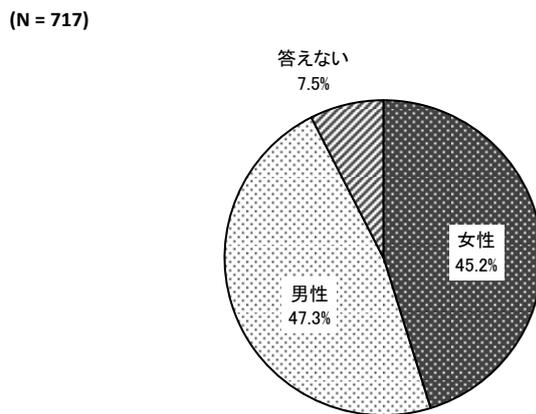
第2章 調査結果

1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が45.2%、「男性」が47.3%、「答えない」が7.5%であった。

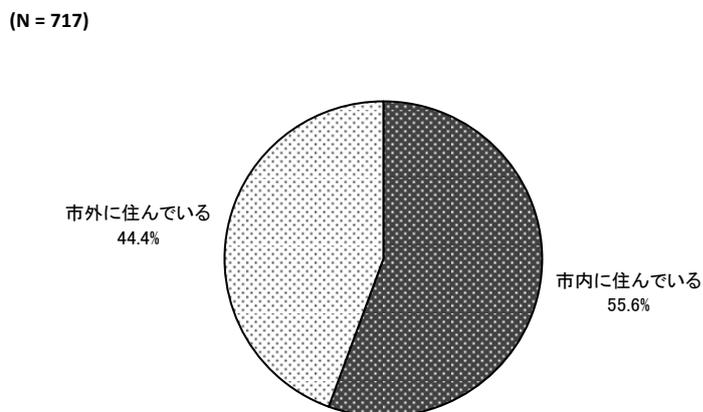
図 1-1-1 「性別」



1-2 居住地

「市内に住んでいる」が55.6%、「市外に住んでいる」が44.4%であった。

図 1-2-1 「居住地」

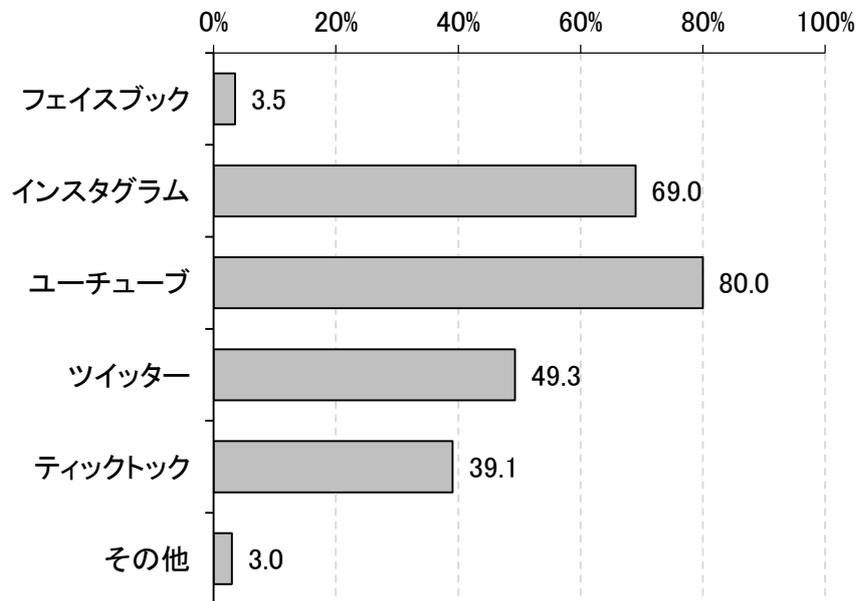


【市民意識調査 高校生】

1-3 使うことが多い SNS

「ユーチューブ」が 80.0%と最も高く、次いで「インスタグラム」が 69.0%、「ツイッター」が 49.3%となっている。

図 1-3-1 「使うことが多い SNS」



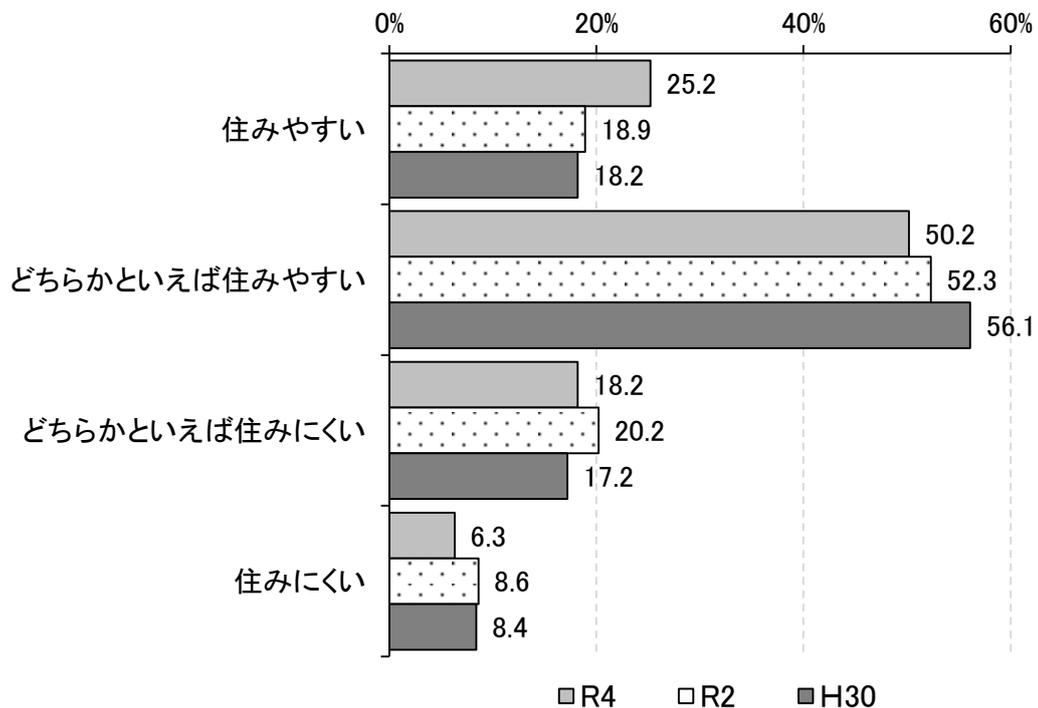
2. 住みやすさと居留意向

2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が50.2%と最も高く、次いで「住みやすい」が25.2%、「どちらかといえば住みにくい」が18.2%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は75.4%となっている。

一方、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくと感じている人”は24.5%となっている。

図 2-1-1 「住みやすさ」

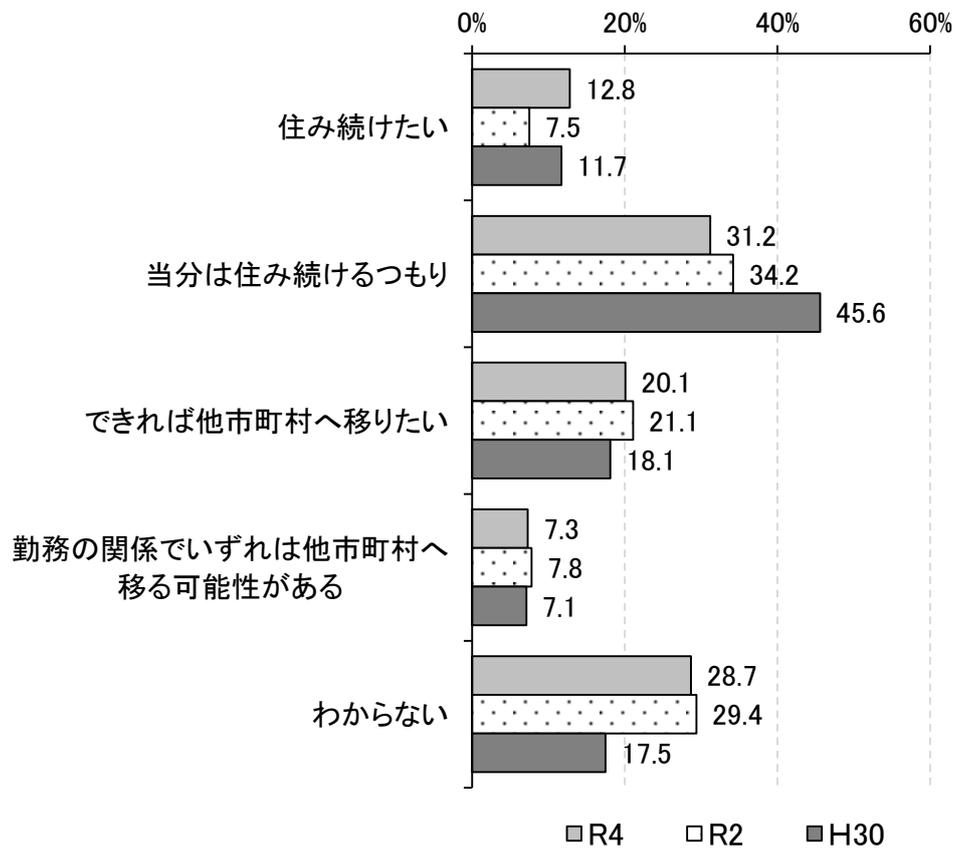


【市民意識調査 高校生】

2-2 今後の居留意向

「当分は住み続けるつもり」が31.2%と最も高く、次いで「わからない」が28.7%、「できれば他市町村へ移りたい」が20.1%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと感じている人”は44.0%となっており、令和2年調査から増加している。

図 2-2-1 「今後の居留意向」

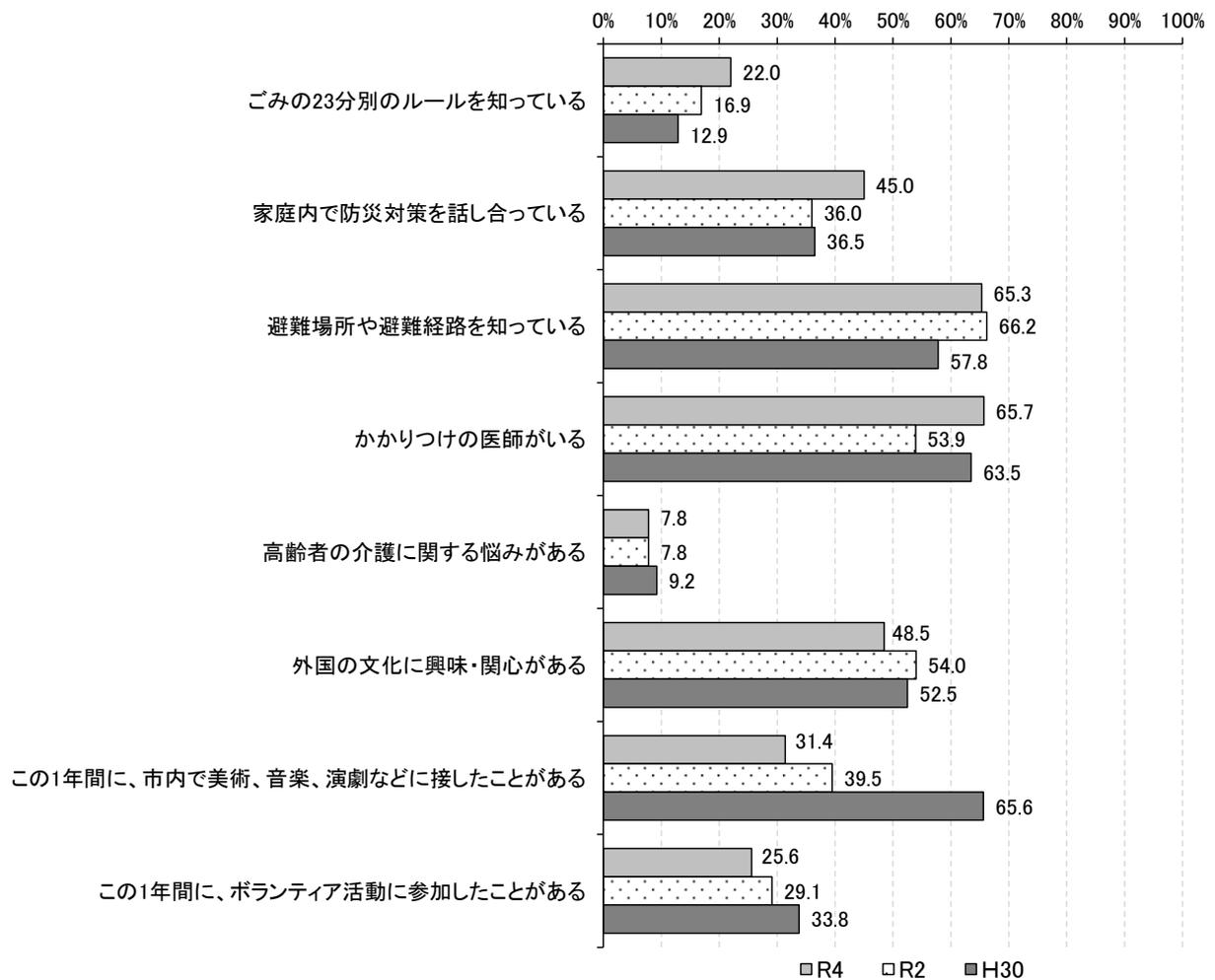


3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「かかりつけの医師がいる」が65.7%で最も高くなっており、次いで「避難場所や避難経路を知っている」が65.3%、「外国の文化に興味・関心がある」が48.5%となっている。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」



4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市政への満足度は「渋滞解消のための道路整備」を除く全ての項目においてプラスとなっている。令和2年調査と比較すると、上昇幅が最も大きいのは「計画的な行財政運営」(+0.40ポイント)だった。一方、低下幅が最も大きいのは「企業誘致」(-0.23ポイント)だった。

図 4-1-1 「市政への満足度」

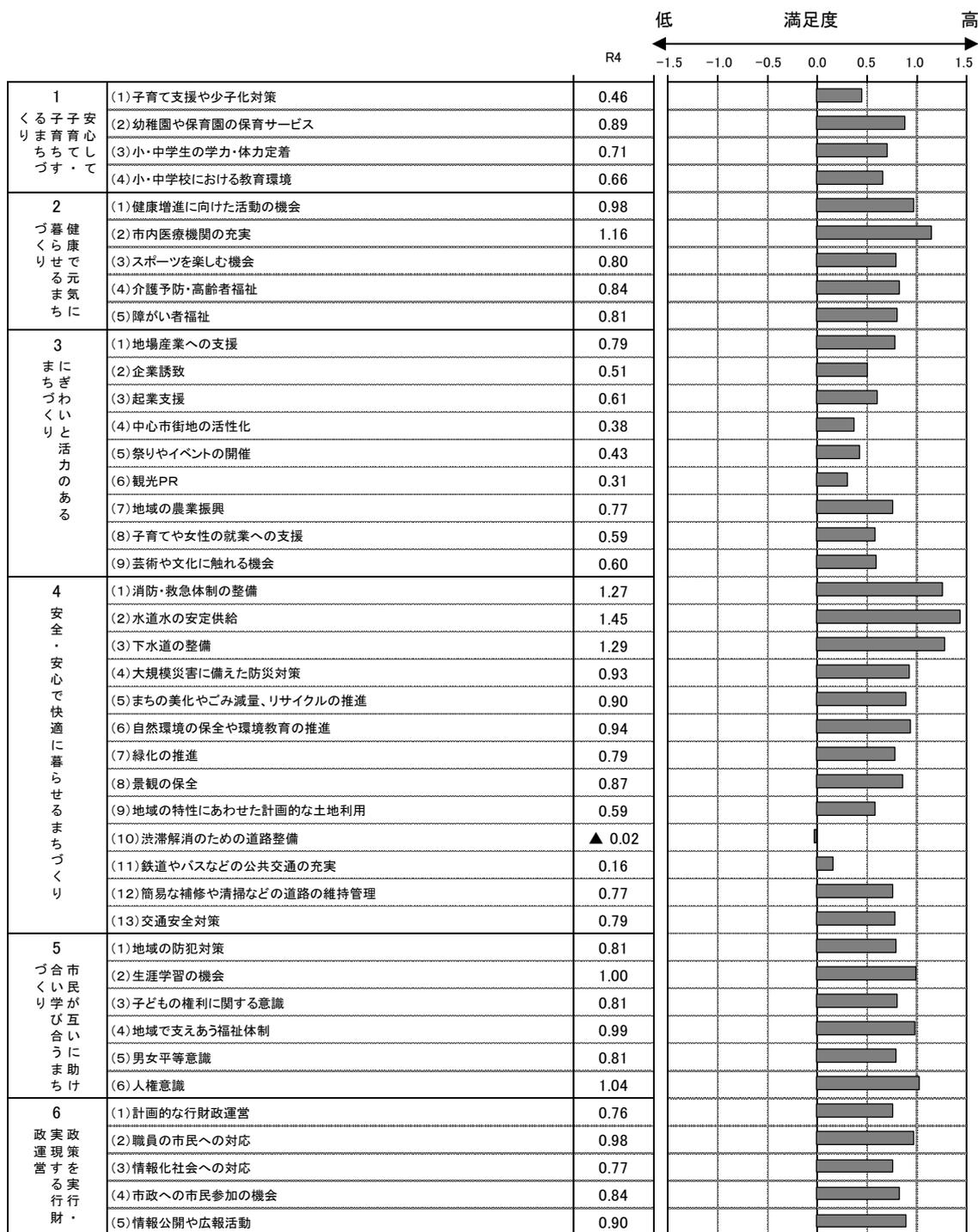
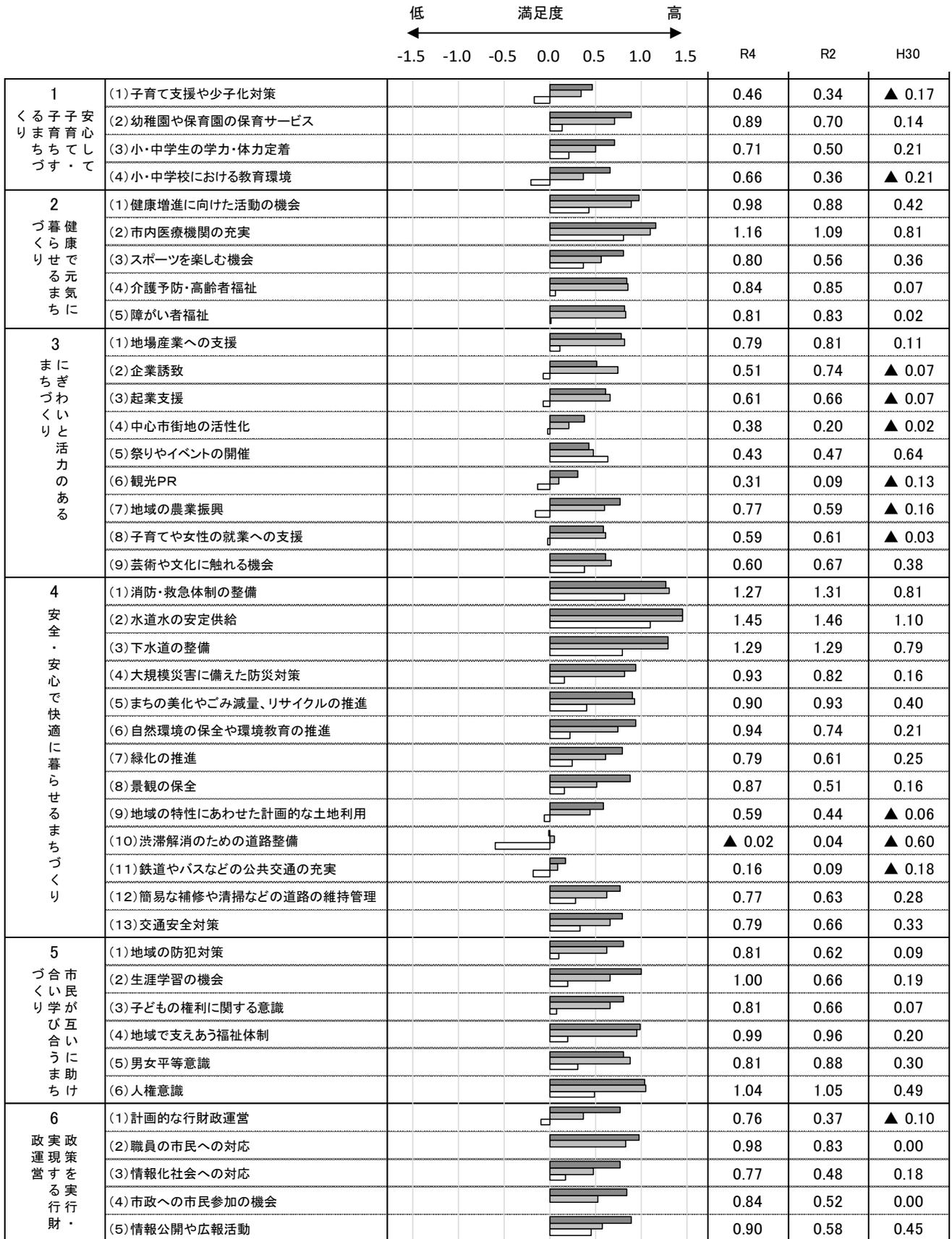


図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較)

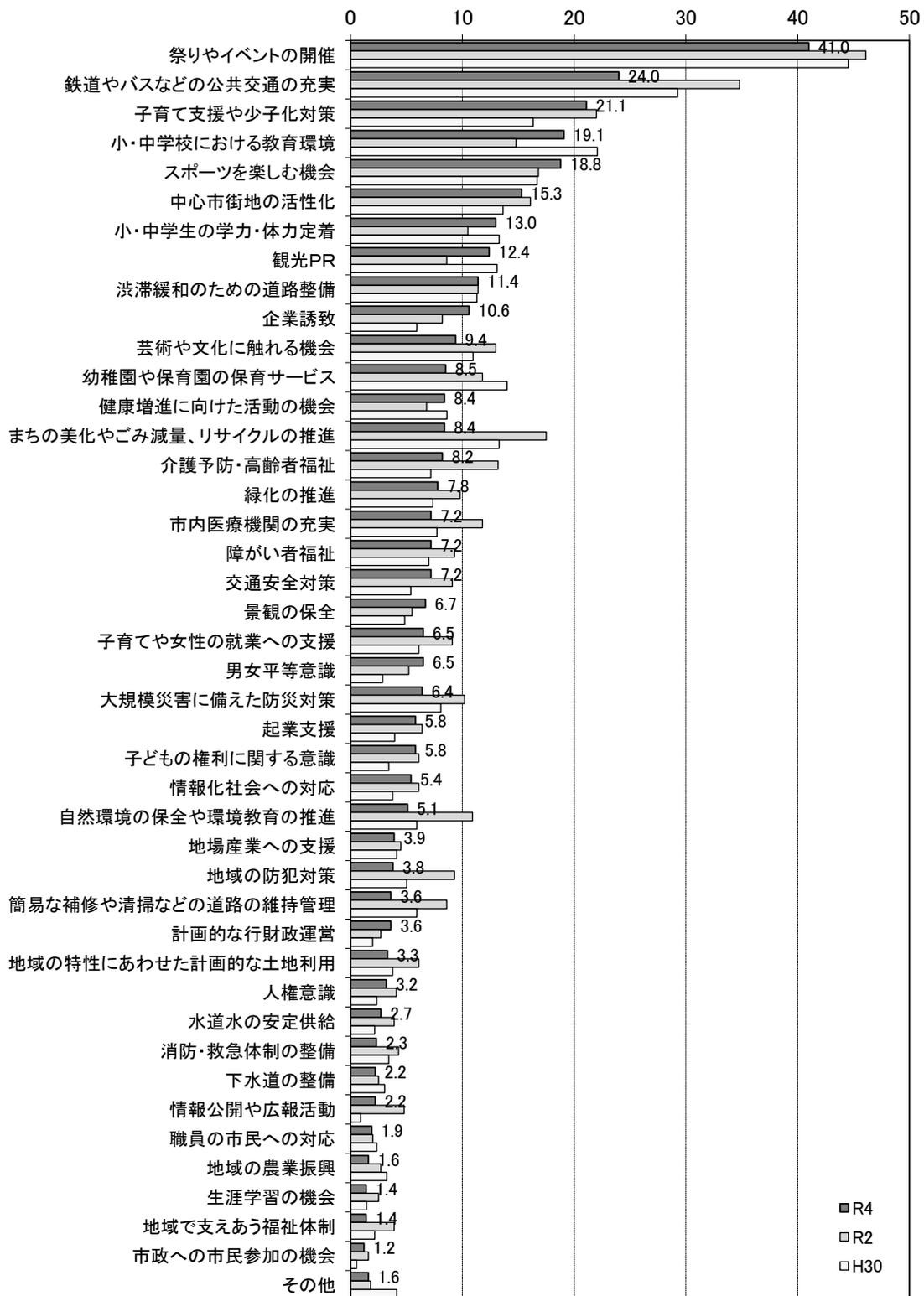


■ R4 ■ R2 □ H30

4-2 市の重点施策

「祭りやイベントの開催」が41.0%と最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が24.0%、「子育て支援や少子化対策」が21.1%となっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



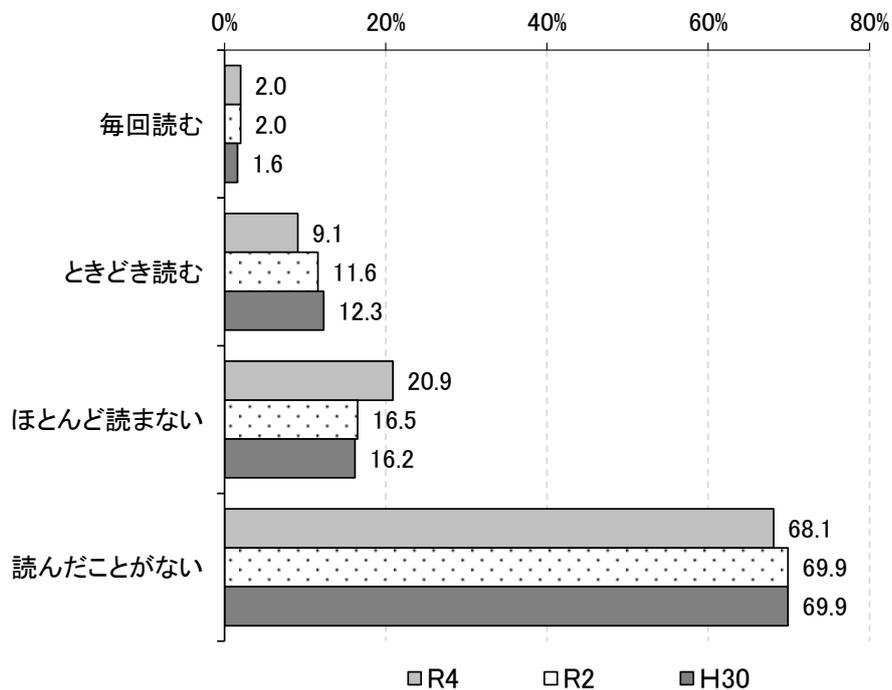
5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

「読んだことがない」が68.1%と最も高く、次いで「ほとんど読まない」が20.9%、「ときどき読む」が9.1%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は11.1%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は89.0%となっている。

過去の調査と比較すると、平成30年調査から“読む”はやや減少傾向に、“読まない”はやや増加傾向にある。

図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



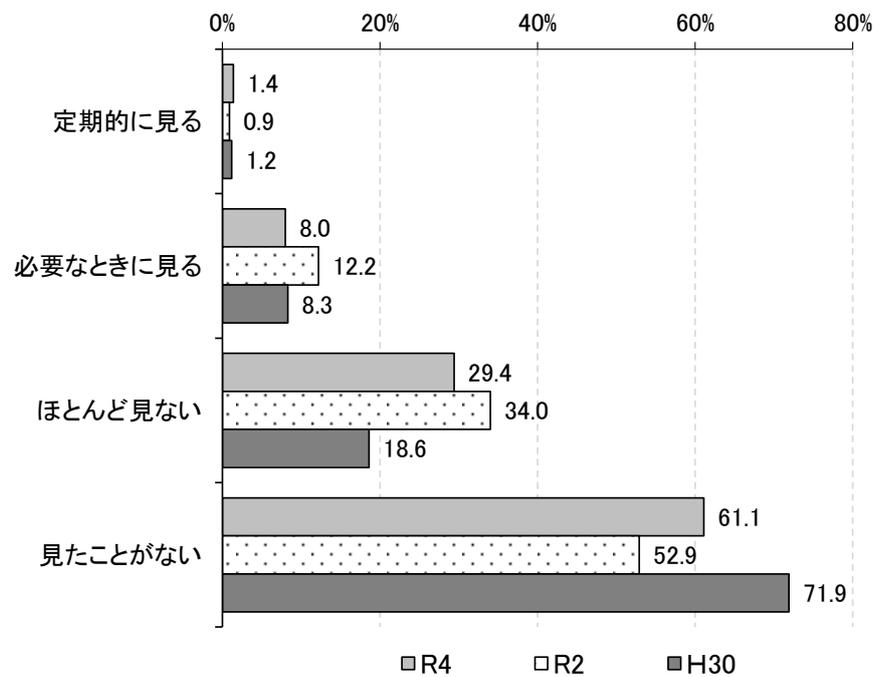
【市民意識調査 高校生】

5-2 市のホームページ

「見たことがない」が61.1%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」が29.4%、「必要なときに見る」が8.0%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は9.4%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は90.5%となっている。

令和2年調査と比較すると、“見る”は3.7ポイント減少、“見ない”は3.6ポイント増加となっている。

図 5-2-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)

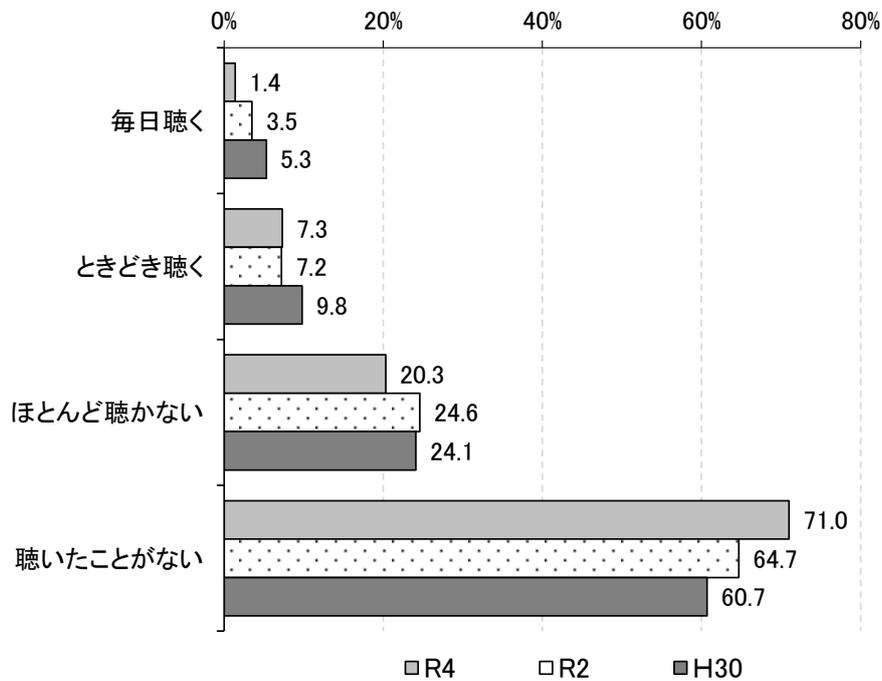


5-3 FMたじみ(エフエムピピ)

「聴いたことがない」が71.0%と最も高く、次いで「ほとんど聴かない」が20.3%、「ときどき聴く」が7.3%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は8.7%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は91.3%となっている。

過去の調査と比較すると、“聴く”は減少、“聴かない”は増加傾向にある。

図 5-3-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)



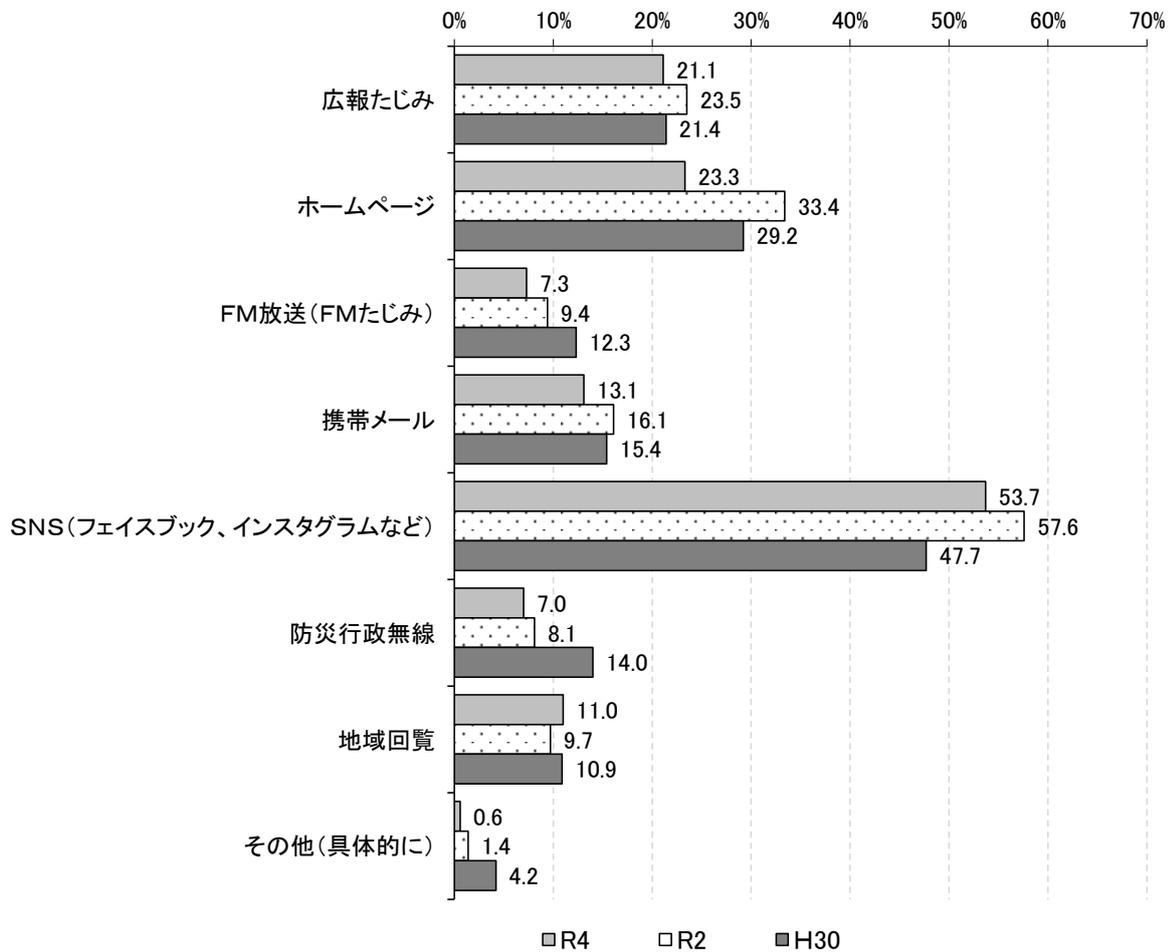
【市民意識調査 高校生】

5-4 市の広報手段

「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が53.7%と最も高く、次いで「ホームページ」が23.3%、「広報たじみ」が21.1%となっている。

過去の調査と比較すると、「ホームページ」が令和2年調査より10.1ポイントと大きく減少している。

図 5-4-1「市の広報手段」(過年度比較)



参考資料

依頼文書および調査票

【参考資料】

多治見市「市民意識調査」 ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市では、隔年で実施している「市民意識調査（アンケート）」を、令和4年度に実施します。

このアンケートは、市民の皆さまから市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年8月24日
多治見市長 古川 雅典

【ご回答にあたってのお願い】

1. 質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答え下さい。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご回答ください。その場合は回答された方の立場でお答えください。
2. 住所や氏名をご回答いただく必要はありません。
3. インターネットまたは郵送のいずれかの方法でご回答ください。
4. お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的にご回答ください。
5. 令和4年9月30日（金）までにご回答ください。

①インターネットで回答

パソコン、スマートフォンやタブレットから回答いただけます。インターネットで回答いただいた方は、同封の調査票を返送いただく必要はありません。

URL : <https://logoform.jp/form/zEAL/96056>



②郵送で回答

同封の調査票にご記入いただきましたら、返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】

多治見市役所 秘書広報課

担当：水野、磯村、加藤

TEL : 0572-22-1372 FAX : 0572-24-3679

E mail : hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

市民意識調査 調査票（一般調査用）

【問1】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

【問2】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住み続けるつもり |
| 3 できれば他市町村へ移りたい | 4 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 5 わからない | |

【問3】 次の項目について、はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① ごみの23分別のルールは知っていますか	1	2
② 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
③ 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
④ かかりつけの医師はいますか	1	2
⑤ 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
⑥ 子育てに関する悩みはありますか	1	2
⑦ 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
⑧ この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
⑨ この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
⑩ 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問4】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉〇〇〇〇の整備	1	2	③	4	5

（1）安心して子育て・子育てするまちづくり

① 子育て支援や少子化対策	1	2	3	4	5
② 幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
③ 小・中学生の学力・体力定着	1	2	3	4	5
④ 小・中学校における教育環境	1	2	3	4	5

（2）健康で元気に暮らせるまちづくり

① 健康増進に向けた活動の機会	1	2	3	4	5
② 市内医療機関の充実	1	2	3	4	5
③ スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
④ 介護予防・高齢者福祉	1	2	3	4	5
⑤ 障がい者福祉	1	2	3	4	5

【参考資料】

(3) にぎわいと活力のあるまちづくり

① 地場産業への支援	1	2	3	4	5
② 企業誘致	1	2	3	4	5
③ 起業支援	1	2	3	4	5
④ 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
⑤ 祭りやイベントの開催	1	2	3	4	5
⑥ 観光PR	1	2	3	4	5
⑦ 地域の農業振興	1	2	3	4	5
⑧ 子育てや女性の就業への支援	1	2	3	4	5
⑨ 芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5

(4) 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

① 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
② 水道水の安定供給	1	2	3	4	5
③ 下水道の整備	1	2	3	4	5
④ 大規模災害に備えた防災対策	1	2	3	4	5
⑤ まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	1	2	3	4	5
⑥ 自然環境の保全や環境教育の推進	1	2	3	4	5
⑦ 緑化の推進	1	2	3	4	5
⑧ 景観の保全	1	2	3	4	5
⑨ 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
⑩ 渋滞緩和のための道路整備	1	2	3	4	5
⑪ 鉄道やバスなどの公共交通の充実	1	2	3	4	5
⑫ 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
⑬ 交通安全対策	1	2	3	4	5

(5) 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

① 地域の防犯対策	1	2	3	4	5
② 生涯学習の機会	1	2	3	4	5
③ 子どもの権利に関する意識	1	2	3	4	5
④ 地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5
⑤ 男女平等意識	1	2	3	4	5
⑥ 人権意識	1	2	3	4	5

(6) 政策を実行・実現する行財政運営

① 計画的な行財政運営	1	2	3	4	5
② 職員の市民への対応	1	2	3	4	5
③ 情報化社会への対応	1	2	3	4	5
④ 市政への市民参加の機会	1	2	3	4	5
⑤ 情報公開や広報活動	1	2	3	4	5

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後、力をいれてほしいものについておたずねします。

次の項目の中から、重要度の高いものを**5つまで選び**、**○印**をつけてください。

<安心して子育て・子育てするまちづくり>		22 大規模災害に備えた防災対策
1 子育て支援や少子化対策		23 まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進
2 幼稚園や保育園の保育サービス		24 自然環境の保全や環境教育の推進
3 小・中学生の学力・体力定着		25 緑化の推進
4 小・中学校における教育環境		26 景観の保全
<健康で元気に暮らせるまちづくり>		27 地域の特性にあわせた計画的な土地利用
5 健康増進に向けた活動の機会		28 渋滞緩和のための道路整備
6 市内医療機関の充実		29 鉄道やバスなどの公共交通の充実
7 スポーツを楽しむ機会		30 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理
8 介護予防・高齢者福祉		31 交通安全対策
9 障がい者福祉		<市民が互いに助け合い学び合うまちづくり>
<にぎわいと活力のあるまちづくり>		32 地域の防犯対策
10 地場産業への支援		33 生涯学習の機会
11 企業誘致		34 子どもの権利に関する意識
12 起業支援		35 地域で支えあう福祉体制
13 中心市街地の活性化		36 男女平等意識
14 祭りやイベントの開催		37 人権意識
15 観光PR		<政策を実行・実現する行財政運営>
16 地域の農業振興		38 計画的な行財政運営
17 子育てや女性の就業への支援		39 職員の市民への対応
18 芸術や文化に触れる機会		40 情報化社会への対応
<安全・安心で快適に暮らせるまちづくり>		41 市政への市民参加の機会
19 消防・救急体制の整備		42 情報公開や広報活動
20 水道水の安定供給		43 その他（具体的に）
21 下水道の整備		[]

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。

- (1) あなたは、広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）を読んでいますか。
あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 毎回読む	2 ときどき読む	3 ほとんど読まない	4 読んだことがない
--------	----------	------------	------------

- (2) 広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）についておたずねします。

はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
② 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
③ 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
④ ページ数は多いですか	1	2
⑤ 必要な情報は掲載されていますか	1	2

市民意識調査にご協力ください

皆さん、こんにちは。

多治見市では、多くの方をより幸せにするために、「市民意識調査」というアンケートを実施しています。

市の事業やサービスに対して、今感じていることを教えてください。皆さんが大人になったときに、多治見がもっと住みよいまちになるためには、皆さんの率直な意見が必要です。皆さんからのご意見を10年後、20年後のまちづくりに反映させます。

これからの将来を担う皆さんが充実した学生生活を過ごし、益々成長されることを期待しています。



令和4年8月24日
多治見市長 古川 雅典

【回答方法】

パソコン、スマートフォンやタブレットから令和4年9月30日(金)までに回答してください。 ※アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

URL : <https://logoform.jp/form/zEAL/118944>



多治見市公式
Instagram、Youtubeを
観たら、多治見のこと
もっとわかるうなっ☆

※調査項目は右のQRから確認いただけます
(PDF ファイル)



【問合せ】

多治見市役所企画部 秘書広報課

担当：水野、磯村、加藤

TEL : 0572-22-1372

EMAIL : hisyokoho@city.tajimi.lg.jp



Instagram



YouTube



令和4年度 市民意識調査報告書

令和5年2月発行

発行:多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒 507-8703 多治見市日ノ出町2丁目 15 番地
TEL 0572-22-1372
調査機関:株式会社 OKB 総研
〒 503-0887 岐阜県大垣市郭町2丁目 25 番地
KIXビル 4F
TEL 0584-74-2615